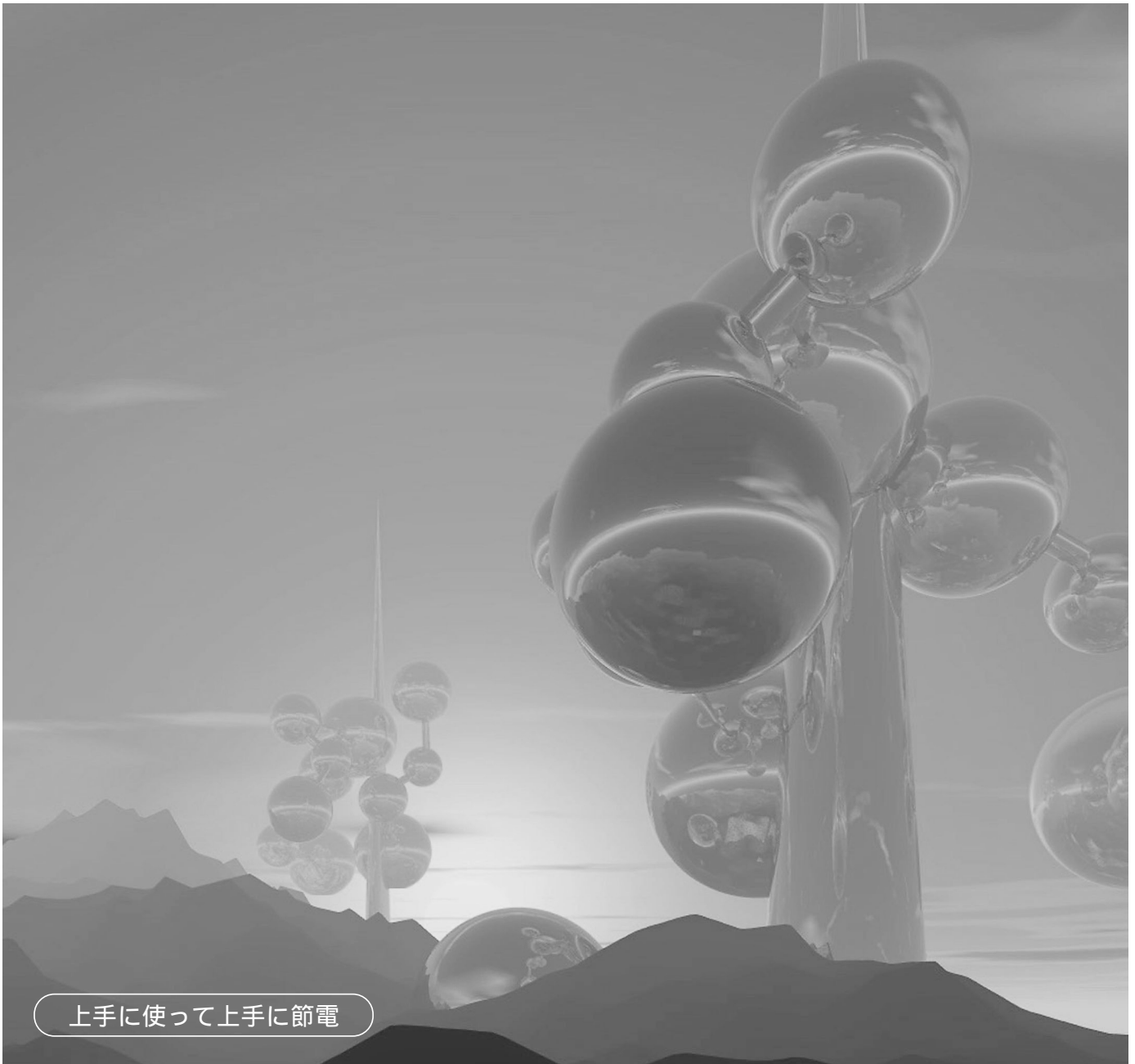
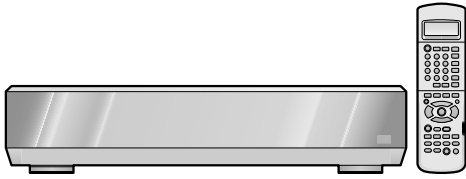
Panasonic

D-VHSビデオカセットレコーダー
取扱説明書

品番 NV-DHE20

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックD-VHSビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9406

もくじ

使用前

準備

再生

録画

予約録画

編　集

CATV/CS

便利機能

そ の 他

はじめに

特長

■デジタル(D-VHS)録画が可能

デジタルには以下の特長があります。

- BSデジタル放送＊1の映像・音声・データなどをそのまま記録できます。(➜102)
- [HS]、[STD]モードでは、画質の劣化がほとんどない状態で録画できます。
- ハイビジョンクラスの画質で録画できます。
- 1本のカセットで最大約56時間の長時間録画ができます。([LS7]モード、DF-480カセットを使用した場合)

“ D-VHS ”は、日本ビクター株式会社の商標です。

■MPEG2エンコーダーを内蔵

地上波(VHF/UHF)放送、従来のアナログBS放送＊2をMPEG2形式に変換(エンコード)して(➜103)デジタル録画できます。

また、すでにS-VHS・VHSカセットに録画されている番組もデジタルでダビングすることができます。

■i(i.LINK)端子を装備

i.LINK機器とi.LINKケーブルで接続すると、デジタル信号を入出力したり、他のi.LINK機器で本機をコントロールすることができます＊3。

また、高画質のMPEG2圧縮信号を直接入出力することができます。

“ i.LINK ”は、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、“ i ”は、i.LINKに準拠した製品に付けられるロゴです。

“ i.LINK ”、“ i ”は商標です。

■BSデジタル放送の番組が楽しめます

BSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINK接続すると、BSデジタル番組を録画、予約録画することができます＊4。

また、高画質のMPEG2圧縮信号を直接入力するため、高画質で録画することができます。

＊1 BSデジタル放送をご覧になるには、BSデジタルチューナー(別売)または、BSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)が必要です。

＊2 従来のアナログBS放送をご覧になるには、アナログBSチューナー(アナログBSチューナー付のテレビ、ビデオなど)が必要です。

＊3 当社製のBSデジタルチューナーやBSデジタルチューナー内蔵テレビなど、MPEG2-TSフォーマット(➜103)でデータのやりとりができる機器を接続したとき

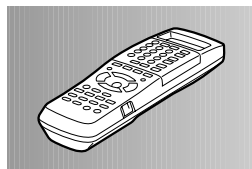
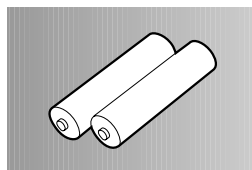
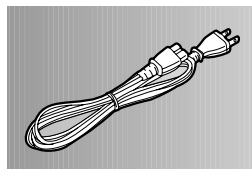
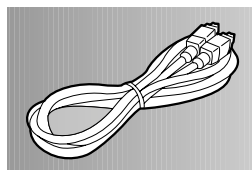
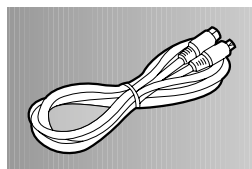
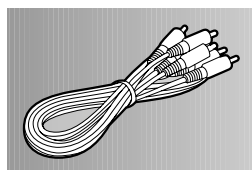
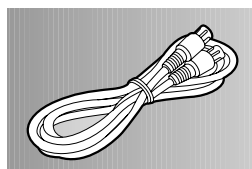
- 本機のi.LINK端子は、DV機器、DVD機器、DVハードディスクエディターに付いているDV端子と端子形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデータをやりとりしたり、ダビングすることはできません。

＊4 詳しくは、BSデジタルチューナーまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビの説明書をお読みください。

本書では、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)を**「チューナー(内蔵テレビ)」**と略して説明しています。

付属品

下記の部品が入っているか確かめてください。

- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品、別売品の品番・メーカー希望小売価格は、2002年1月現在のものです。
- **メーカー希望小売価格には消費税や工事代などは含まれていません。**

リモコン
(➜12)
EUR7901KH0
メーカー希望小売価格：5,000円

リモコン用乾電池(2本)
(➜15)
単3形乾電池(R6P)

電源コード
(➜16～18)
VJA0536T
メーカー希望小売価格：400円

i.LINKケーブル
(➜16～18)
K1HA04DB0002
メーカー希望小売価格：2,400円

S映像コード
(➜16～18)
K2KZ9AA00001
メーカー希望小売価格：300円

映像・音声コード
(➜16～18)
K2KA6BA00002
メーカー希望小売価格：300円

75Ω同軸ケーブル
(➜16～18)
VJA1091
メーカー希望小売価格：400円

- **(➜○○)**は、参照していただくページを示します。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」(**➔5〜7**)に記載の本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。
●いたんだプラグやゆるんだコンセントは使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

内部に水や異物などが入ったときや、キャビネットが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。
●販売店にご相談ください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

禁止

火災・感電・故障につながります。
●乳幼児にご注意ください。

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。
●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧では使わない

また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

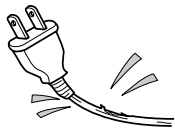
禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

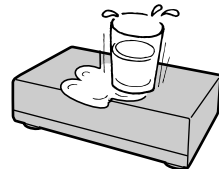
⚠警告

電源コードやプラグを破損させない

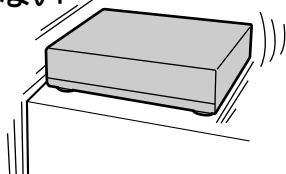
禁止

ステープルなどで
壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。
●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

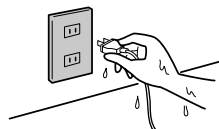
水ぬれ禁止

内部に水が入ると
火災・感電・故障につながります。
●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、
けがや製品の故障につながります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

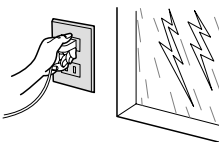
感電につながります。
●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。
●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠注意

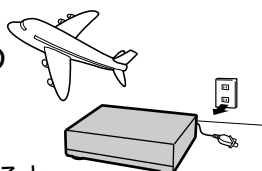
お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

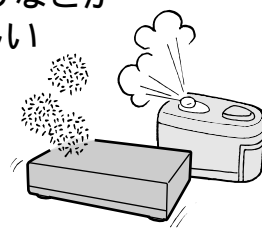
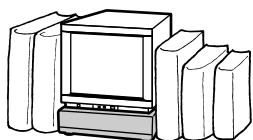
誤って内部にふれると、
感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。(テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください)

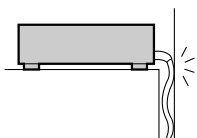
風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると発熱し、
火災・感電のおそれがあります。
●次のようなところに置かないでください。
・押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ。
・じゅうたんやふとんの上。
●後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

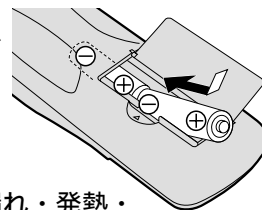
禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。
●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

⚠注意

電源コードが無理に曲げられるような設置をしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電・故障のおそれがあります。

●後面は、壁から10cm以上離してください。

電池は、⊕ ⊖を確かめ、正しく入れる

間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

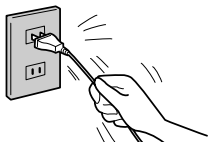
電池の⊕ ⊖部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

新しい電池と古い電池をまぜて使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

充電式電池や種類が違う電池を使わない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

カセット挿入口に指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

液漏れしたときは：

●万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

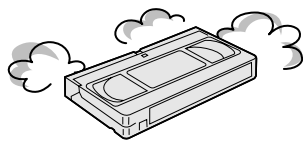
本機やカセットは、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

品質のよいカセットを使う

■お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。

■品質の悪いカセット(テープ)の例

- ほこりやカビなどが付いている
- ジュースや水などの液体が付いている
- テープが波打ったりクシャクシャになっている
- テープをセロハンテープでつなぐなどの加工がしてある
- テープがたるんでいる

■このようなカセット(テープ)を使うと

- ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
  このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
- ビデオヘッドクリーナーの説明書もよくお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの扱いかた

■D-VHSカセットを使ってデジタルで録画・再生するとき

- 従来のアナログ方式に比べて、テープの傷やヘッドの汚れなどによる画面のノイズの度合いが大きくなります。
  カセットの取り扱いなどには十分お気を付けください。

■落としたり、激しい振動を与えたりしない

■お茶やジュースなど、液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

■新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

■使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

■次のようなところに置いたり保管したりしない

- 急激な温度の変化や、湿度の高いところでの保管・使用は、「露付き」の原因になります。**(➜右ページ)**
  ・ほこりの多いところ
  ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
  ・温度差が激しいところ
  ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
  ・湯気や油煙の出るところ
  ・冷暖房機器に近いところ
  ・自動車のダッシュボードの中

■強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。
- 下図の○部分には、とびらを閉じるための磁石が付いています。この部分に記録済みのカセットや磁気カードなどを近付けないでください。

大切な録画のとき

■二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

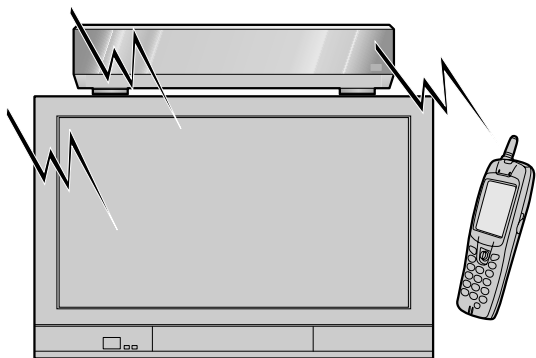
- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

前面パネルについて

本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

使用中は

■強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

「露(つゆ)付き」について

■「露付き」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。
  このような現象を「露付き」といいます。

- 本機やカセットに「露付き」が起こったまま使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

■「露付き」が起こりやすいとき

- 以下のようなときは「露付き」が起こりやすい状態です。
  部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたままにしておいてください。
  - ・梅雨の時期
  - ・設置した直後
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・エアコンの冷風がビデオやカセットに直接当たっているとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

使わないとき

■長期間(約1か月以上)使わないとき

- テープを始端まで巻き戻してからカセットを取り出し、電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても10ワットの電力を消費しています。
- 機能を保つため、1か月に1度くらいは再生などをして、テープを走行させてください。

お手入れについて

■キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 前面パネルのハーフミラーが指紋やほこりなどで汚れたときは、めがね用のレンズクリーナーなど、傷の付きにくい材質のものでふいてください。

■汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  このあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

著作権について

**■あなたがビデオで録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
なおこの製品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれています。**

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。
  また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイ・パー・ビューでの使用に制限されます。
  この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- ＢＳデジタル放送などでは、録画が禁止されている番組があります。
  このような番組は録画できません。

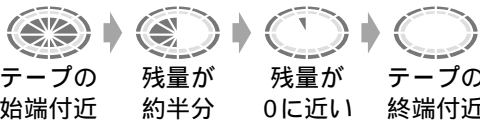
■Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。

- Ｇコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

前面

❶ 電源 ボタン......(➜21)
❷ i.LINK ボタン......(➜22,41,64,71)
❸ カセット挿入口......(➜36)
❹ ⏏取出し ボタン......(➜36)
❺ ■停止 ボタン......(➜36,41)
❻ 再生▶ ボタン......(➜36)
❼ SENSOR(センサー)(リモコン受信部)......(➜15)
❽ ◀◀巻戻し/▶▶早送り ボタン......(➜36)
❾ 外部入力2(L2)端子......(➜65)
(S1映像・映像・音声左/モノ・音声右)
❿ BS TV録画/終了時刻予約 ボタン......(➜49)
⓫ テープリフレッシュ ボタン......(➜86)
⓬ リセット ボタン......(➜22,95)
⓭ 本体表示窓......(➜右ページ)
⓮ タイマー予約 切/入 ボタン......(➜63)
⓯ 録画モード ボタン......(➜41,45)
⓰ ●録画/終了時刻予約 ボタン......(➜41,45,48)
⓱ チャンネル ∨ ∧ ボタン......(➜21,27,43,88)

後面

⓲ 電源入力ソケット......(➜16〜18)
⓳ 内部冷却用ファン
電源「入」時はファンが回り続けています。
ふさがないでください。
⓴ コンポーネント出力端子......(➜17,19)
[D1映像(D2/D3/D4)・音声右左]
㉑ 出力1(テレビへ)端子......(➜16〜18)
(音声右左・映像・S1映像)
㉒ 出力2端子......(➜66)
(音声右左・映像・S1映像)
㉓ VHF/UHF入力(アンテナから)端子...(➜16〜18)
㉔ i.(TS)S400(i.LINK)端子(2個)......(➜16〜18)
㉕ コンポーネント中継入力端子......(➜17)
[D1/D2/D3/D4映像(BS入力)・音声右左]
㉖ 外部入力3(L3)(BS入力)端子.....(➜16〜18,65)
(音声右左・映像・S1映像)
㉗ 外部入力1(L1)端子......(➜69,70)
(音声右左・映像・S1映像)
㉘ VHF/UHF出力(テレビへ)端子......(➜16〜18)
㉙ サービス用端子
修理や故障診断の際、サービス会社が使用する端子です。ふたを開けないようにしてください。
本書イラストでは、この部分を省略しています。

本体表示窓

❶ **左右** ....(➜**75**)
- テレビ放送を受信中、再生中の番組の音声状態。

❷ **動作リング**
- 各種動作状態を表示。
  外側リング：テープの走行方向に回転。
  再生時はゆっくり、早送り(巻き戻し)時は早く回転します。
  中間リング：テープ残量計算済みのとき点灯。
  内側リング：テープの残量に合わせて点灯。

テープの始端付近 / 残量が約半分 / 残量が0に近い / テープの終端付近

❸ **▭** ....(➜**36**)
- カセットが入っているとき。
- カセットが入っていないときに、録画、予約録画などの操作をすると点滅。

❹ **R(リピート)** ....(➜**39**)
- 自動巻戻し再生時。

❺ **予約** ....(➜**51,63**)
- 予約録画の待機中、実行中。

❻ **i** ....(➜**41**)
- i.LINK機器から映像・音声・データを入力中。
- 再生中。
- 本機のチューナーで受信している地上波(VHF/UHF)番組や、外部入力からのアナログ映像・音声をデジタルに変換(エンコード)して、i(TS)(i.LINK入出力)端子から出力しているとき。

❼ **録画** ....(➜**41,45**)
- 録画中、予約録画中。

❽ **✂** ....(➜**47**)
- CMカット録画時。

❾ **録画モード(アナログ)** ....(➜**33,45**)
標準　：標準モードで録画・再生中。
3 倍　：3倍モードで録画・再生中。
標準3倍：ぴったり録画(➜**60**)で予約した番組の転送直後。

❿ **残量** ....(➜**74**)
- テープ残量表示中。

⓫ **録画モード(デジタル)** ....(➜**33,41**)
自 動：番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。
H S：HSモードで録画・再生中。
STD：STDモードで録画・再生中。
LS3：LS3モードで録画・再生中。
LS5：LS5モードで録画・再生中。
LS7：LS7モードで録画・再生中。

⓬ **D VHS**
- 本体の録画モードがデジタルになっているとき。
- デジタル(D-VHS)方式で録画中、デジタルで録画された番組を再生中。

⓭ **S-VHS** ....(➜**83**)
- メニューの[モード設定]→[S-VHS録画]が[入]になっているとき。(本体の録画モードがアナログ時)
- S-VHSで録画中、S-VHSで録画された番組を再生中。

S-VHS ET ....(➜**47,83**)
- メニューの[モード設定]→[S-VHS ET録画]が[入]になっているとき。(本体の録画モードがアナログ時)
- S-VHS ETで録画中、S-VHS ETで録画された番組を再生中。

⓮ **チャンネル番号**
- テレビ放送受信中、予約録画操作中。

サービス番号 ....(➜**95**)

⓯ **メイン表示部**
- 現在時刻
- テープカウンター
- テープ残量
- 終了時刻予約録画時
- Gコード番号
- 予約設定時の開始時刻、終了時刻
- プログラムナビ時のカセット番号
- 各種メッセージ(➜**97,下記**)

…など

■表示の一例
- **コピーガード**
  コピーガードがかかっていて録画できないときなど。
- **ツメオレ**
  誤消去防止状態のカセットが入っているのに 録画● を押したときなど。
- **テープ　ナシ**
  カセットが入ってないのに 録画● を押したときなど。
- **ヨヤク　ナシ**
  予約がないのに、予約待機状態にしようとしたとき。
- **FULL**
  予約がいっぱいになっているのに、さらに予約したとき。
- **D-VHSテープヲイレテクダサイ**
  アナログ録画できないとき。
- **Hello**
  電源「入」時。
- **Good Bye**
  電源「切」時。

各部の名前

詳しくは、関係するページをお読みください。

リモコン(ビデオ操作部)

Ⓐ ビデオ/テレビ/BS/(CS)スイッチ
ビデオの操作をするときは、必ず[ビデオ]を選んでください。
[ビデオ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **リモコン表示部**

❷ **❶～⓬ボタン** ......(➔27,43,46)

❸ **BSスルーボタン** ......(➔72)

❹ **メニューボタン** ......(➔22,82)

❺ **BS TV録画ボタン** ......(➔49)

❻ ＊ **再生▶(▲)ボタン** ......(➔22,36,76,82)

❼ ＊ **巻戻し◀◀(◀)ボタン** ......(➔36,82)

❽ **一時停止/スロー ❚❚/❙▶ボタン** ......(➔37,41,45)

❾ **ビデオ電源ボタン** ......(➔21)

❿ **頭出し ⏮ ⏭ ボタン** ......(➔81)

⓫ **プログラムナビボタン** ......(➔76)

⓬ **時計/残量ボタン** ......(➔74)

⓭ **音声切換ボタン** ......(➔75)

⓮ **リセットボタン** ......(➔74)

⓯ **快速イントロサーチボタン** ......(➔81)

⓰ **リモコン送信部** ......(➔15)

⓱ **ページ▲▼ボタン** ......(➔76)

⓲ **ビデオチャンネル︿﹀**
(トラッキング＋－)ボタン ......(➔21,27,43,88)

⓳ **戻るボタン** ......(➔22,82)

⓴ **実行/決定ボタン** ......(➔22,82)

㉑ ＊ **早送り▶▶(▶)ボタン** ......(➔23,36,82)

㉒ ＊ **停止■(▼)ボタン** ......(➔22,36,76,82)

㉓ **録画●ボタン** ......(➔41,45)

㉔ **スピードサーチ ◂◂ ▸▸ ボタン** ......(➔38)

㉕ **i.LINKボタン** ......(➔22,41,64,71)

㉖ **転送ボタン** ......(➔27,52)

㉗ **Gコードボタン** ......(➔52)

㉘ **タイマー 切/入ボタン** ......(➔63)

㉙ **確認ボタン** ......(➔62)

㉚ **録画モードボタン** ......(➔41,45)

㉛ **曜日/日 チャンネル 開始 終了ボタン** ..(➔20,54,56,58)

㉜ **転送/修正(長押し)ボタン** ......(➔57,59,63)

㉝ **取消しボタン** ......(➔31,62)

㉞ **予約延長ボタン** ......(➔53,61)

㉟ **CMボタン** ......(➔39,47,61)

㊱ **映像切換ボタン**
現行のCSデジタル放送などで、1チャンネルあたり複数の映像がある放送が始まったときに、他の映像に切り換えるとき。

㊲ **リモコン(長押し)ボタン** ......(➔84)

㊳ **設定(長押し)ボタン** ......(➔20,27,54,71)

＊印のボタンは、メニュー画面の操作で項目を選ぶときなどにも使います。

本書では、本体のボタン名を再生▶、リモコンのボタン名を再生▶や❶などで示し、「各部の名前」以外のページでは“ボタン”を省略しています。

リモコン(テレビ操作部)

実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。

BS は、BSデジタルチューナー内蔵テレビ専用の操作です。

Ⓐ ビデオ/テレビ/BS/(CS) **スイッチ**
テレビの操作をするときは、必ず[テレビ]を選んでください。[テレビ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ テレビ(BS) **ボタン**
従来のアナログBSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❺、❼、❾、⓫を押してください。(例：BS 7chの場合、テレビ(BS)→❼)

BS テレビ(BS) **ボタン**……(➔41)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に❶～10/0 を押してください。(BSデジタルチューナー内蔵テレビにプリセットされているチャンネルを選べます)

❷ テレビ電源 **ボタン**……(➔21)

❸ **❶～⓬ボタン**……(➔41,48)

❹ BS 番組ナビ **ボタン**……(➔51)
番組ナビ画面を表示させるとき。

❺ BS 音声切換 **ボタン**
複数の音声がある番組などで、他の音声に切り換えるとき。

❻ BS チャンネル番号入力 **ボタン**……(➔41)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
例：BSデジタル103チャンネルの場合、
チャンネル番号入力→❶→10/0→❸と押す。

❼ **テレビチャンネル ∧ ∨ ボタン**……(➔48)

❽ 音量 **ボタン**

❾ 入力 **ボタン**……(➔21,48)

❿ BS 番組表 **ボタン**
BSデジタル放送の番組表を表示させるとき。

⓫ BS 機器ナビ **ボタン**……(➔50)
BSデジタルチューナー内蔵テレビに接続した機器の操作や、システムの設定画面を出すとき。

⓬ BS メニュー ▲(再生) ▼(停止) ◀(巻戻し) ▶(早送り) 実行/決定 戻る **ボタン**……(➔50)
メニュー操作をするとき。

⓭ BS 番組内容 **ボタン**
番組の出演者一覧など、番組詳細内容を表示させるとき。(番組によっては、表示されないことがあります)

⓮ BS 放送切換 **ボタン**
現在は働きません。将来、放送形態が変更された場合に使用できる可能性があります。(2002年1月現在)

⓯ BS 元の画面 **ボタン**……(➔50)
番組ナビや番組表、機器ナビなどのメニュー画面の状態から選局している放送の画面に戻すとき。

⓰ BS 青 赤 緑 黄 **ボタン**
番組表で日付を切り換えるとき、画面に各色ボタンが使える表示があるときなど。(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓱ BS d **ボタン**
データがある番組やデータ放送でデータを表示させるとき。(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓲ BS 映像切換 **ボタン**
複数の映像がある番組やマルチビューなどで、他の映像に切り換えるとき。

⓳ BS サービス切換 **ボタン**
選局中の放送事業者のサービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えるとき。(1つしかないときは切り換えできません)

リモコン
(BSデジタル/CSデジタルチューナー操作部)

実際の操作内容についてはチューナーの説明書をお読みください。

BS は、BSデジタルチューナー専用の操作です。
CS は、CSデジタルチューナー専用の操作です。

Ⓐ **ビデオ/テレビ/BS/(CS) スイッチ**
BSデジタル/CSデジタルチューナーの操作をするときは、必ず[BS/(CS)]を選んでください。
[BS/(CS)]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **BS/(CS)電源 ボタン**......(→21,71)

❷ **❶～⑩/0 ボタン**......(→41,71)

❸ CS **衛星切換 ボタン**
A(パーフェクTV!サービス)とB(スカイサービス)を切り換えるとき。

❹ BS **番組ナビ ボタン**......(→51)
番組ナビ画面を表示させるとき。

❺ BS **音声切換 ボタン**
複数の音声がある番組などで、他の音声に切り換えるとき。

❻ BS **チャンネル番号入力 ボタン**......(→41)
BSデジタル放送のチャンネルを選ぶとき。
例：BSデジタル103チャンネルを選ぶには、
チャンネル番号入力 →❶→ ⑩/0 →❸と押す。

❼ **BS/(CS)チャンネル ∧ ∨ ボタン**......(→71)

❽ CS **♯ ボタン**
お好み選局の操作をするとき。

❾ **入力 ボタン**
BSデジタル放送画面とi.LINK接続機器の映像を切り換えるとき。

❿ **番組表 ボタン**
番組表を表示させるとき。

⓫ BS **機器ナビ ボタン**......(→50)
BSデジタルチューナーに接続した機器の操作や、システムの設定画面を出すとき。
CS **放送内容 ボタン**
放送内容を表示させるとき。

⓬ **メニュー ▲(再生) ▼(停止) ◀(巻戻し) ▶(早送り) 実行/決定 戻る ボタン**......(→50)
メニュー操作をするとき。

⓭ BS **番組内容 ボタン**
番組の出演者一覧など、番組詳細内容を表示させるとき。
(番組によっては、表示されないことがあります)

⓮ BS **放送切換 ボタン**
現在は働きません。将来、放送形態が変更された場合に使用できる可能性があります。(2002年1月現在)

⓯ BS **元の画面 ボタン**......(→50)
番組ナビや番組表、機器ナビなどのメニュー画面の状態から選局している放送の画面に戻すとき。
CS **信号切換 ボタン**
音声、字幕などの信号を切り換えるとき。

⓰ BS **青 赤 緑 黄 ボタン**
番組表で日付を切り換えるとき、画面に各色ボタンが使える表示があるときなど。
(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓱ BS **d ボタン**
データがある番組やデータ放送でデータを表示させるとき。
(接続のしかたや録画方式によっては働かないことがあります)

⓲ BS **映像切換 ボタン**
複数の映像がある番組やマルチビューなどで、他の映像に切り換えるとき。

⓳ BS **サービス切換 ボタン**
選局中の放送事業者のサービス(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えるとき。(1つしかないときは切り換えできません)

設置の手順

次の手順で設置してください。

1 リモコンの準備をする

❶ リモコンに電池を入れる ....(➜右記)

2 アンテナ、テレビ、チューナーと接続する

❶ VHF/UHFアンテナ、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)と接続する...(➜16,18)
- BSデジタルスルーを使うとき ....(➜17)
- コンポーネント端子と接続するとき .....(➜19)
- 時刻表示を確認する ....(➜19)

❷ テレビ・チューナーを操作できるようにする...(➜20)
❸ テレビに本機の画面を出す ....(➜21)
❹ i.LINK機器が正しく登録できているか確かめる ....(➜22)
❺ BSデジタル番組を長時間録画・アナログ録画できるようにする(BS入力) ....(➜26)

3 受信チャンネルを設定する

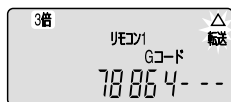
❶ 市外局番入力チャンネル設定 ....(➜27)
❷ マニュアルチャンネル設定 ....(➜30)
- Gコード予約をするためのガイドチャンネルは必ず設定しておいてください。

■さらにCATV放送、CSデジタル放送もお楽しみになる方
- 詳しくは**➜69〜71**をお読みください。
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CSデジタル放送をご覧になるには、CSデジタルチューナー(別売)が必要です。また、それぞれの放送会社との受信契約が必要です。

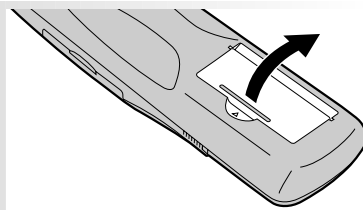
各表示イラストについて

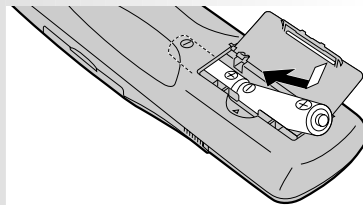
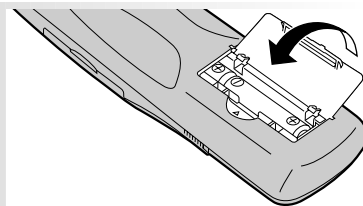
本書では、各操作手順に記載しているイラストを次のように表示しています。

●本体表示窓

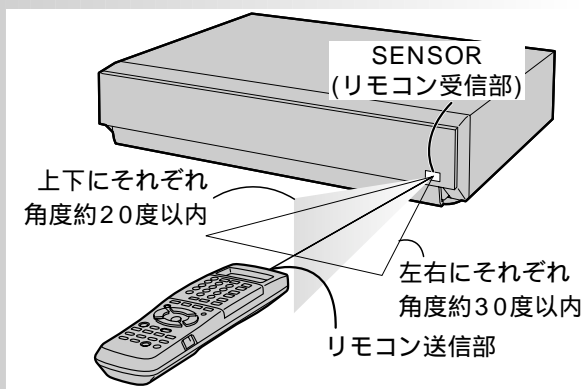
●リモコン表示部

●テレビ画面

リモコンに電池を入れる

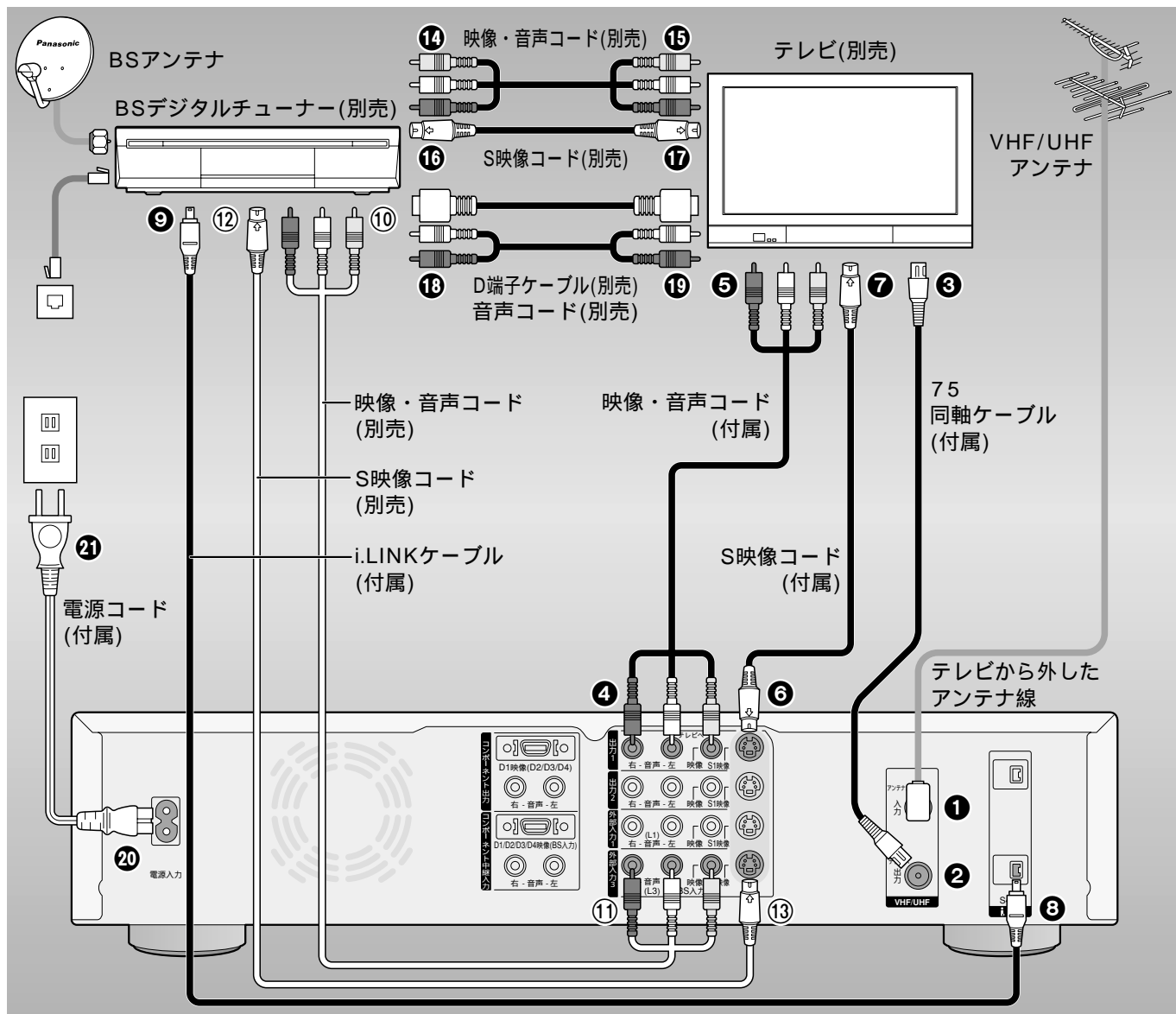
1 ふたを開ける

2 単3形乾電池(付属)を入れる

- ⊕⊖を確認してください。

3 ふたを元どおり閉じる

- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(**➜20**)、BSデジタルチューナーメーカー番号(**➜21**)、CSデジタルチューナーメーカー番号(**➜71**)、リモコンモード(**➜84**)を合わせ直してください。
- 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1か月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた

SENSOR(センサー)(リモコン受信部)に向け、確実にボタンを押す

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

BSデジタルチューナー、テレビと接続する

(基本の接続)

❶ **VHF/UHF入力端子へ**
❷ **VHF/UHF出力端子へ**
❸ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
❹ **出力1(映像・音声)端子へ**
❺ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
❻ **出力1(S1映像)端子へ**
❼ **ビデオ入力(SまたはS1映像)端子へ**
❽ **i(TS)(i.LINK入出力)端子へ**
❾ **i(i.LINK)端子へ**

⑩ **出力1(映像・音声)端子へ**
⑪ **外部入力3(映像・音声)端子へ**
⑫ **出力1(SまたはS1映像)端子へ**
⑬ **外部入力3(S1映像)端子へ**

BS入力時に必要(➔26)

⓮ **出力2(映像・音声)端子へ**
⓯ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
⓰ **出力2(S映像)端子へ**
⓱ **ビデオ入力(S映像)端子へ**
⓲ **コンポーネントビデオ出力(D映像・音声)端子へ**
⓳ **コンポーネントビデオ入力(D映像・音声)端子へ**
⓴ **電源入力ソケットへ**
㉑ **ご家庭の電源コンセントへ**

■お願い/ヒント

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- チューナー、テレビの説明書もお読みください。

■⑩～⑬の接続について

- ❶～❾と⓮～㉑だけでも通常の操作はできますが、⑩～⑬の接続をしないと、BSデジタル番組を[自動]モード以外で長時間録画したり、アナログ録画することはできません。
  また、接続したあとBS入力の設定が必要です。**(➔26)**

■チューナーとテレビにコンポーネントビデオ端子があるとき

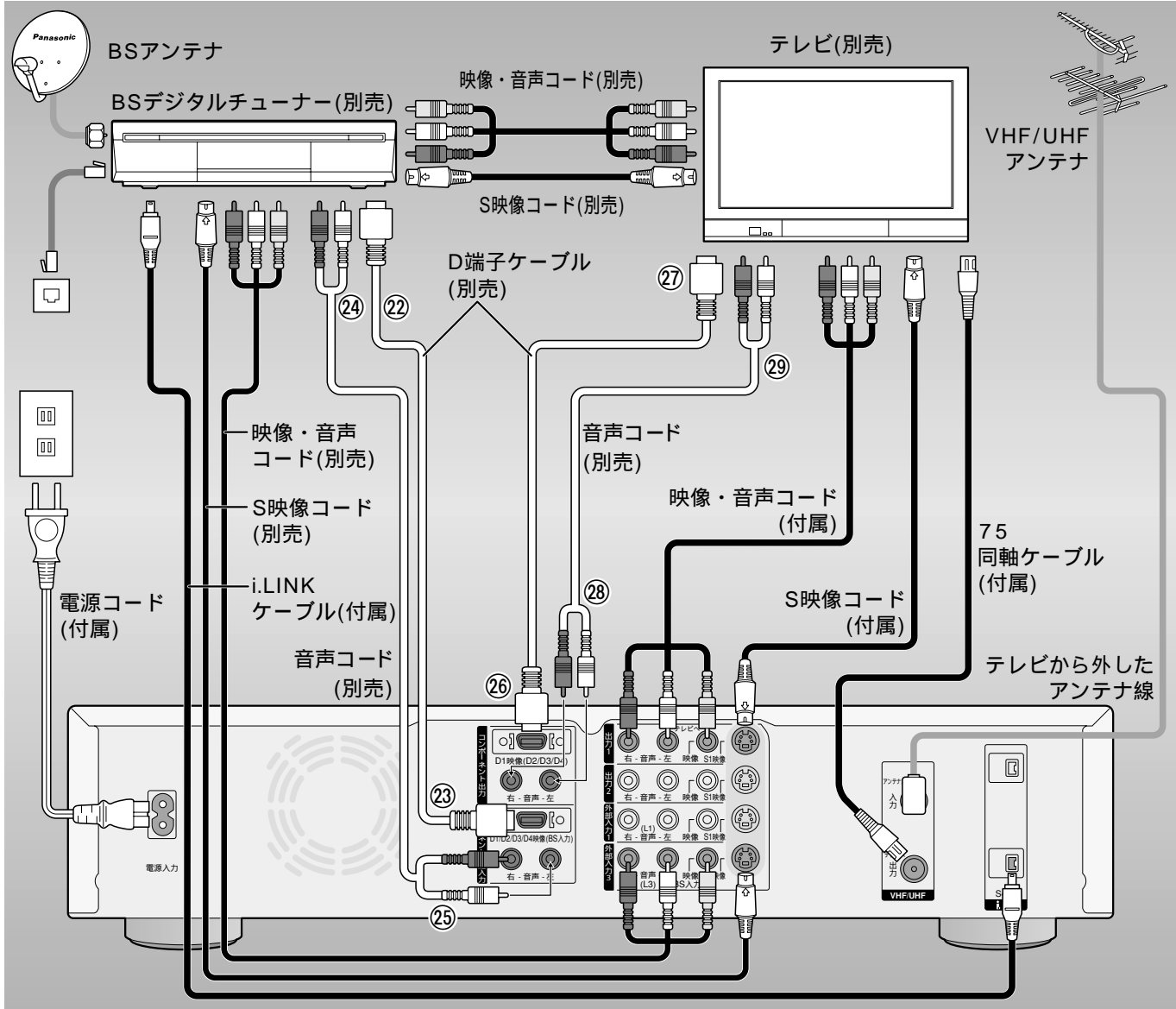
- チューナーとテレビを⓲～⓳のように、D端子ケーブル(別売)と音声コード(別売)で接続してください。
  この接続をしないと、ハイビジョン映像はお楽しみいただくことができません。

■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

■テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき

- 本機と接続することはできません。

BSデジタルチューナーの入力にすぐに切り換えできるようにする（BSデジタルスルー）

BSデジタルチューナーをお使いの方は、左ページの接続に加え、以下の接続をおすすめします。

- 本機の映像←→チューナーの映像を BSスルー ボタン1つですぐに切り換えることができるようになります。

㉒ **コンポーネントビデオ出力端子へ**
[D1/D2/D3/D4]

㉓ **コンポーネント中継入力端子へ**
[D1/D2/D3/D4映像(BS入力)]

㉔ **コンポーネントビデオ出力(音声)端子へ**

㉕ **コンポーネント中継入力(音声)端子へ**

㉖ **コンポーネント出力端子へ**
[D1映像(D2/D3/D4)]

㉗ **コンポーネントビデオ入力端子へ**
[D1/D2/D3/D4]

㉘ **コンポーネント出力(音声)端子へ**

㉙ **コンポーネントビデオ入力(音声)端子へ**

※この接続をするときは、左ページ⓲〜⓳の接続は必要ありません。

■お願い/ヒント

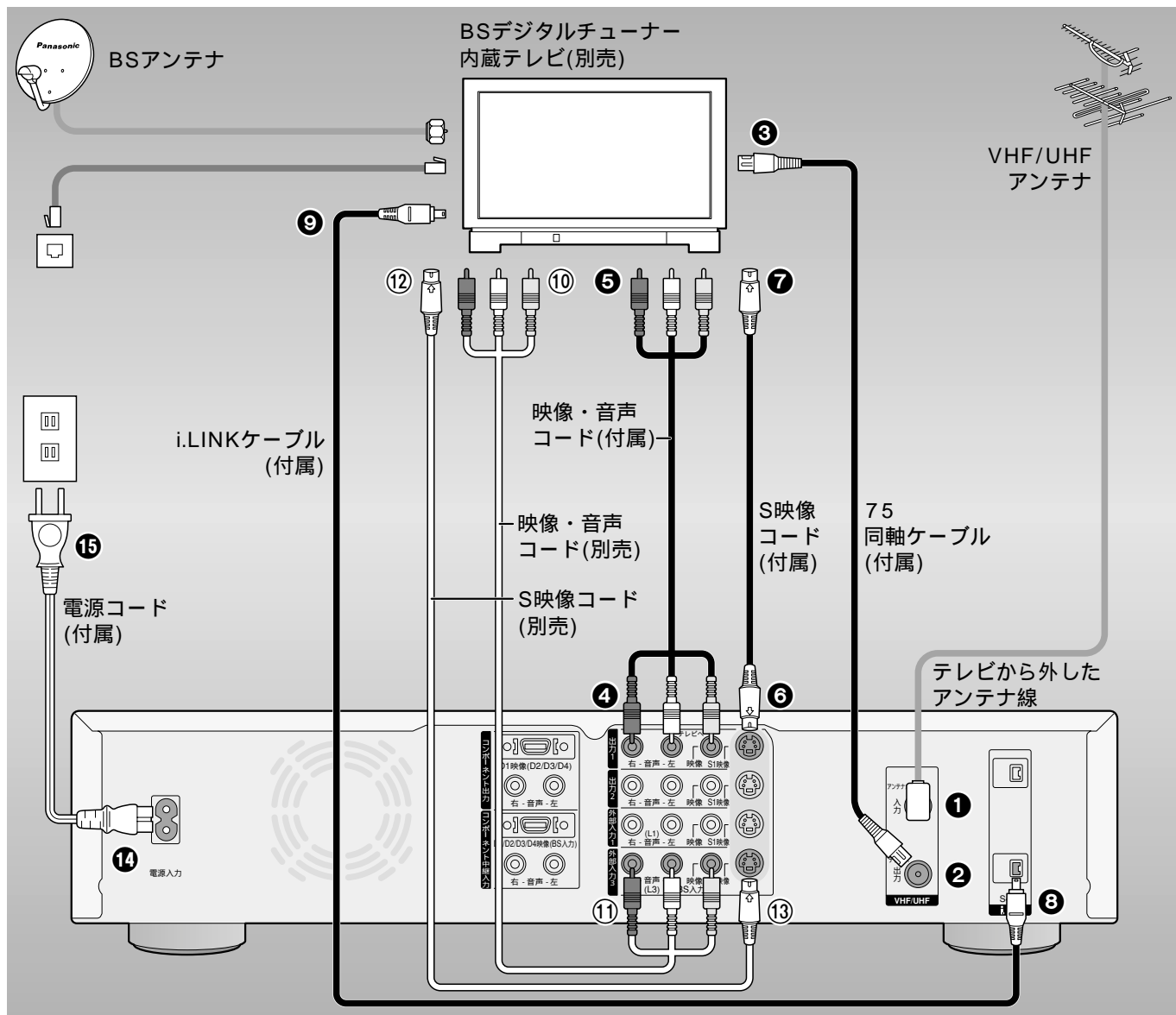
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- D端子ケーブル(別売)から入力・出力されるのは映像のみです。
  音声はコンポーネント用の音声端子から出力されますので、必ず音声コード(別売)も接続してください。
- 本機で出力できる映像はD1映像のみです。
  BSデジタルチューナーからコンポーネント中継入力端子に入力された映像信号を中継して出力したときのみ、D1の他に、D2、D3、D4映像を出力します。
- BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方は、この接続は必要ありません。

■接続したあとは

- メニューの[モード設定]→[BSスルー]を[自動]にしてください。(➜72)

■BSデジタルスルーを使って再生・録画・予約録画する

- (➜73)

BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する

❶ **VHF/UHF入力端子へ**
❷ **VHF/UHF出力端子へ**
❸ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
❹ **出力1(映像・音声)端子へ**
❺ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
❻ **出力1(S1映像)端子へ**
❼ **ビデオ入力(SまたはS1映像)端子へ**
❽ **i.(TS)(i.LINK入出力)端子へ**
❾ **i.(i.LINK)端子へ**

⑩ **モニター出力(映像・音声)端子へ**
⑪ **外部入力3(映像・音声)端子へ**
⑫ **モニター出力(SまたはS1映像)端子へ**
⑬ **外部入力3(S1映像)端子へ**
}**BS入力時に必要(➔26)**

⓮ **電源入力ソケットへ**
⓯ **ご家庭の電源コンセントへ**

■お願い/ヒント

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- チューナー内蔵テレビの説明書もお読みください。

■⑩〜⑬の接続について

- ❶〜❾と⓮〜⓯だけでも通常の操作はできますが、⑩〜⑬の接続をしないと、BSデジタル番組を[自動]モード以外で長時間録画したり、アナログ録画することはできません。**(⑫〜⑬も必ず接続してください)**
  また、接続したあとBS入力の設定が必要です。**(➔26)**
- ⑩〜⑬の接続をしたときは、
  当社製チューナー内蔵テレビの場合
  本機の出力をテレビの「ビデオ入力１」端子に接続(❹〜❼)し、テレビ側のメニューに[モニター出力]設定があるときは、**[しない]**にしてください。
  また、テレビ側のメニューに[アナログ接続]設定機能があるときは、設定されることをおすすめします。
  当社製以外のチューナー内蔵テレビの場合
  発振によるノイズが生じることがあります。
  このときは、テレビの入力切換ボタンで、テレビ側の入力を切り換えてください。

■アンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき

- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき

テレビまたはBSデジタルチューナー内蔵テレビにコンポーネントビデオ端子があるときは、以下のような接続もできます。

テレビ(別売)または
BSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)

D端子ケーブル
(別売)

音声コード
(別売)

❶ **コンポーネント出力端子へ**
[D1映像(D2/D3/D4)]
❷ **コンポーネントビデオ入力端子へ**
[D1/D2/D3/D4]
❸ **コンポーネント出力(音声)端子へ**
❹ **コンポーネントビデオ入力(音声)端子へ**

■お願い/ヒント

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- D端子ケーブル(別売)から入力・出力されるのは映像のみです。
  音声はコンポーネント用の音声端子から出力されますので、必ず音声コード(別売)も接続してください。
- 本機で出力できる映像はD1映像のみです。
- 映像によっては、ノイズが強調されたり、画質が劣化して見えたり、早送り(巻き戻し)すると画面が乱れることがあります。
- テレビの説明書もお読みください。

時刻表示を確認する

- 電源コンセントに接続すると、本体表示窓に現在時刻が表示されます。時刻が合っているか確認してください。
- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
  自動バックアップ機能(➜下記)で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは合わせ直してください。(➜85)
  ・誤差が2分以上あるとき
  ・電源「切」時に“ Panasonic ”と表示されるとき

  ・電源「入」時に時刻表示が“ 0：00 ”で点滅しているとき

■自動バックアップ機能について

- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。(➜85)

テレビ・チューナーを操作できるようにする（メーカー設定／今すぐ再生）

テレビのメーカーを合わせる/「今すぐ再生」を設定する

本機のリモコンでテレビの操作ができます。

- また、リモコンの 再生▶ または プログラムナビ を押すと、テレビの入力を[ビデオ1]に切り換えることができる「今すぐ再生」を働かせることができます。

準備 ● テレビの電源を入れる。

1 **ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[テレビ]にする**

2 **設定(長押し) を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す**

3 **＋終了－ でメーカー番号を合わせる**

- テレビに向けて操作してください。
- 番号が合うと、テレビの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

操作できるテレビメーカー・一覧表

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❶ ❿ ㉒ ㉓	パイオニア	⓭
アイワ	⑱	ビクター	⓮
NEC	❻ ⓯	日立	❺ ⓴
三洋	⑦ ⑯	富士通ゼネラル	⑨
シャープ	② ⑪ ㉑	フナイ	⑲
ソニー	❸ ⓱	三菱	⑧ ⓬
東芝	❹		

BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方のみ、
開始 で"d"を表示させる

OFF d 23

- 一覧表の番号が、❶ ❸ ❹ ⑦ ⓬ ⓮ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ の方のみ設定できます。
- A：従来のテレビ
  d：BSデジタルチューナー内蔵テレビ
- 当社製BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方で、BSデジタルチャンネルの選局操作が、
  - ・チャンネル番号入力→❶～⑩/0 (VHF/UHF兼用ボタン)の場合は、❶を選んでください。
    TH-36(または32、28)DH100、
    TH-36(または32、28)D100など
  - ・チャンネル番号入力→❶～⑩/0 (BSデジタル専用ボタン)の場合は、㉓を選んでください。
    TH-36(または32、28)D10、
    TH-36(または32、28)D20など

4 「今すぐ再生」を働かせたいときのみ、
チャンネル で"On"を表示させる

- 手順3で、② ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑯ ⑱ ⑲ ㉑ に設定したときは働きません。

5 **設定(長押し) を押し、終了する**

■ふたをひらいたところ

6 正しく操作できることを確かめる

- テレビ電源 でテレビの電源を入れ、チャンネル切換や音量調節などをしてみてください。

■お願い/ヒント

- 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

■今すぐ再生について

- リモコンの 再生▶ または プログラムナビ を押すと、テレビの入力が自動的に[ビデオ1]になります。(テレビの入力を[ビデオ1]にする信号も同時に出すようになります)
  このため、本機後面の出力1端子に接続した映像・音声コードは、必ずテレビのビデオ1端子に接続してください。
- すでにテレビのビデオ1端子を他の接続でお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。
  (" OFF "を表示させる)
- マニュアルチャンネル設定(➜30)やモード設定(➜82)など、メニュー画面の操作をするときは、 再生▶ が▲(上の項目を選ぶ)ボタンの役割をしますので、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。
  (" OFF "を表示させる)

BSデジタルチューナーのメーカーを合わせる

本機のリモコンでBSデジタルチューナーの操作ができます。

準備 ● チューナーの電源を入れる。

1 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする

2 設定(長押し) を" ☎ "が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す

3 ＋終了－ でメーカー番号を合わせる

- チューナーに向けて操作してください。
- 番号が合うと、チューナーの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

操作できるBSデジタルチューナーメーカー・一覧表

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❶❷❸	パイオニア	㊽㊾㊿
三洋	55	ビクター	㊺
シャープ	㊻	日立	㊲㊳㊴
ソニー	㊸	マスプロ電工	51 52 53 54
DXアンテナ	㊼	三菱	㊵㊶㊷
東芝	㊹		

4 設定(長押し) を押し、終了する

5 正しく操作できることを確かめる

- BS/(CS)電源 でチューナーの電源を入れ、チャンネル切換などをしてみてください。

■お願い/ヒント

- 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、チューナーに付属のリモコンで操作してください。
- CSデジタルチューナーのメーカー設定について(➜71)

テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうか確かめてください。
テレビで本機の画面を見るときも、下記の操作を行ってください。

1 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[テレビ]にする

2 入力 を押し、テレビの入力をビデオ入力に切り換える

- 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは[ビデオ1]にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

3 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

4 ビデオ電源 を押し、電源を入れる

5 ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すなどして、本機の画面が映っていることを確かめる

- または録画済みのカセットを再生してみてください。

i.LINK機器を登録する

チューナー(内蔵テレビ)やCSデジタルチューナーなどのi.LINK機器をi.(i.LINK入出力)端子に接続すると、自動的にi.LINK機器番号が登録されます。

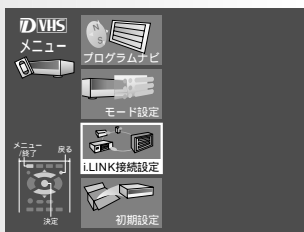
- 接続のしかた(➜16〜18,70)
- i.LINK機器番号は、接続した順番に付きます。
- i.LINK接続について、詳しくは解説をお読みください。(➜99)

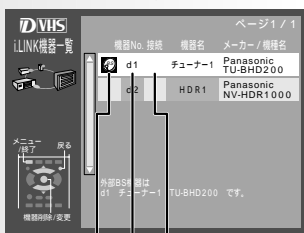
i.LINK機器の一覧を見る

正しく接続・登録できているか確かめることができます。

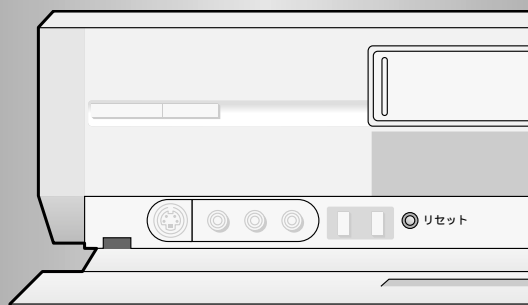
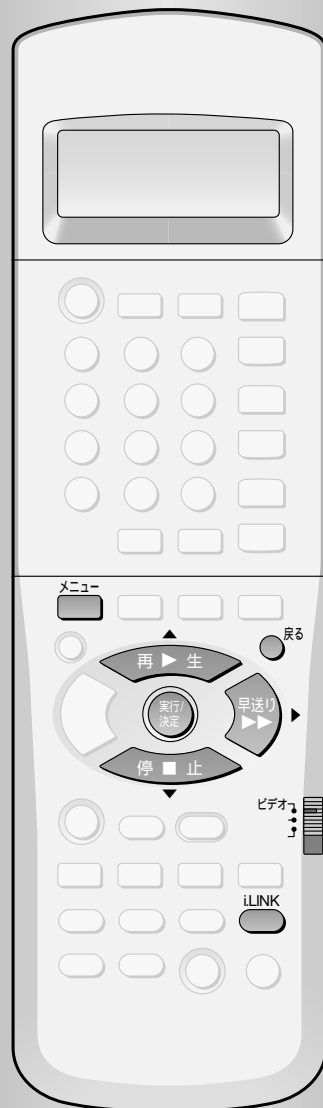
準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)
- 本体表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINKを押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

1 メニューを押す

2 ▲(再生) ▼(停止)で[i.LINK接続設定]を選び、実行/決定を押す

3 [i.LINK機器一覧]が選ばれた状態で、実行/決定を押す

- i.LINK機器番号、接続状態、機器名、メーカー名/機種名が表示されます。
- 接続した順番に、d1〜d15まで登録されます。

❶ 外部BS機器として登録されたことを示すマーク
❷ 本体表示窓に表示されるi.LINK機器番号
❸ i.LINK機器の接続状態
　○：正しく接続されている
　ー：接続されていない、または主電源が切れている
　　(このままでは、この機器は使えません)

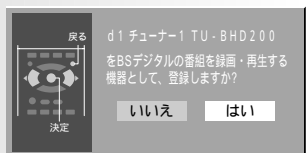
4 メニューを押す

■**お願い/ヒント**
- 各手順で、戻るを押すと1つ前のメニューに戻ります。
- 登録できる機器の数は最大15台までです。
- 機種名は16文字まで表示できます。
- 本機の電源を切っても、登録された機器は記憶しています。
- 上図❶のマークが表示されていない(外部BS機器が登録されていない)と、BSデジタル番組を録画・再生することはできません。
  表示されていないときは、必ず外部BS機器の登録をしてください。(➜右ページ)

- 接続しても機器が正しく登録されないときは、本体のリセット(システムリセット)を先の細いもので軽く押してみてください。それでも登録されないときは、接続した機器側の設定などを確かめてください。

BSデジタル番組を録画・再生するためのチューナーを登録する

i.LINK機器一覧画面に🅱マークが表示されていないときや、チューナーを搭載した複数の機器を接続したときは、どの機器を使ってBSデジタル番組を録画・再生するかを選び、登録しておく必要があります。

4 **左ページ手順3のあと、**
▲(再生)▼(停止)で外部BS機器として使いたい機器を選び、
実行/決定を押す

5 **▶(早送り)で[はい]を選び、**
実行/決定を押す

● 選んだ機器が外部BS機器として登録されます。

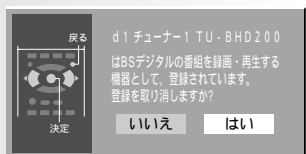
BSデジタルの番組を録画・再生する機器として
d1 チューナー1 TU-BHD200
を登録しました。

6 **メニューを押す**

チューナーの登録を取り消す

外部BS機器の登録を取り消すことができます。

4 **左ページ手順3のあと、**
▲(再生)▼(停止)で🅱マークの付いている機器を選び、
実行/決定を押す

5 **▶(早送り)で[はい]を選び、**
実行/決定を押す

● 選んだ機器の外部BS機器登録が取り消されます。

6 **メニューを押す**

■お願い/ヒント

- 外部BS機器として登録できる機器は1台だけです。
- チューナー(内蔵テレビ)は、i.LINKケーブルで接続すると自動的に外部BS機器として登録されます。
- 本体表示窓に“d1(例)”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、登録や取り消しはできません。
このときはi.LINKを押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にしてください。
- BSデジタル番組の予約があるときは、取り消しできません。別の機器を外部BS機器として登録し直すこともできません。まず予約を取り消してください。

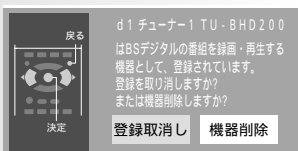
i.LINK機器を削除する

不要な機器を1つずつ削除することができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)
- 削除したい機器のi.LINKケーブルを外す。
- 本体表示窓に“d1(例)”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINKを押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

4 **左ページ手順3のあと、**
▲(再生)▼(停止)で削除したい機器を選び、
実行/決定を押す

このあと、
▶(早送り)で[機器削除]を選び、
実行/決定を押す

● 登録が削除されます。

5 **メニューを押す**

■お願い/ヒント

- 一度登録された機器は、i.LINKケーブルを外しても登録されたまま残っています。
不要になった機器は必ず削除してください。
- 削除するときは、必ず機器の接続を外してから行ってください。
接続したままになっていると、削除することができません。
- 本体表示窓に“d1(例)”など、削除したい機器のi.LINK機器番号が表示されているときは、削除できません。
このときはi.LINKを押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にしてください。
- BSデジタル番組の予約があるときは、外部BS機器として登録されている機器の削除はできません。
このときは、削除する前に予約を取り消しておいてください。

■登録されているすべての機器を消去したいとき

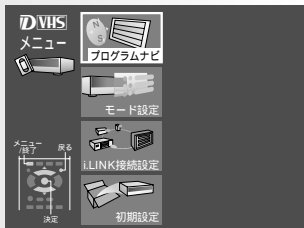
- i.LINK全登録消去(➜次ページ)

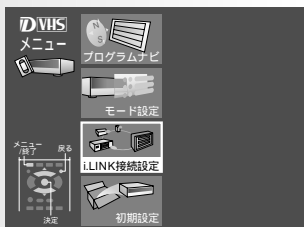
- 東芝製BSデジタルチューナーをお使いの方は、解説(➜102)もお読みになり、正しく設定してください。

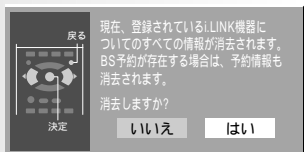
i.LINK機器の登録をすべて消去する(i.LINK全登録消去)

登録されているすべてのi.LINK機器を消去することができます。

- 最初から接続をやり直したいとき、i.LINK機器番号の順番を変更したいときなどにお使いください。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➔21)
- 本機と接続しているi.LINKケーブルをすべて外す。
- 本体表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

1 メニュー を押す

2 ▲(再生) ▼(停止) で [i.LINK接続設定]を選び、実行/決定 を押す

3 ▲(再生) ▼(停止) で [i.LINK全登録消去]を選び、実行/決定 を押す

4 ▶(早送り) で[はい]を選び、実行/決定 を押す

- i.LINK機器がすべて消去されます。

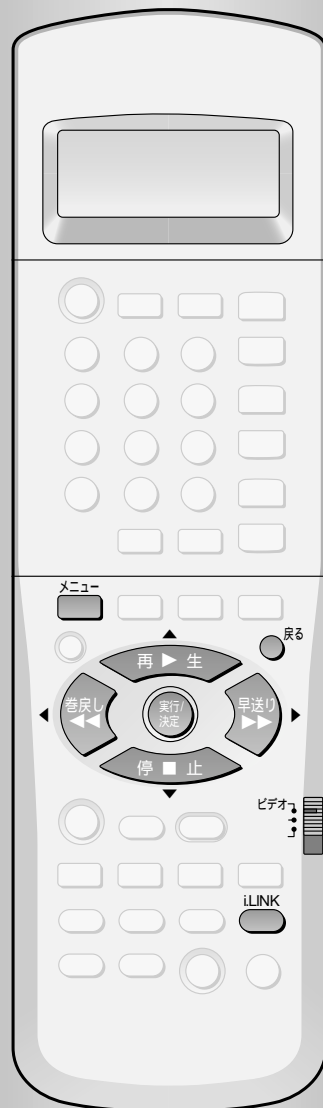
5 メニュー を押す

■お願い/ヒント

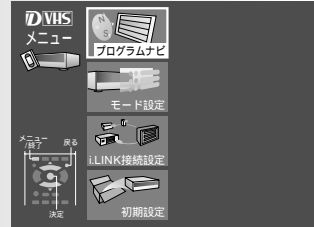
- 各手順で、 戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
- 必ずすべてのi.LINK機器の接続を外してから行ってください。
  接続したままi.LINK全登録消去しても、消去したあとにすぐ新たな接続と認識して登録してしまいます。
- 本体表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINK全登録消去できません。
  このときは i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にしてください。
- i.LINK全登録消去すると、BSデジタル番組の予約はすべて取り消されます。

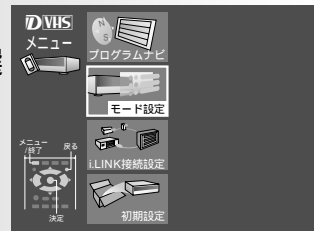
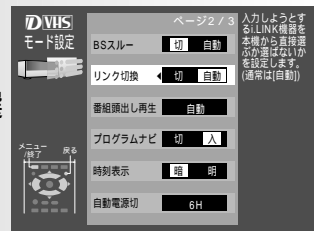
● 同じ機種名・品番のi.LINK機器であっても、もう1台増設(または交換)したときは、ID番号(➜99)が違うため、別の種類の機器として新たに登録されます。
特に、チューナー(内蔵テレビ)を増設(または交換)したときは、BS入力やBSデジタル番組のフリーセット予約の設定・実行が正しくできないことがあります。
i.LINK全登録消去で、登録された機器をすべて消去してから、再度登録し直してください。

■i.LINK機器番号を変更したいとき

● i.LINK機器一覧画面からはi.LINK機器番号を変更することはできません。
● 変更したいときは、
1. すべてのi.LINKケーブルを外す
2. i.LINK全登録消去をする
3. 登録したい順番にi.LINK機器を接続し直す

リンク切換を設定する

使いたいi.LINK機器を本機から選べるようにするか、しないかを設定します。

準備
● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
● テレビに本機の画面を出す。(➜21)
● 本体表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

1 **メニュー を押す**

2 **▲(再生) ▼(停止) で[モード設定]を選び、実行/決定 を押す**

3 **▼(停止) でページ2/3に送り、[リンク切換]を選んで、◀(巻戻し) ▶(早送り) で設定する**

切：使いたいi.LINK機器を本機で選ぶことはできません。ただし、i.LINK機器側で本機を選んだときは使うことができます。
自動(工場出荷時)
：使いたいi.LINK機器を本機で選ぶことができます。(通常はこの位置)

4 **メニュー を押す**

■お願い/ヒント

● 各手順で、 戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
● 本体表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、[リンク切換]の設定はできません。
このときは i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にしてください。

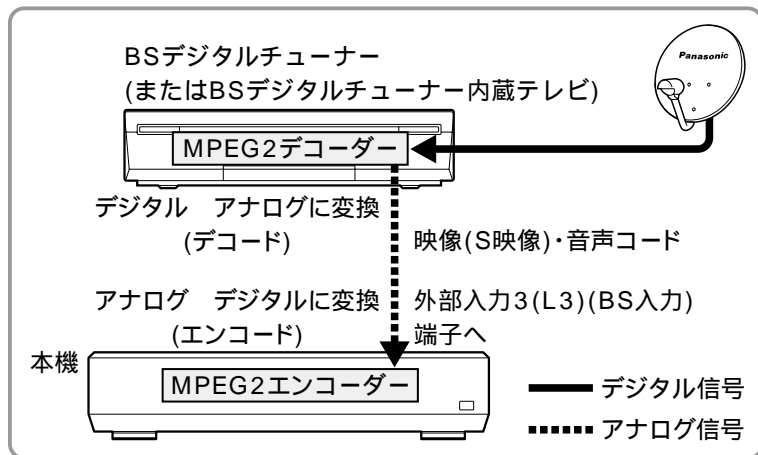
● **[切]にしたとき**
・i.LINK機器から出力されている信号があれば、その信号を入力します。
このときは、本体表示窓にそのi.LINK機器の番号が表示されます(d1～d16)。

・出力されている信号がないときは入力しません。
このときは、本体表示窓に" d－－ "と表示されます。

● **[自動]にしたとき**
本体表示窓に本機が選んでいるi.LINK機器番号が表示されます(d1～d16)。

BSデジタル番組を長時間録画・アナログ録画できるようにする（BS入力）

デジタル

BSデジタル番組をデジタルで長時間録画することができます。
- [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]の中からお好みのモードを選ぶことができます。**(➜33,41)**
- HDなどの高画質番組でも、最大約56時間の長時間録画ができます。([LS7]モード、DF-480カセットを使用した場合)
- チューナー(内蔵テレビ)からの映像・音声は、i(TS)(i.LINK入出力)端子からではなく、外部入力3(L3)(BS入力)端子からアナログで入力されます。
  これを本機でデジタルに変換(エンコード)して録画します。

アナログ

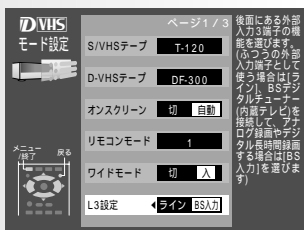
BSデジタル番組をアナログで録画することができます。
- [標準]、[3倍]、[標準3倍(予約録画時のみ)]の中からお好みのモードを選ぶことができます。**(➜33,45)**
- チューナー(内蔵テレビ)からの映像・音声は、i(TS)(i.LINK入出力)端子からではなく、外部入力3(L3)(BS入力)端子からアナログで入力されます。
- アナログなので、録画済みのカセットは従来のVHSビデオでも再生できます。

■ただし、BS入力を使うと…
- 画質は、従来の地上波(VHF/UHF)放送と同等になります。
- データやマルチビュー、マルチ音声(多国語など)切換など、BSデジタル放送特有のいろいろな便利機能は楽しむことができません。

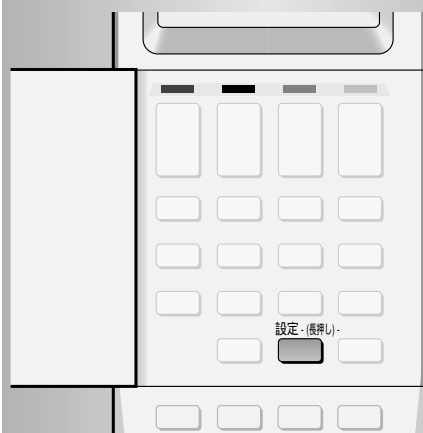
準備
- **BS入力をするために必要な接続をする。(➜16〜18)**
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を**[ビデオ]**にする。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜21)**
- 外部BS機器が登録されているか確かめる。**(➜22)**

1 メニュー **を押す**

2 ▲(再生) ▼(停止) **で[モード設定]を選び、**
実行/決定 **を押す**

3 ▼(停止) **で[L3設定]を選び、**
▶(早送り) **で[BS入力]を選ぶ**
- 工場出荷時は[BS入力]になっています。

4 メニュー **を押す**

■お願い/ヒント
- 各手順で、 戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。

■ふたをひらいたところ

市外局番入力チャンネルの設定

お住まいの都市(地域)の市外局番を利用して、本機のチューナーの受信チャンネル(VHF/UHF)を設定します。

- ＢＳデジタル放送や従来のアナログＢＳ放送のチャンネルは設定できません。

準備

- ＶＨＦ/ＵＨＦアンテナが正しく接続されていることを確認する。
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)
- 本体表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、 i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

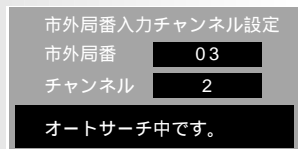
1 **設定(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続ける**

2 **市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜28)で、お住まいの都市(地域)の市外局番を確かめる**

3 **リモコンのふたを閉じ、❶～⑩/0 で市外局番を入力する**

- 市外局番に変更があったときでも、一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときは、手順１からやり直してください。

4 **転送 を押す**

- 市外局番が表示され、本機がオートサーチを始めます。

5 **オートサーチが終わったら、リモコンのふたをひらき、すぐ閉じる**

- 市外局番入力チャンネル設定が終了します。

6 **ビデオチャンネル ∧ ∨ (または❶～⑫)でチャンネルを切り換えながら、すべてきれいに受信できていることを確かめる**

- ❶～⑫では、一覧表に記載されているチャンネルポジション１～１２の放送局を直接選ぶことができます。

■市外局番を転送すると

1. 一覧表のとおりに受信チャンネルを設定する
2. オートサーチを行って、それらの放送局が実際に受信できるかどうかを調べる
   VHF/UHF放送(1～62チャンネル)→
   CATV放送(C13～C63チャンネル)の順に、
   約1分間のオートサーチを行います。

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20(愛媛県は14～20)に追加登録されます。

■同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されたとき

- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除しておいてください。(➜31)

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

- マニュアルチャンネル設定(➜30,31)で、必要な設定を行ってください。

■最初から設定し直したいとき

- 左記手順3で、市外局番の代わりに ⑩/0 を6回押し、[000000]で転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

- このときは、
  - ・**VHF/UHFチャンネル**
    VHFの1～12チャンネルのみ受信できる状態
  - ・**CATVチャンネル**
    すべてのチャンネルが受信できない状態
  - ・**外部入力チャンネル**
    L1、L2チャンネルが使える状態
    L3チャンネルは、メニューの[モード設定]→[L3設定]が[ライン]になっているときのみ使えます。(➜82)
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

チャンネル設定に関する用語

■チャンネルポジション「PO」

- 放送局を登録する位置です。
  ビデオチャンネル ∧ ∨ を押すごとに、チャンネルポジションに登録された順番で選局できます。

■受信チャンネル　　「CH」

- 放送局からの電波を実際に受信するためのチャンネルです。
- 新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

■表示チャンネル　　「表示」

- 本体表示窓やテレビ画面に表示させるためのチャンネルです。新聞・雑誌などに載っているチャンネルの数字に合わせておくと選局しやすくなります。
- 実際の受信チャンネルと違う数字になる地域もあります。

■ガイドチャンネル　「ガイドCH」

- Gコード予約をするために必要なチャンネルです。
- ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。
  例)NHK総合テレビ：80、NHK教育テレビ：90

■拡張チャンネル

- 将来のシステムに対応するもので、現在は使うことができません。
- 「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

市外局番入力チャンネル設定一覧表(VHF/UHF)

市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																			
			①				②				③				④				⑤			
			放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	3
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	3
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	2
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	3
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	3
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	1
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	2
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	4
埼玉	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	1
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	-
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	3
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	1
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	8
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	3
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	3
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	3
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	1
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	1
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	1
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	9
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

● 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの❶～⓬で直接選ぶことができます。
● マニュアルチャンネル設定でガイドチャンネルを手動で合わせるときは、各放送局の“ ガイドCH ”の項目をご覧ください。

チャンネルポジション／放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル

⑥ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑦ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑧ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑨ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑩ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑪ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑫ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	⑬ 放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
								北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1								
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1								
海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1								
海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5				
								北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38				
				NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38				
												NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37				
田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37				
手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12				
				東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12				
レビュー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38				
HK教育	6	6	90					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38				
島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12				
島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12				
島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35				
BSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12				
BSテレビ	23	6	6					フジテレビ	21	8	8					テレビ朝日	19	10	10					テレビ東京	17	12	12				
BSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12				
BSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12				
BSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12				
レビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12				
								NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90				
レビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11								
越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38												
ューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34				
陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37				
陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39				
岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35				
岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35				
レビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35				
阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25				
BCテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35				
BCテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育	46	46	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	20	6	6					関西テレビ	22	8	8					読売テレビ	24	10	10					NHK教育	26	12	90				
BCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90				
BCテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育	26	12	90				
																山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34				
HK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
								山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90																
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11								
				NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12				
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12								
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37				
BCテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35				
BCテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	38	12	90				
HK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37	愛媛朝日	25	25	25
海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37	愛媛朝日	14	14	25
HK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40								
HK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37				
HK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90				
レビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37				
レビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22				
レビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4				
海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90				
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				
崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																				
崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30								
児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90				
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90				

手動でチャンネルを合わせる（マニュアルチャンネル設定）

市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったとき、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

VHF/UHFチャンネルの設定

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

1 メニューを押し、▲(再生) ▼(停止)で[初期設定]を選び、実行/決定を押す

2 [チャンネル設定]が選ばれた状態で、実行/決定を押す

3 ▲(再生) ▼(停止)で設定したいチャンネルポジションを選ぶ

VHF／UHF　チャンネル　　ページ　1／12

PO	CH	表示	ガイドCH	微調整
1	1	1	80	0
2	14	14	14	0
3	3	3	90	0
4	4	4	4	0
5	16	16	16	0
6	6	6	6	0
7	‐‐	‐‐	‐‐	0
8	8	8	8	0

(POは“Position（ポジション）”の略です)
- “1”〜“20”の中から選びます。
- ▼(停止)を押すごとに、下記のように変わります。
  (▲(再生)を押すと逆方向)
  →**VHF/UHFチャンネル** (1 → 2 …→ 20)
  →**CATVチャンネル** (C13 → C14 …→ C63)
  →**外部入力チャンネル** (L1 → L2 → L3)
  →**拡張チャンネル** (o1 → o2 …→ o7)

4 ▶(早送り)で[CH]を選び、▲(再生) ▼(停止)で受信チャンネルを合わせる

VHF／UHF　チャンネル　　ページ　1／12

PO	CH	表示	ガイドCH	微調整
1	1	1	80	0
2	14	14	14	0
3	3	3	90	0
4	4	4	4	0
5	16	16	16	0
6	6	6	6	0
7	42	7	‐‐	0
8	8	8	8	0

- 設定したい放送局が映るように合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

5 ▶(早送り)で[表示]を選び、▲(再生) ▼(停止)で表示チャンネルを合わせる

VHF／UHF　チャンネル　　ページ　1／12

PO	CH	表示	ガイドCH	微調整
1	1	1	80	0
2	14	14	14	0
3	3	3	90	0
4	4	4	4	0
5	16	16	16	0
6	6	6	6	0
7	42	42	‐‐	0
8	8	8	8	0

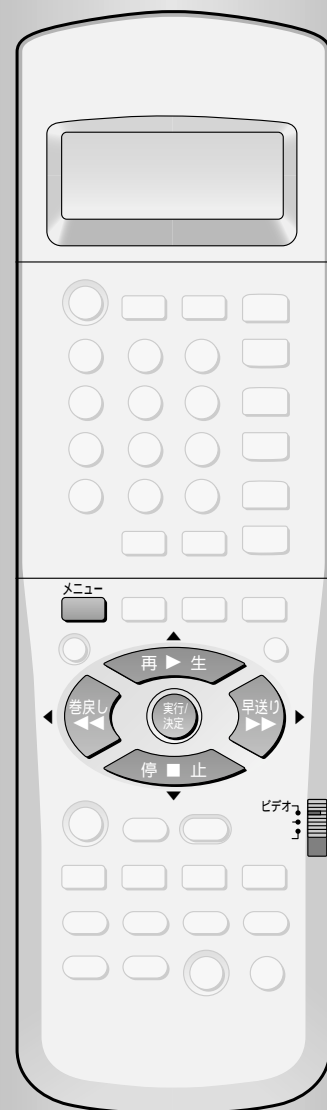
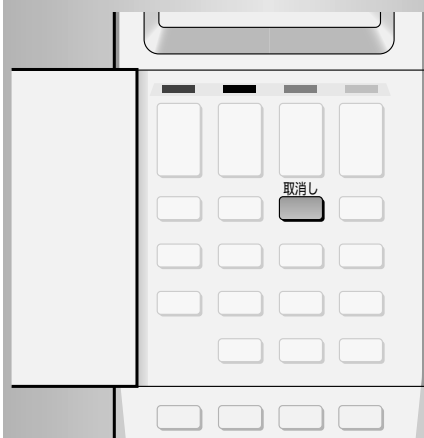
- 本体表示窓やテレビ画面に表示させたい数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。

6 ▶(早送り)で[ガイドCH]を選び、▲(再生) ▼(停止)でガイドチャンネルを合わせる

VHF／UHF　チャンネル　　ページ　1／12

PO	CH	表示	ガイドCH	微調整
1	1	1	80	0
2	14	14	14	0
3	3	3	90	0
4	4	4	4	0
5	16	16	16	0
6	6	6	6	0
7	42	42	42	0
8	8	8	8	0

- 各放送局のガイドチャンネルは、一覧表(➜28)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

7 メニューを押す

■ふたをひらいたところ

■ヒント

- VHF/UHFチャンネルの放送のないチャンネル選ぶと、ノイズ画面になります。

CATVチャンネルの設定

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➔21)

3 左ページ手順2のあと、
▲(再生)▼(停止)で設定したいCATVのチャンネルポジションを選ぶ

4 **▶(早送り)で[表示]を選び、▲(再生)▼(停止)で表示を出す**

- "C－－"のチャンネルはとばされています。

5 **▶(早送り)で[ガイドCH]を選び、▲(再生)▼(停止)でガイドチャンネルを合わせる**

- 各放送局のガイドチャンネルは、一覧表(➔28)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせます。
- ボタンを押し続けると10ずつ変わります。
- ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

6 **メニュー を押す**

■お願い/ヒント

- CATV会社によっては、従来のアナログBS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。
  このときは、Gコード予約するための各放送局のガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK衛星第1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK衛星第2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78

不要なチャンネルを削除する

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

3 左ページ手順2のあと、
▲(再生)▼(停止)で削除したいチャンネルポジションを選ぶ

4 **取消し を押す**

- CH(受信)、表示・ガイドCHのすべてが"－－"になります。

5 **メニュー を押す**

映りの悪いチャンネルを微調整する

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

3 左ページ手順2のあと、
▲(再生)▼(停止)で微調整したいチャンネルポジションを選ぶ

4 **◀(巻戻し)▶(早送り)で[微調整]を選び、▲(再生)▼(停止)で微調整する**

- 色が付いていないとき…▲(再生)(＋1～＋63)
  しま模様が出るとき……▼(停止)(－1～－63)
  ("0"にすると、元の状態に戻ります)
- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

5 **メニュー を押す**

カセットの種類や録画方式(デジタル・アナログ)、録画モードの種類によって使える機能が異なります。

- 本書では、記号を用いてその説明箇所に当てはまる録画方式を表しています。

デジタル　デジタル(D-VHS)方式のみ使える機能

アナログ　アナログ(S-VHS・S-VHS ET・VHS)方式のみ使える機能

録画・再生できるカセット

D-VHS MTP NTSC

D-VHSカセット

デジタル アナログ

DF-300(“ＨＳ”で約2時間30分
“STD”で約5時間)
DF-360(“ＨＳ”で約3時間
“STD”で約6時間)
DF-420(“ＨＳ”で約3時間30分
“STD”で約7時間)
DF-480(“ＨＳ”で約4時間
“STD”で約8時間)

S-VHS

S-VHSカセット

アナログ

ST-　30(“標準”で約30分)
ST-　60(“標準”で約1時間)
ST-120(“標準”で約2時間)
ST-140(“標準”で約2時間20分)
ST-160(“標準”で約2時間40分)
ST-180(“標準”で約3時間)
ST-210(“標準”で約3時間30分)

VHS

VHSカセット

アナログ

T-　30(“標準”で約30分)
T-　60(“標準”で約1時間)
T-120(“標準”で約2時間)
T-140(“標準”で約2時間20分)
T-160(“標準”で約2時間40分)
T-180(“標準”で約3時間)
T-210(“標準”で約3時間30分)

- S-VHS-Cカセット、VHS-Cカセットも使えます。
ただし、本機で録画・再生するにはカセットアダプターVW-TCA7(別売)が必要です。

録画・再生できないカセット

- 標準DVカセット
- ミニDVカセット
- βカセット
- 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセット

録画方式

使用するカセットによって、デジタル(D-VHS)方式、アナログ(S-VHS、S-VHS ET、VHS)方式で録画できます。

デジタル録画方式

デジタル

- D-VHSカセットのみ可能です。

■カセット別の録画可能な方式

	D-VHS
D-VHSカセット	○
S-VHSカセット	ー
VHSカセット	ー

アナログ録画方式

アナログ

- D-VHS、S-VHS、VHSすべてのカセットで可能です。

■カセット別の録画可能な方式

	S-VHS	S-VHS ET＊1	VHS
D-VHSカセット	○	ー	○
S-VHSカセット	○	ー	○
VHSカセット	ー	○＊2	○

＊1 VHSカセットにS-VHSの画質で録画する機能です。
＊2 高画質で録画できるカセットの目安として、当社製HG(ハイグレード)タイプのVHSカセットをおすすめします。

録画モード

デジタル録画モード

デジタル

次の5種類があります。

自 動：本機が番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。

[H S]：デジタルハイビジョン番組、マルチビュー番組など

● [HS]モードは、直接手動で選ぶことはできません。

[STD]：プログレッシブ番組など

[LS3]：BSラジオ番組、文字データ番組など

STD：カセットに表示されている時間の録画ができます。

LS3：STDに対して3倍の録画ができます。

LS5：STDに対して5倍の録画ができます。

LS7：STDに対して7倍の録画ができます。

■お願い/ヒント

● [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画すると、多少画質が劣化します。また、動きの早い場面を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。
動きの早い場面が多い番組(スポーツ・コンサートなど)を[自動]モード以外で録画するときは、[STD]モードをおすすめします。

■カセット別の録画可能な時間

	HS	STD	LS3	LS5	LS7
DF-300	2時間30分	5時間	15時間	25時間	35時間
DF-360	3時間	6時間	18時間	30時間	42時間
DF-420	3時間30分	7時間	21時間	35時間	49時間
DF-480	4時間	8時間	24時間	40時間	56時間

アナログ録画モード

アナログ

次の3種類があります。

標準：カセットに表示されている時間の録画ができます。

3 倍：標準に対して3倍の録画ができます。

標準3倍：番組をテープにぴったりおさめたいとき。
(予約録画時のみ)
[標準]モードで予約録画を始め、テープ残量が足りなくなってくると、自動的に[3倍]モードに切り換えて予約終了時刻まで録画します。
(➜60)

録画可能な録画モードについて

接続している機器、BS入力の設定状態、入っているカセットの種類によって、録画可能なモードが変わります。

選んだ入力	D-VHSカセット		S-VHS、VHSカセット	
	デジタル録画 使える録画モード	アナログ録画 使える録画モード	デジタル録画 使える録画モード	アナログ録画 使える録画モード
本機のチューナー [地上波(VHF/UHF)、CATV] **外部入力**[L1、L2、L3]	○ [STD、LS3・5・7]*2	○ [標準、3倍]	–	○ [標準、3倍]
BSデジタルチューナー [BS入力*1：設定している]	○ [自動]*3 [STD、LS3・5・7]*4	○ [標準、3倍]	–	○ [標準、3倍]
BSデジタルチューナー [BS入力*1：設定していない]	○ [自動]*3	–	–	–
他のD-VHSビデオからのダビング [自動モードで録画されたBSデジタル番組の場合]	○ [自動]*3	–	–	–
他のD-VHSビデオからのダビング [自動モード以外で録画されたBSデジタル番組や、地上波(VHF/UHF)番組の場合]	○ [自動]*3	○ [標準、3倍]	–	○ [標準、3倍]

＊1 BS入力について**(➜26)**
＊2 放送局からアナログで送られてくる番組を、デジタルに変換(エンコード)して録画します。
＊3 本機が番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。
＊4 外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力されるアナログ信号を、デジタルに変換(エンコード)して録画します。

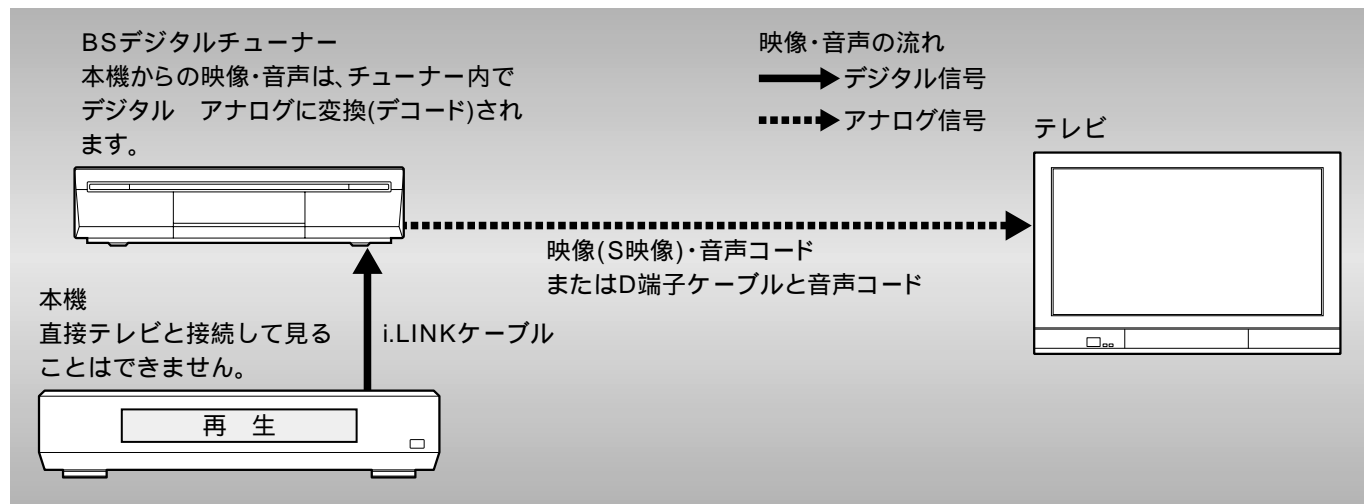
BSデジタルチューナー、テレビと接続したとき

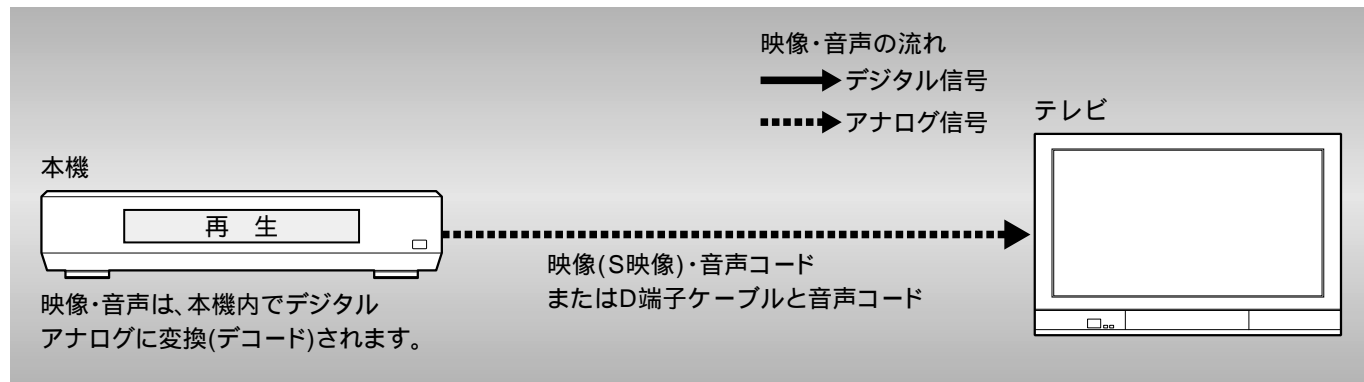
再生する番組によって、接続や準備が異なります。

デジタル録画した番組を再生する

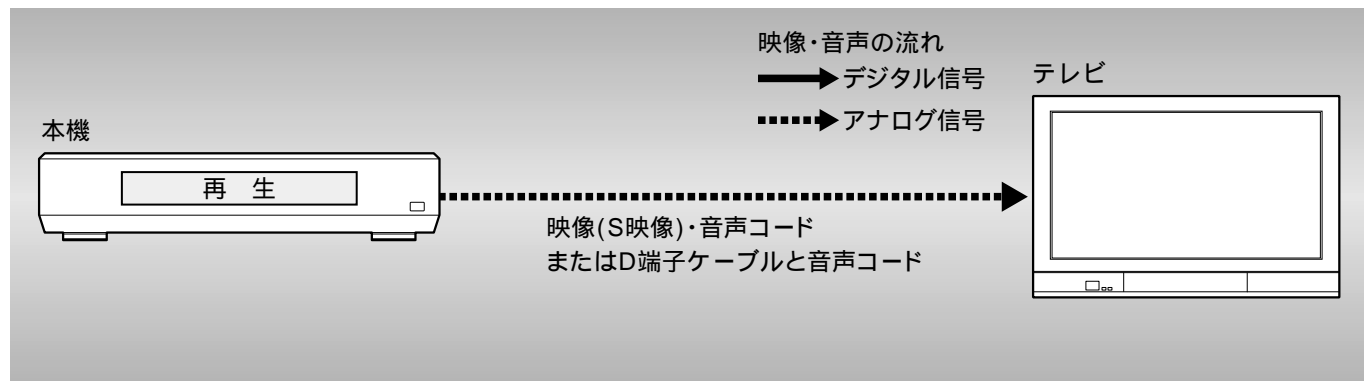
デジタル

■BSデジタル放送の番組を再生する

準備
- 接続する。(➜16,17)
- チューナーの電源を入れる。
- テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。
- 当社製以外のチューナーをお使いのときは、チューナーで本機をLINC(リンク)(➜103)してください。(詳しくは、チューナーの説明書をお読みください)

■本機でデジタルに変換(エンコード)して録画した番組を再生する
(地上波番組などをデジタル録画した場合)

準備
- 接続する。(➜16,17)
- テレビの電源を入れ、本機と接続した入力に切り換える。(➜21)

アナログ録画した番組を再生する

アナログ

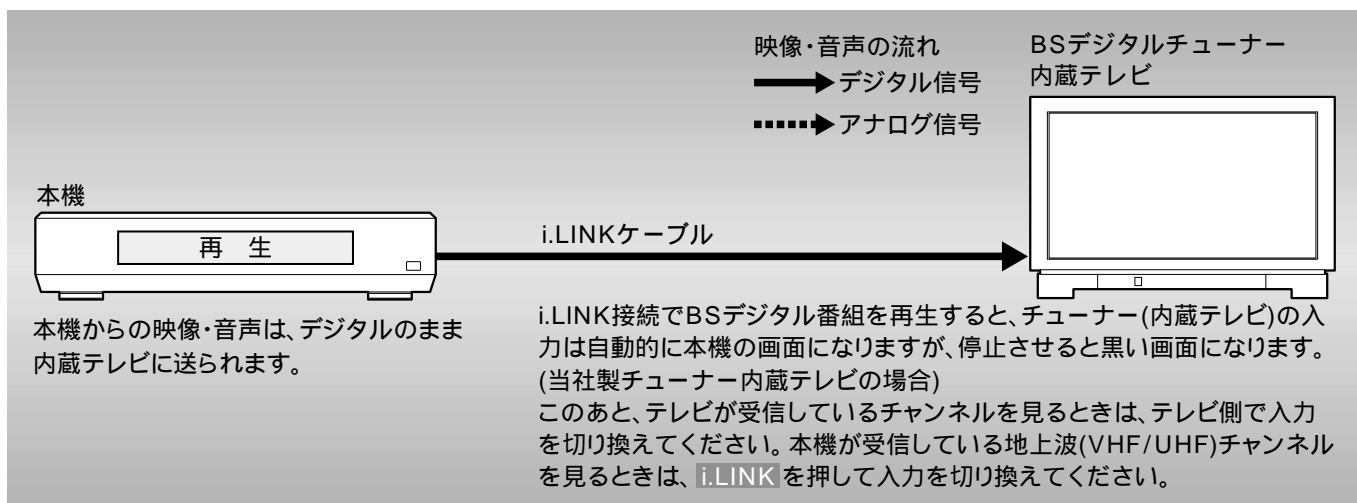
準備
- 接続する。(➜16,17)
- テレビの電源を入れ、本機と接続した入力に切り換える。(➜21)

BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

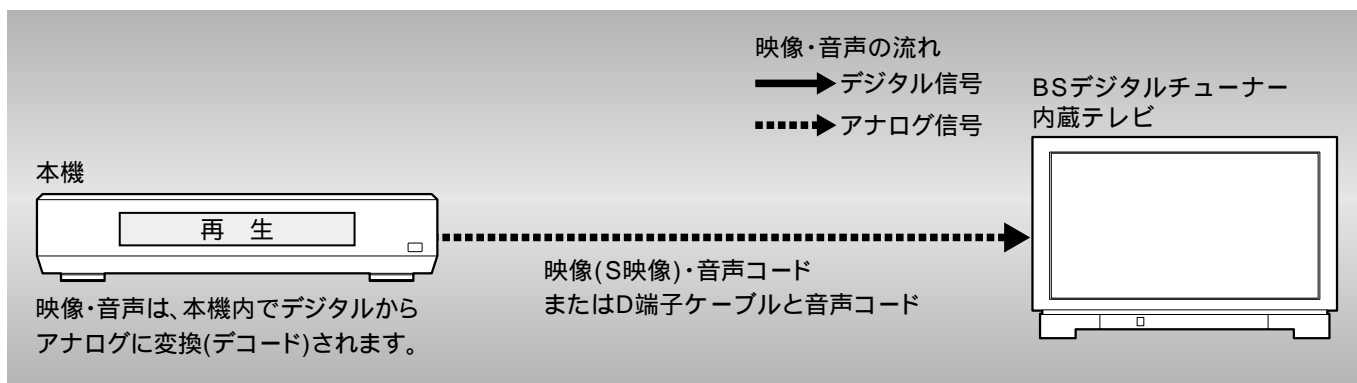
再生する番組によって、接続や準備が異なります。

デジタル録画した番組を再生する

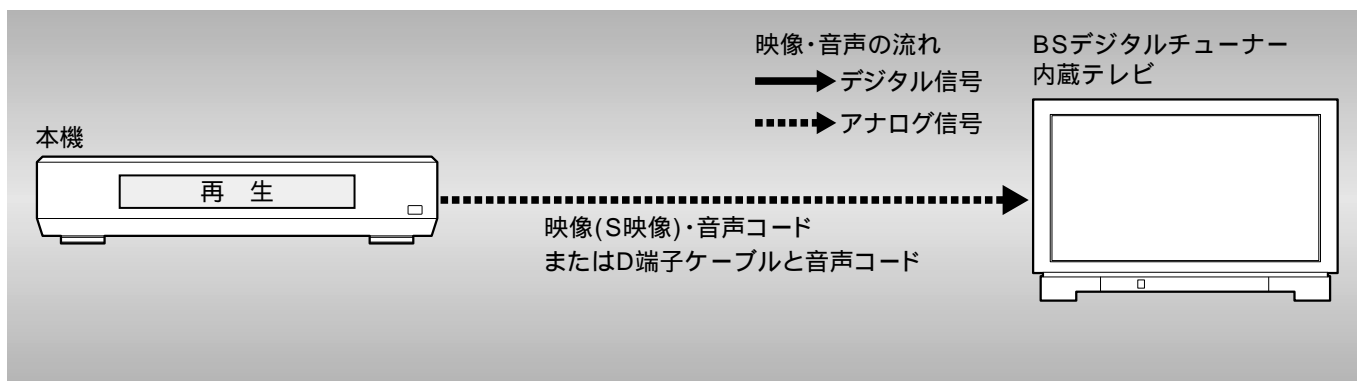
デジタル

■BSデジタル放送の番組を再生する

準備
- 接続する。(➜18)
- チューナー内蔵テレビの電源を入れる。
- 当社製以外のチューナー内蔵テレビをお使いのときは、チューナー内蔵テレビで本機をLINC(リンク)(➜103)してください。(詳しくは、チューナー内蔵テレビの説明書をお読みください)

■本機でデジタルに変換(エンコード)して録画した番組を再生する
(地上波番組などをデジタル録画した場合)

準備
- 接続する。(➜18,19)
- 内蔵テレビの電源を入れ、本機と接続した入力に切り換える。(➜21)

アナログ録画した番組を再生する

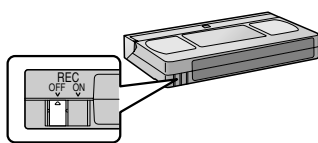
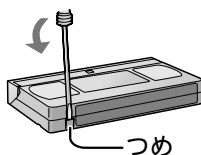
アナログ

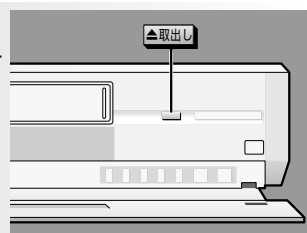
準備
- 接続する。(➜18,19)
- 内蔵テレビの電源を入れ、本機と接続した入力に切り換える。(➜21)

カセットを入れる

テープが見える面を上に、
テープラベルが手前になるようにして、
中央部をゆっくりと押し込む
● 自動的に電源が入り、本体表示窓に“ ”が表示されます。

● D-VHS、S-VHS、VHSマークの付いたカセットが使えます。
● メニューの[モード設定]→[プログラムナビ]を[入]にしているときは、カセットを入れたときに、テレビ画面に“ナビデータを確認しています。”と表示されます。(➜76)

■**残しておきたい番組を誤って消さないために**
● 誤消去防止用の「つめ」を折り取ってください。
● もう一度録画できるようにしたいときは、折り取った部分にセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)

● 誤消去防止つまみタイプのカセットのときは、つまみをスライドさせて“OFF”にしてください。“ON”に戻すと、録画が可能になります。カセットの説明書もよくお読みください。

カセットを出す

⏏取出し を押す
● カセットが途中まで出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

● 電源「切」になっていても取り出せます。
● 録画中、予約録画の待機中、予約録画実行中は取り出せません。

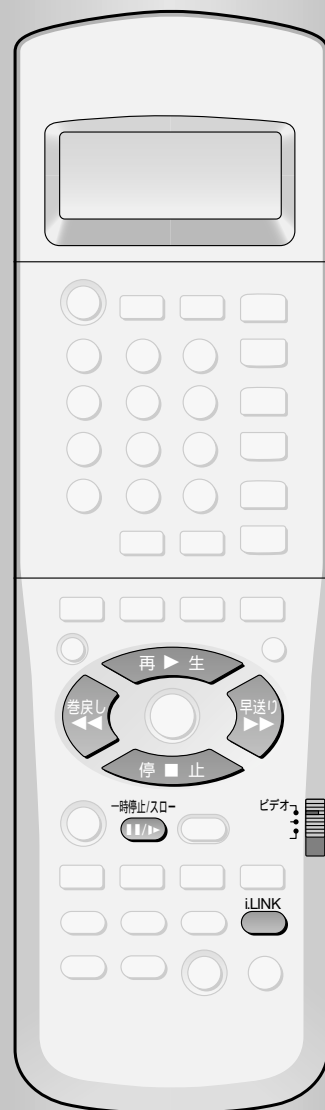
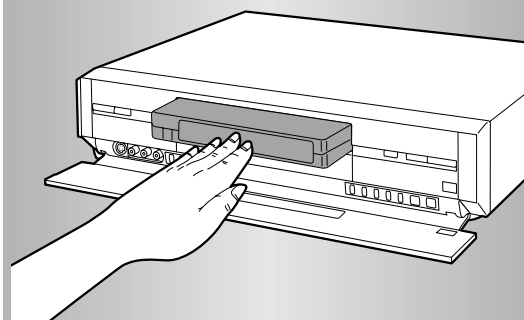
再生する

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[**ビデオ**]にする。

再生▶ を押す

■**停止する**
停止■ を押す。
● i.LINK接続でBSデジタル番組を再生すると、チューナー(内蔵テレビ)の入力は自動的に本機の画面になりますが、停止させると黒い画面になります。(当社製チューナー内蔵テレビの場合)
このあと、テレビが受信しているチャンネルを見るときは、テレビ側で入力を切り換えてください。
本機が受信している地上波(VHF/UHF)チャンネルを見るときは、i.LINK を押して入力を切り換えてください。

■**早送り(巻き戻し)する**
停止中に、早送り▶▶ (巻戻し◀◀)を押す。

■**ヒント**
● 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
● すでにカセットが入っているときは、電源が切れていても、再生▶ を押すだけで再生を始めます。

■お願い/ヒント
- 再生を始めた直後や、録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまでモザイク状のノイズが出たり、静止画や黒い画面になることがあります。
- 予約録画のつなぎ目を再生すると、画面が一瞬乱れることがあります。
- [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画された番組を再生すると、正しい画面が出るまでに時間がかかることがあります。また、動きの早い映像を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。

■テレビ画面に"再生できません"と表示されたとき
- 録画時に正しく録画できていない可能性があります。i.LINKケーブルの接続を確かめてください。

BSデジタル番組の再生について

デジタル

■[自動]モードで録画した番組
- デジタルハイビジョン番組を高画質のまま録画したり、マルチビューやデータを同時に録画することができるので、再生時でも画面や音声を切り換えて楽しむことができます。

デジタルハイビジョン番組
：ハイビジョンの高画質番組です。(1125i/750p)

プログレッシブ番組
：高画質番組です。(525p)
従来の映像信号(NTSC)である525i(i：インターレス＝飛び越し走査)に対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p：プログレッシブ＝順次走査)といいます。

通常の番組：従来のアナログBS放送と同等の画質の番組です。(525i)

マルチビュー：いろいろな映像に切り換えることができます。

データ：天気予報など、データ情報を見ることができます。

マルチ音声：いろいろな音声(多国語など)に切り換えることができます。

字幕：いろいろな字幕に切り換えることができます。

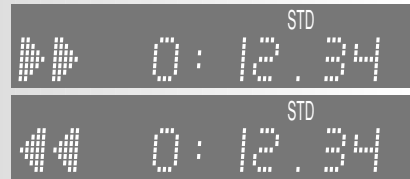
■[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]モード(BS入力)で録画した番組
- [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画した番組は、多少画質が劣化します。また、動きの早い場面を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。
- マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。
- データは、操作することはできません。
- マルチ音声(多国語など)は、録画時に選んでいた音声しか再生することができません。
- 字幕は、操作することはできません。

■テレビ画面に"BSデジタル信号です。テレビ・チューナーの設定を変えてください。"と表示されたとき
- テレビ側の入力をチューナーと接続した入力に切り換えてください。

アナログ

■[標準]、[3倍]モード(BS入力)で録画した番組
- 画質は従来の地上波(VHF/UHF)番組と同等になります。
- マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生することができません。
- データは、操作することはできません。
- マルチ音声(多国語など)は、録画時に選んでいた音声しか再生することができません。
- 字幕は、操作することはできません。

早送り(巻き戻し)再生

再生中に、
早送り▶▶(巻戻し◀◀)をポンと短く押す
- 押し続けると、押している間だけ早送り(巻き戻し)再生を行い、指を離すと通常の再生に戻ります。

■通常再生に戻す
再生▶を押す。
- デジタル録画された番組は、少し先に進んだ場面で通常再生に戻ります。

■お願い/ヒント
- 音声は出ません。
- 早送り(巻き戻し)再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。
- デジタル録画された番組は、静止画になったままやモザイク状のノイズが発生することがあります。
- デジタル録画とアナログ録画が混在するカセットは、正しく映像が出ないことがあります。一度停止させてから、もう一度再生してみてください。
- ラジオ放送やデータなどは、映像が出ないことがあります。

静止画再生

再生中に、
一時停止/スロー ▮▮/▶を押す

スロー再生

アナログ

再生中に、
一時停止/スロー ▮▮/▶を約2秒以上押し続ける
- デジタル録画された番組では働きません。

■通常再生に戻す
再生▶を押す。
- 静止画再生のときは、一時停止/スロー ▮▮/▶をもう一度押しても、通常再生に戻すことができます。

■お願い/ヒント
- 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。
- 音声は出ません。
- アナログのときは映像が乱れることがあります。

高速で早送り(巻き戻し)再生する (スピードサーチ)

高速で見ることができます。(音声は出ません)

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。

停止中または再生中に、

スピードサーチ ◀◀ ▶▶ を押す

▶▶ ：早送り方向
◀◀ ：巻き戻し方向

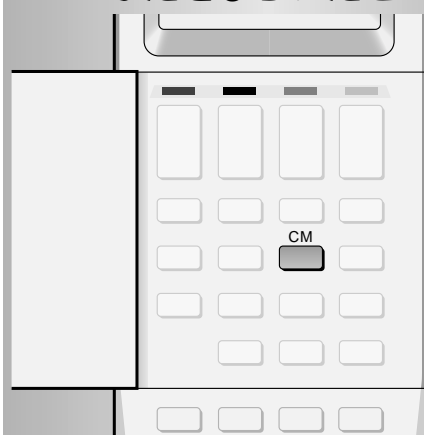
- テレビ画面にテープ位置が表示されます。表示されるまで少し時間がかかります。
- i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

■通常再生に戻す

再生▶を押す。

■お願い/ヒント

- 録画されたモードによって速度が異なります。(速度表示は出ません)
  H S： 6倍速
  STD：12倍速
  LS3：36倍速
  LS5：60倍速
  LS7：84倍速
  標 準：13倍速⟷ 9倍速
  3 倍：43倍速⟷27倍速
- [標準]、[3倍]のみ、スピードサーチが始まったあと、同じ方向のボタンを押すごとに速度を切り換えることができます。
  13倍速(43倍速)で映像が乱れるときは、9倍速(27倍速)に切り換えてご覧ください。
- メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を正しく合わせておかないと、テープ位置が表示されなかったり、表示されても正しい位置になりません。(➜82)
- [HS]、[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]のときは、停止状態からスピードサーチすると、映像が出ないことがあります。
  このときは、一度再生状態にしてから操作してください。
- サーチ中のテープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- お使いになるテレビによっては、映像が乱れることがあります。
- スピードサーチを約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため、通常の再生に戻ります。

■ふたをひらいたところ

番組を繰り返し見る
(自動巻戻し再生)

同じ番組を繰り返して見ることができます。

- 録画状態によっては、正しく働かないことがあります。(➜下記)

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

再生中に、
再生▶ を約5秒以上押し続ける

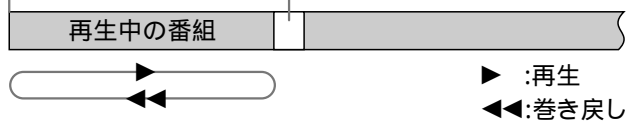
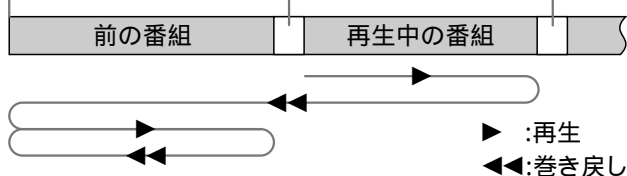
- この機能は解除するまで働き続けます。
- i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

■解除する

もう一度、再生▶ を押す。

- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

■ヒント

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。
  (未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されます)

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。

- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

CMを早送りして見る
(自動CM早送り再生)

CMを自動的に早送りして再生することができます。

- 地上波(VHF/UHF)番組の再生時のみ働きます。
- 録画されている番組によっては、正しく働かないことがあります。(➜下記)

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

再生を始める前
または再生中に、
CM を押し、
"自動CM早送り 入"
を表示させる

- CM中に CM を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

■解除する

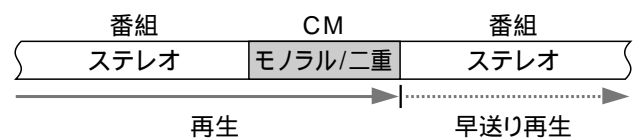
CM を押し、"自動CM早送り 切"を表示させる。

- 電源を切っても解除されます。

■ヒント

- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	早送り再生	再生

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき
    (CMも通常どおり再生されます)
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
  - ・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生したとき
- 次のようなときは働きません。
  - ・BSデジタル放送など、i.LINK機器から録画した番組
  - ・[LS5]、[LS7]モードで録画した番組
  - ・外部入力録画(BSデジタル、従来のアナログBS、CSデジタルを含む)した番組

BSデジタル番組をデジタル録画する

デジタル

BSデジタル番組をデジタルで録画することができます。

録画する前に

本機はBSデジタルチューナーを内蔵していませんので、BSデジタル番組を録画するには、チューナー(内蔵テレビ)が必要です。

準備
- 接続する。**(➜16～18)**
- メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BS機器が登録されているか確かめる。**(➜22)**
- [自動]モード以外で録画するときは、BS入力を設定する。**(➜26)**

■BSデジタルチューナーと接続したとき

■BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

■お願い/ヒント

- 本機は、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)のチューナーを使ってBSデジタル番組を録画しますので、**録画中は、絶対にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。また、途中で電源を切ると、そのあとは録画できません。
- チューナー内蔵テレビによっては、録画中にチューナー内蔵テレビ側で地上波(VHF/UHF)チャンネルに切り換えると、本機にBSデジタル番組の信号が入力されなくなる機種があります。
  本機でBSデジタル番組を録画しながら、テレビで別の番組を見たいときは、予約録画の操作をしてください。**(➜50～57)**

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを入れる。
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れる。

1 i.LINK でチューナー(内蔵テレビ)を選ぶ

d1　チューナー1

- 外部BS機器登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では“ d1 ”)
  機器名と連番、機種名がスクロール表示されますので、チューナー(内蔵テレビ)が選ばれているか確かめてください。

2 ■チューナーを使うときは、

ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする

■チューナー内蔵テレビを使うときは、

ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[テレビ]にする

3 録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ

■プリセットチャンネルで選ぶとき

例：プリセット番号3に記憶されている局を選ぶ

チューナーをお使いの場合：

❸を押す

チューナー内蔵テレビをお使いの場合：

テレビ(BS) →❸と押す

- プリセットされている放送局については、お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■直接チャンネルを選ぶとき

チャンネル番号入力 →❶～ ⑩/⓪ と押す

例：BSデジタル103チャンネルを選ぶ

チャンネル番号入力 →❶→ ⑩/⓪ →❸

4 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

5 録画モードが[自動]になっていることを確かめる

d1　16：10

- 自動的に[自動]が選ばれますので、**通常はこのまま**にしておいてください。
- 本体表示窓の“ i ”が点灯していることを確かめてください。

■[自動]以外で録画するときは、

録画モード を数回押し、以下のモードから選ぶ

[STD]：カセットに表示されている時間の録画ができます。
[LS3]：STDに対して3倍の録画ができます。
[LS5]：STDに対して5倍の録画ができます。
[LS7]：STDに対して7倍の録画ができます。

- 録画モードについて(➔次ページ)

6 録画● を押す

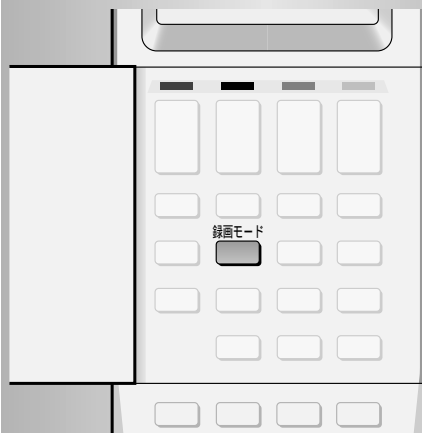
■録画をやめる

停止■ を押す。

■不要な場面をとばす

不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/▶ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▶ または 録画● を押すと録画が再開されます。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。

■ふたをひらいたところ

BSデジタル番組をデジタル録画する(つづき)

デジタル

■お願い/ヒント
- 手順1で“ d−− ”と表示されたときは、チューナー(内蔵テレビ)の電源が入っていないか、正しく接続されていません。
  接続を確かめて、電源を入れてください。
- 録画中は“ d1 ”から“ d2 ”へというように、i.LINK を押してチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- **録画中は、絶対にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。また、途中で電源を切ると、そのあとは録画できません。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、前ページの手順が異なることがあります。お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■コピーガードがかかっている番組について
- BSデジタル放送では、録画できないようにコピーガードがかかっている番組があります。

フリー録画番組：デジタル録画できます。
1回のみデジタルコピーが可能な番組
：デジタル録画が1回だけできます。ただし、この番組をダビング・編集することはできません。
デジタル録画禁止番組
：デジタル録画できません。

録画モードについて

自動的に[**自動**]が選ばれますので、**通常はこのまま**にしておいてください。

■[自動]にしておくと
- BSデジタル放送は、デジタルハイビジョン番組やプログレッシブ番組など、番組によって放送信号が異なります。
  [自動]にしておくと、本機が番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。
- デジタルハイビジョン番組を高画質のまま録画したり、マルチビューやデータを同時に録画することができるので、再生時でも画面や音声を切り換えて楽しむことができます。

デジタルハイビジョン番組
：ハイビジョンの高画質番組です。(1125i/750p)
プログレッシブ番組
：高画質番組です。(525p)
従来の映像信号(NTSC)である525i(i：インターレス＝飛び越し走査)に対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p：プログレッシブ＝順次走査)といいます。
通常の番組：従来のアナログBS放送と同等の画質の番組です。(525i)
マルチビュー：いろいろな映像に切り換えることができます。
データ：天気予報など、データ情報を見ることができます。
マルチ音声：いろいろな音声(多国語など)に切り換えることができます。
字幕：いろいろな字幕に切り換えることができます。

■[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]にすると(BS入力)
- これらの録画モードで録画するには、接続の⑩〜⑬(**➜16〜18**)と、BS入力(**➜26**)の設定が必要です。
- チューナー(内蔵テレビ)からの映像・音声は、i(TS)(i.LINK入出力)端子からではなく、外部入力3(L3)(BS入力)端子からアナログで入力されます。これを本機でデジタルに変換(エンコード)して録画します。
  デジタルハイビジョンなどの高画質番組でも最大約56時間の長時間録画ができます。
  ([LS7]モード、DF-480カセットを使用した場合)
  ただし、このときは、
  ・マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生できません。
  ・データは、再生時に操作できません。
  ・マルチ音声(多国語など)は、録画時に選んでいた音声しか再生できません。
  ・字幕は、再生時に操作できません。
- [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画すると、多少画質が劣化します。また、動きの早い場面を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。
  動きの早い場面が多い番組(スポーツ・コンサートなど)を録画するときは、[STD]モードをおすすめします。

地上波番組をデジタル録画する

デジタル

地上波(VHF/UHF)番組を本機でデジタルに変換(エンコード)して録画することができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを入れる。
- 本体表示窓に" d1(例) "など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

1 ビデオチャンネル∧∨(または❶〜⓬)で、録画したいチャンネルを選ぶ

2 録画モード を数回押し、以下のモードから選ぶ

[STD]：カセットに表示されている時間の録画ができます。
[LS3]：STDに対して3倍の録画ができます。
[LS5]：STDに対して5倍の録画ができます。
[LS7]：STDに対して7倍の録画ができます。

3 録画● を押す

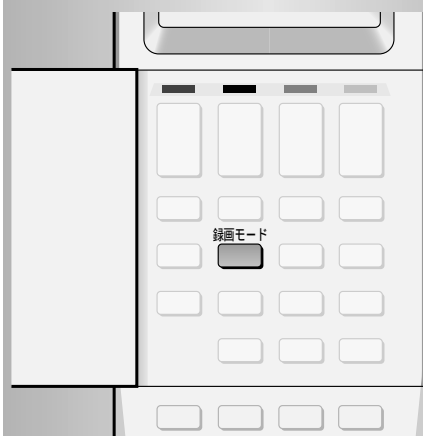
■録画をやめる
停止■ を押す。

■不要な場面をとばす
不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/▷ を押す。

録画 STD 0:12.34

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▷ または 録画● を押すと録画が再開されます。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。

■お願い/ヒント
- ❶〜⓬では、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜28)に記載されているチャンネルポジション1〜12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
(録画の一時停止中は変えることができます)
- [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画すると、多少画質が劣化します。また、動きの早い場面を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。
動きの早い場面が多い番組(スポーツ・コンサートなど)を録画するときは、[STD]モードをおすすめします。

■ふたをひらいたところ

BSデジタル番組をアナログ録画する

アナログ

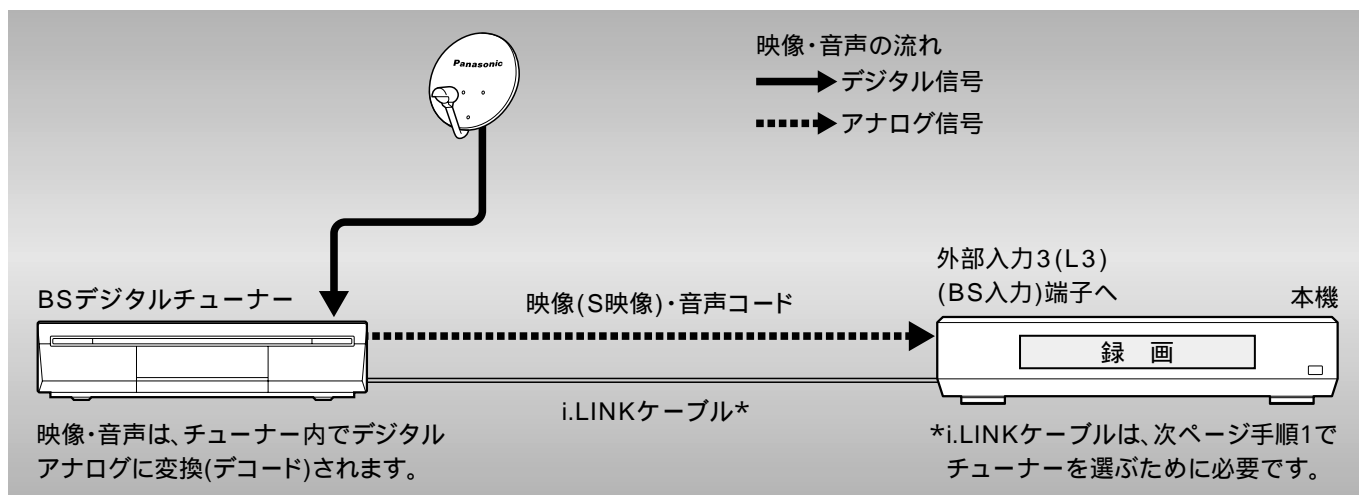
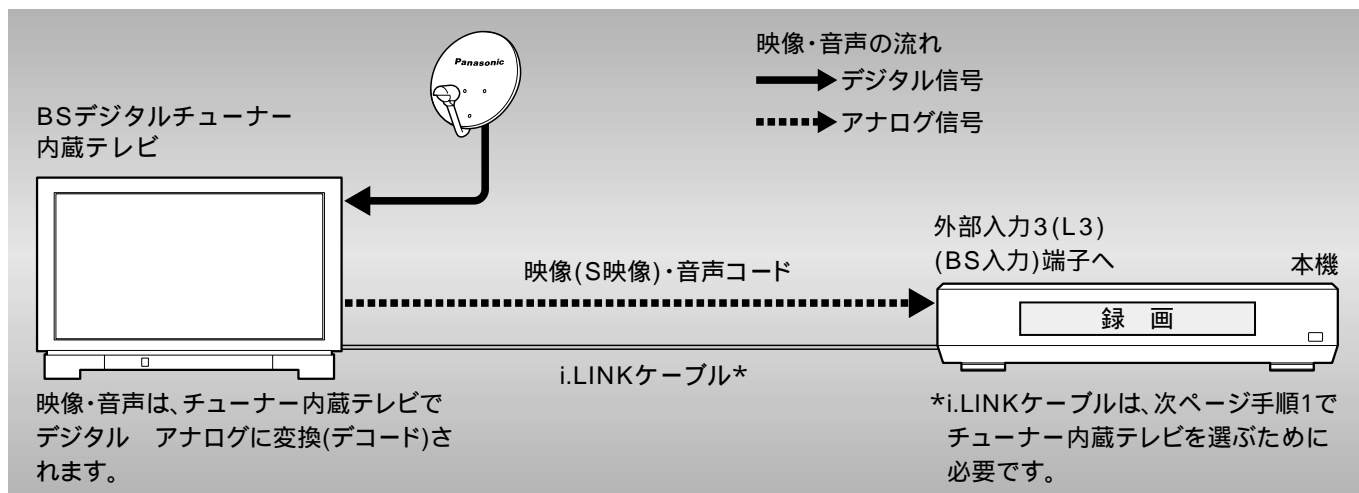
BSデジタル番組をアナログで録画することができます。
この方法で録画すると、従来のS-VHS・VHSビデオでも再生することができます。

- ただし、このときは、
  ・画質は、従来の地上波(VHF/UHF)番組と同等になります。
  ・マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生できません。
  ・データは、再生時に操作できません。
  ・マルチ音声(多国語など)は、録画時に選んでいた音声しか再生できません。
  ・字幕は、再生時に操作できません。

録画する前に

本機はBSデジタルチューナーを内蔵していませんので、BSデジタル番組を録画するには、チューナー(内蔵テレビ)が必要です。

準備
- 接続する。**(➜16～18)**
- メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BS機器が登録されているか確かめる。**(➜22)**
- BS入力を設定する。**(➜26)**

■BSデジタルチューナーと接続したとき

■BSデジタルチューナー内蔵テレビと接続したとき

■お願い/ヒント

- 本機は、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)のチューナーを使ってBSデジタル番組を録画しますので、**録画中は、絶対にチューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。また、途中で電源を切ると、そのあとは録画できません。
- チューナー内蔵テレビによっては、録画中にチューナー内蔵テレビ側で地上波(VHF/UHF)チャンネルに切り換えると、本機にBSデジタル番組の信号が入力されなくなる機種があります。
  本機でBSデジタル番組を録画しながら、テレビで別の番組を見たいときは、予約録画の操作をしてください。**(➜50～57)**

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なカセットを入れる。
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れる。

1 i.LINK でチューナー(内蔵テレビ)を選ぶ

- 外部BS機器登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では“ d1 ”)
  機器名と連番、機種名がスクロール表示されますので、チューナー(内蔵テレビ)が選ばれているか確かめてください。

2 ■チューナーを使うときは、

ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする

■チューナー内蔵テレビを使うときは、

ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[テレビ]にする

3 録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ

■プリセットチャンネルで選ぶとき

例：プリセット番号3に記憶されている局を選ぶ

チューナーをお使いの場合：

❸を押す

チューナー内蔵テレビをお使いの場合：

テレビ(BS) →❸と押す

- プリセットされている放送局については、お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■直接チャンネルを選ぶとき

チャンネル番号入力 →❶～ 10/0 と押す

例：BSデジタル103チャンネルを選ぶ

チャンネル番号入力 →❶→ 10/0 →❸

4 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

5 録画モード を数回押し、以下のモードから選ぶ

[標準]：カセットに表示されている時間の録画ができます。
[3 倍]：標準に対して3倍の録画ができます。

6 録画● を押す

■録画をやめる

停止■ を押す。

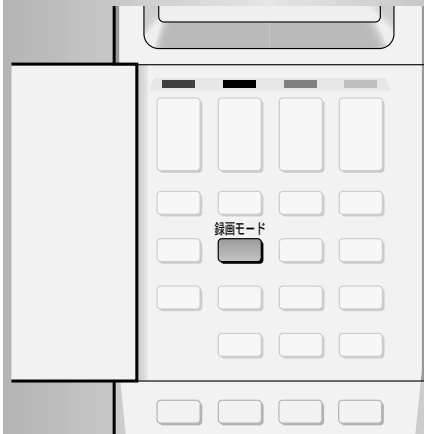
■不要な場面をとばす

不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/▶ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▶ または 録画● を押すと録画が再開されます。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。

■お願い/ヒント

- 手順1で“ d－－ ”と表示されたときは、チューナー(内蔵テレビ)の電源が入っていないか、正しく接続されていません。接続を確かめて、電源を入れてください。
- 録画中は“ d1 ”から“ d2 ”へというように、i.LINK を押してチャンネルを変えることはできません。(録画の一時停止中は変えることができます)
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、上記手順が異なることがあります。お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■ふたをひらいたところ

■コピーガードがかかっている番組について

- BSデジタル放送では、録画できないようにコピーガードがかかっている番組があります。
  このような番組を録画しても、コピーガードがかかった状態で録画されたり、数十秒間録画したあと自動的に停止します。
  コピーガードがかかった状態で録画された番組は、正しく再生することができません。

アナログで録画する（地上波番組）

地上波番組をアナログ録画する

アナログ

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なカセットを入れる。
- 本体表示窓に“ d1(例) ”など、i.LINK機器番号が表示されているときは、i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。

1 ビデオチャンネル∧∨(または❶〜⓬)で、録画したいチャンネルを選ぶ

2 録画モード を数回押し、以下のモードから選ぶ

3倍
16:10

[標準]：カセットに表示されている時間の録画ができます。
[3 倍]：標準に対して3倍の録画ができます。

3 録画● を押す

■録画をやめる

停止■ を押す。

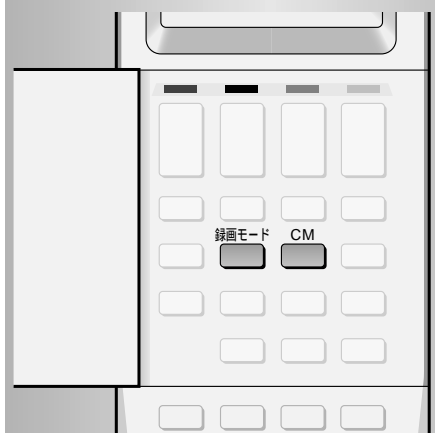
■不要な場面をとばす

不要な場面がきたら、
一時停止/スロー ❚❚/▷ を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度 一時停止/スロー ❚❚/▷ または 録画● を押すと録画が再開されます。
- 録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため停止します。

■ヒント

- ❶〜⓬では、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜28)に記載されているチャンネルポジション1〜12の放送局を選ぶことができます。
  (市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)
- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
  (録画の一時停止中は変えることができます)

■ふたをひらいたところ

CMをとばして録画する (CMカット録画)

アナログ

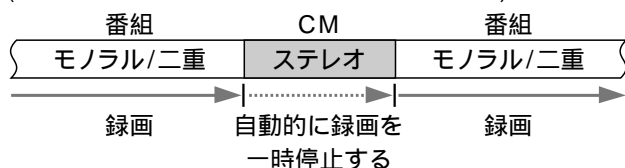
CMを自動的にとばして録画することができます。
- 地上波(VHF/UHF)番組をアナログ録画するときのみ働きます。
- 番組によっては、正しく働かないことがあります。**(➜下記)**

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS)を**[ビデオ]**にする。

録画中に、
CMを押し、" ✂ "を表示させる

- CM中にCMを押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■解除する
CMを押す。
- " ✂ "が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

■ヒント
- 番組がモノラル放送または二重放送(2か国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。(CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
録画	自動的に録画を一時停止する	録画

- 次のようなときは、正しく働きません。
  ・番組がステレオ放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ

録画

  ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ
録画	自動的に録画を一時停止する(約5分)	録画

  ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
- 次のようなときは働きません。
  ・デジタル録画するとき
  ・BSデジタル放送など、i.LINK機器から録画するとき
  ・外部入力チャンネル(BSデジタル、従来のアナログBS、CSデジタルを含む)を録画するとき

■予約録画時に働かせたいとき
- CMカット予約**(➜61)**

VHSカセットに高画質で録画する(S-VHS ET録画)

アナログ

VHSカセットにS-VHSの画質で録画できます。
- [S-VHS ET録画]を[入]にしているときにVHSカセットを入れると、本体表示窓に" S-VHS ET "が点灯します。また、S-VHS ET録画された番組の再生中にも点灯します。

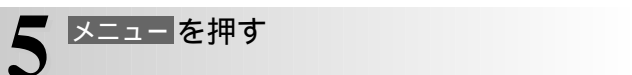
準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を**[ビデオ]**にする。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜21)**

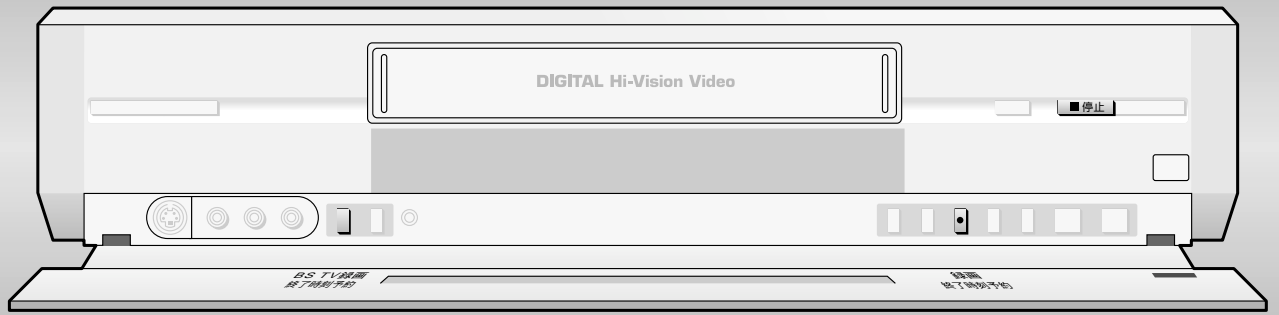
1 メニューを押す

2 ▲(再生)▼(停止)で[モード設定]を選び、実行/決定を押す

3 ▼(停止)でページ3/3に送り、[S-VHS ET録画]を選ぶ

4 ▶(早送り)で[入]を選ぶ

5 メニューを押す

■お願い/ヒント
- 各手順で、戻るを押すと1つ前のメニューに戻ります。
- S-VHS ET(Super VHS Expansion Technology(スーパー ブイエッチエス エクスパンション テクノロジー)の略)は、VHSカセットにS-VHSの画質で録画する機能です。
- カセットのラベルに「S-VHS ET」と記入するなどして区別されることをおすすめします。
- カセットの種類によっては、十分な画質が得られないことがあります。あらかじめ試し録画をして、画質を確認されることをおすすめします。
  高画質で録画できるカセットの目安として、当社製HG(ハイグレード)タイプのVHSカセットをおすすめします。
- より高画質で録画、再生、長期保存するときは、S-VHSカセットを使ってS-VHS方式で録画してください。
- 次のようなときは、画面が一瞬乱れることがあります。
  ・[S-VHS ET録画]が[入]の状態で、VHS録画した番組を再生したとき
  ・[S-VHS ET録画]が[切]の状態で、S-VHS ET録画した番組を再生したとき
- S-VHS ET録画したカセットは下記のビデオでも再生できます。
  ・S-VHSビデオ
  ・SQPB(S-VHS簡易再生)機能付きVHSビデオ
  (機種によっては再生できないものがあります)

録画の便利機能

録画中に別のチャンネルの番組を見る

下記の方法でテレビ画面を出してください。

1 **ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[テレビ]にする**

2 録画中に、
入力 を数回押し、テレビが受信しているチャンネルに切り換える

3 **テレビチャンネル ∧ ∨ (または❶～⓬)で、見たいチャンネルを選ぶ**

■ヒント

- 予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。
- BSデジタル番組をチューナー内蔵テレビを使って録画しているときはできません。

終了時刻だけを予約して録画する (終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめ、電源を切ります。

- 急なお出かけの際や、おやすみになる前など、簡単な予約録画としてお使いください。

録画中に、本体の
●録画/終了時刻予約 を押す

- 本体表示窓に“ オフ ーー：ーー ”が表示されます。
- 続けて押すごとに、以下のように録画終了時刻が変わります。

3倍 オフ --:--

3倍 オフ 16:40

録画終了時刻の変わりかた

例：現在時刻が16時10分の場合

16:40 → 17:10 → 17:40 → 18:10
(＋30分) (＋1時間) (＋1時間30分) (＋2時間)

↑ オフ ↑ ↓

20:10 ← 19:40 ← 19:10 ← 18:40
(＋4時間) (＋3時間30分) (＋3時間) (＋2時間30分)

■解除する

録画中に、本体の ●録画/終了時刻予約 を数回押し、
本体表示窓に“ オフ ーー：ーー ”を表示させる。

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、 ■停止 を押します。

■ヒント

- リモコンの 録画● では働きません。
- 予約録画(EPG、Gコード、フリーセット)中は働きません。

今見ている番組をすぐに録画する(BS TVダイレクト録画)

現在視聴中のテレビ番組[BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)が受信している番組]をボタン1つですぐに録画することができます。

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なカセットを入れる。

視聴中に録画したいところで、

BS TV録画 を押す

- チューナー(内蔵テレビ)が受信しているチャンネルに変わり、録画を始めます。

■録画をやめる

停止■ を押す。

■お願い/ヒント

- 外部BS機器登録されているチューナー(内蔵テレビ)に対して働きます。
- 次のようなときは、本体表示窓に“ d—— ”と表示され、BS TVダイレクト録画できません。
  - ・外部BS機器をi.LINK接続していないとき
  - ・外部BS機器が登録されていないとき
  - ・外部BS機器の電源が入っていないとき…など
- **録画中は、チューナー(内蔵テレビ)のチャンネルを変えないでください。**
  チャンネルを変えたり、メニューや番組表を出すと、そのまま録画されてしまいます。
- **録画中は、電源を切らないでください。**
  途中で電源を切ると、録画は停止します。
- D-VHSカセットが入っているときは、録画モードは[自動]になります。
- VHSカセットが入っているときは、現在本体で選ばれている録画モード([標準]または[3倍])で録画されます。
  (BS入力**(➜26)**を設定しているときのみ)
- チューナー(内蔵テレビ)がBSデジタル番組を受信しているときは、 BS TV録画 を押すと、i.LINKケーブルを通して入力される信号を録画します。
- 当社製BSデジタルチューナー内蔵テレビTH-36(または32、28)D20をお使いの方で、地上波(VHF/UHF)番組を受信しているときは、外部入力3(L3)(BS入力)端子から入力される信号を録画します。
  このとき、映像信号はS1映像入力端子から入力されますので、必ずS1映像入力端子に接続してください。
  (➜18)
- コンポーネント中継入力端子からの録画はできません。

終了時刻だけを予約して録画する

(BS TVダイレクト終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめ、電源を切ります。

本体の

BS TV録画/終了時刻予約 を押す

- 本体表示窓に“ オフ ——：—— ”が表示されます。
- 続けて押すごとに、以下のように録画終了時刻が変わります。

録画終了時刻の変わりかた

例：現在時刻が16時10分の場合

■解除する

録画中に、本体の BS TV録画/終了時刻予約 を数回押し、本体表示窓に“ オフ ——：—— ”を表示させる。

- BS TVダイレクト終了時刻予約録画は解除されますが、BS TVダイレクト録画は続けられます。
- 録画もやめるには、 ■停止 を押します。

■ヒント

- リモコンの BS TV録画 では働きません。
- 予約録画(EPG、Gコード、フリーセット)中は働きません。

EPGでBSデジタル番組を予約する (EPG予約)

本機にはBSデジタルチューナーは内蔵されていませんが、当社製チューナー(内蔵テレビ)を使って、EPG※(電子番組ガイド)から番組を選んで予約することができます。
従来の時間指定での予約ではなく、番組を指定して予約するため、野球中継の延長などにより、その番組の開始時間がずれたときでも、予約した番組を録画することができます。

- 本機でEPG予約、Gコード予約(➜**52**)、フリーセット予約(➜**56〜59**)を合わせて最大40番組まで予約できます。
  (毎日・毎週予約は1番組として数えます)

※EPG(Electronic Program Guide(エレクトロニック プログラム ガイド))：電子番組ガイドのことです。

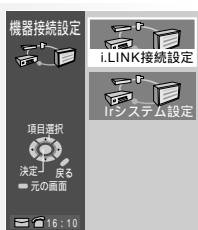
準備
- BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの方は、ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[**テレビ**]にする。
- BSデジタルチューナーをお使いの方は、ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[**BS/(CS)**]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れる。
- [自動]モード以外の録画モードで録画するときは、BS入力を設定する。(➜**26**)
- 録画可能なカセットを入れる。
  (デジタルで録画するときは、D-VHSカセットを入れる)

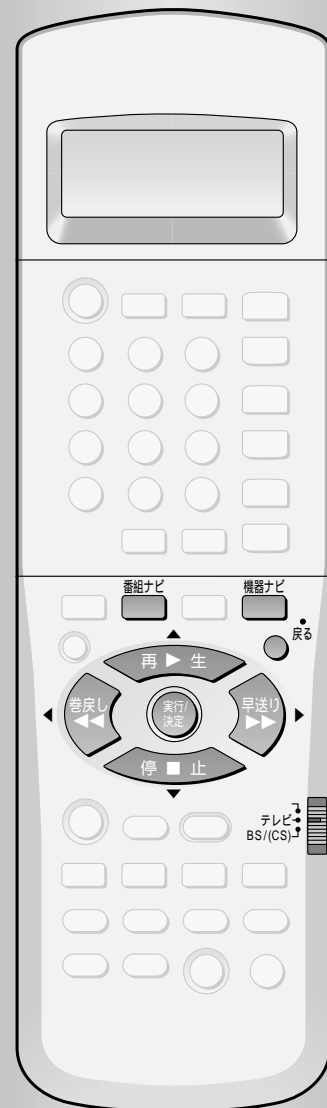
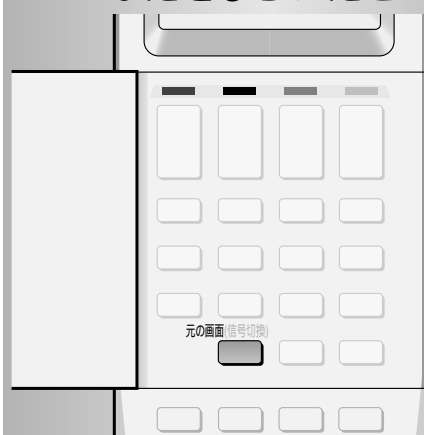
下記は当社製チューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合の操作です。

チューナー(内蔵テレビ)側の設定を確かめる

1 機器ナビ を押す
- 右図は当社製BSデジタルチューナーをお使いのときの表示例です。

2 ▲(再生) ▼(停止)で[機器接続設定]を選び、実行/決定 を押す

3 ▲(再生) ▼(停止)で[i.LINK接続設定]を選び、実行/決定 を押す

4 i.LINK接続設定一覧表の"接続状態"の項目で、本機(NV-DHE20)が"オン"になっていることを確かめる
- "未接続"、"不明"などになっているときは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

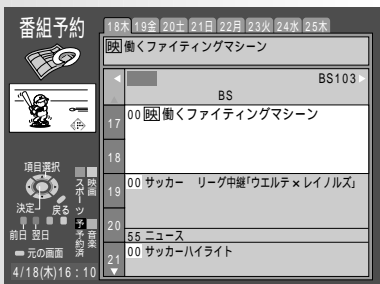
5 元の画面 を押す

■ふたをひらいたところ

予約する

1 **番組ナビ を押す**

2 **◀(巻戻し) ▶(早送り)で[番組予約]を選び、実行/決定 を押す**

3 **◀(巻戻し) ▶(早送り)で予約録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

- BSデジタル103チャンネルを選んだ例。

4 **▲(再生) ▼(停止)で予約録画したい番組を選び、実行/決定 を押す**

5 **▲(再生) ▼(停止)と◀(巻戻し) ▶(早送り)で、以下のように選び、実行/決定 を押す**

“ 予約方式 ” ：**[録画]**
“ 録画機器 ” ：**[D-VHS1]**など
- 本機(NV-DHE20)が登録されている機器名を選んでください。**(➜左ページ)**

“ 録画モード ”：デジタルで録画したいときは**[自動]**
アナログで録画したいときは**[標準]か[3倍]**
- [5倍]は選んでも録画できません。

6 **▲(再生) ▼(停止)で“ 予約完了 ”を選び、実行/決定 を押す**

7 **本機が予約待機状態になることを確かめる**

■EPG予約録画のしくみ

- チューナー(内蔵テレビ)側の予約情報が、i.LINKケーブルを通して本機にも登録されます。
- この予約は、本機の予約一覧画面でも確認することができます。EPG予約した番組には、予約一覧画面に i マークが表示されます。
- この予約は、本機からは修正・取り消しができません。修正・取り消しするときは、チューナー(内蔵テレビ)側で行ってください。
- 予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してBSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。予約終了時刻になると、録画を終了します。

■お願い/ヒント

- 各手順で、 戻る を押すと1つ前のメニューに戻ります。
- デジタル録画するときは、必ずD-VHSカセットを入れてください。
  VHSカセットが入っていると、アナログ録画になります。(BS入力**(➜26)**を設定しているときのみ)
- 予約の操作をする前は、本機を停止状態にしてください。
- 予約の操作が終了すると、本機が自動的に予約待機状態になります。
  当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合、予約した番組によっては本機が自動的に予約待機状態にならないことがありますが、録画開始時刻になると正しく行われます。
- 予約開始時刻に本機を操作していると予約が行われませんので、予約開始時刻前は操作しないでください。
- 予約録画の待機中・実行中は、チューナー(内蔵テレビ)側から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- コピーガードがかかっている番組**(➜42,45)**も予約できますが、正しく録画できません。
- 時間帯が重複している予約番組は、先に予約されていたほうが実行されます。
  予約録画の重複について、詳しくは解説**(➜100)**をお読みください。
- チャンネルが異なる番組を時間を続けてEPG予約したときは、前の番組の予約録画が数秒早く終了します。
  例：Ⓐ BS101チャンネルで10時00分～12時00分
  Ⓑ BS141チャンネルで12時00分～13時00分
  の番組を予約した場合、
  Ⓐの番組の予約録画は12時00分より数秒早く終了します。
  (ⒶとⒷが同じチャンネルの場合は除く)
- 本機の時刻が合っていないと、正しく予約録画が実行されません。必ず時刻を合わせておいてください。
  (➜85)
- 予約方法について、詳しくはチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、操作や手順が異なることがあります。
  お使いの機器の説明書をご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。
  東芝製BSデジタルチューナーをお使いの方については、解説**(➜102)**もお読みください。

Gコードで番組を予約する(Gコード予約)

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。

- 本機でGコード予約、EPG予約(**➜50**)、フリーセット予約(**➜56〜59**)を合わせて最大40番組まで予約できます。
(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

■Gコードとは

- 新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)
- BSデジタル放送の番組にはGコードがありませんので、Gコードで予約することはできません。

00 日本代表直前情報（第1回）
▽検証・日本代表の戦術
▽競技場紹介
山本鉄郎　田村淳 78864
55 N天 20668

■Gコード予約を正しく行うには

- ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。(**➜28〜31**)

※Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

準備
- [ビデオ/テレビ/BS/(CS)]を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- 録画可能なカセットを入れる。
(デジタルで録画するときは、D-VHSカセットを入れる)

1 [Gコード]を押し、"Gコード"を表示させる

2 ①〜⑩/0でGコードを入力する

- 間違えたときは、[Gコード]を2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

3 [録画モード]を数回押し、録画モードを選ぶ

■デジタル録画するとき

- [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]から選んでください。

■アナログ録画するとき

- [標準]、[3倍]、[標準3倍]から選んでください。
- [標準3倍]について(**➜60**)

4 ふたをひらいたまま、[転送]を押す

- Gコードが表示されます。

- 約4秒後に予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。

- この表示が出ている間に[取消し]を押すと、取り消すことができます。

■ふたをひらいたところ

■2つ以上の予約をするとき
- 手順1～4を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■お願い/ヒント
- 転送後は、テープ残量もテレビ画面に表示されます。
  予約したときの録画モードで計算されます。
  カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 予約待機中は、i.LINK機器から本機の電源を入れるなどの操作をしないようにしてください。
- 予約開始時刻や終了時刻が重複しないように予約してください。重複したときは、正しく予約実行できないことがあります。**(➜100)**
- 複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されているときは正しく予約できません。
  不要なチャンネルを削除してください。**(➜31)**

■手順3を省略したとき
- 本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍]**(➜60)**で、[3倍]になっているときは[3倍]で自動的に予約されます。

■手順3で[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]モードを選んで予約しても、予約実行時にVHSカセットが入っているとき
- デジタル録画できません。本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍]**(➜60)**で、[3倍]になっているときは[3倍]で録画されます。
- デジタルで録画したいときは、必ず予約実行時までにD-VHSカセットを入れておいてください。

■野球中継延長などで放送開始が遅れたり、番組が予定より延長されたとき
- Gコード予約は、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、このようなときは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。
  ただし、予約延長**(➜右記)**で、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。

■[CH]の項目が"G－－"になっているとき

- 予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されていません。
- このときは、下記の操作で予約を完了すると、そのチャンネルのガイドチャンネルが設定されていないときは自動的に設定されます。
  1. ＋チャンネルー で、予約チャンネルを合わせる。
  2. 実行/決定 を押す。
  予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

■転送後、テレビ画面に"予約内容に間違いがあります。Gコードをご確認ください。"と表示されたとき
- もう一度最初から予約し直してください。

■転送後、テレビ画面に"予約がいっぱいです。"と表示されたとき
- すでに40番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。**(➜62)**

予約録画の終了時刻を延長する

予約した番組の終了時刻を最大2時間先まで延長できます。

左ページ手順3のあと、
予約延長 を数回押す

- 下記のように延長される時間が変わります。
  15分 ➜ 30分 ➜ 45分 ➜ 60分 ➜ 90分 ➜ 120分 ➜ 延長しない ➜ 15分

転送直後に予約内容を修正する

テレビ画面に予約内容が表示されている間は、内容を修正することができます。

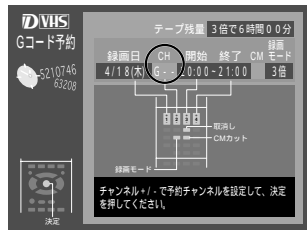
テレビ画面に予約内容が出ている間に、
下記のボタンで修正する

曜日/日 ：毎日・毎週予約などに修正**(➜58)**
チャンネル ：予約チャンネルを修正**(➜58)**
開始 ：開始時刻を修正**(➜58)**
終了 ：終了時刻を修正**(➜58)**
CM ：CMカット予約をする・しないを修正**(アナログのみ➜61)**
録画モード ：録画モードの変更、またはぴったり録画**(アナログのみ➜60)**するとき

- 修正の操作をした約14秒後に、予約録画の待機状態になります。

■転送後、録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正したいとき
- **(➜63)**

Gコードで番組を予約する(Gコード予約)

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

フリーセット予約(➜56〜59)で予約チャンネルを合わせるときに、使うチャンネルだけを表示させ、使わないチャンネルはとばしておくと、素早く合わせることができます。

■工場出荷時は以下のように設定されています

- ＋チャンネルー の[＋]側を押すごとに、以下のように変わります。([ー]側を押すと逆方向)
  →**地上波(VHF/UHF)チャンネル**
  (1〜62チャンネルすべて選べる状態)
  →**従来のアナログBSチャンネル**
  (BS1、BS3 … BS15チャンネルすべて選べる状態)
  →**CATVチャンネル(➜右ページ)**
  (C13〜C63チャンネルすべて選べない状態)
  →**BSデジタル固定チャンネル(➜右ページ)**
  (BS101、BS102、BS103、BS141、BS151、BS161、BS171、BS181、BS191、BS192、BS193、BS200チャンネルが選べる状態)
  →**オプションBSデジタルチャンネル(➜右ページ)**
  (ob1〜ob5チャンネルすべて選べない状態)
  →**BSデジタル全チャンネル(➜右ページ)**
  (全チャンネル選べない状態)
  →**110度CSデジタルチャンネル**
  (選べない状態…このチャンネルは働きません)
  →**外部入力チャンネル**
  (L1、L2、L3チャンネルすべて選べる状態)
- 押し続けると、素早く移動できます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[**ビデオ**]にする。

1 **設定(長押し) を“ ☎ ”が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

リモコン1
チャンネル
10n

2 **＋チャンネルー を押し、表示させたい(とばしたい)予約チャンネルを選ぶ**
- 押し続けると、素早く移動できます。

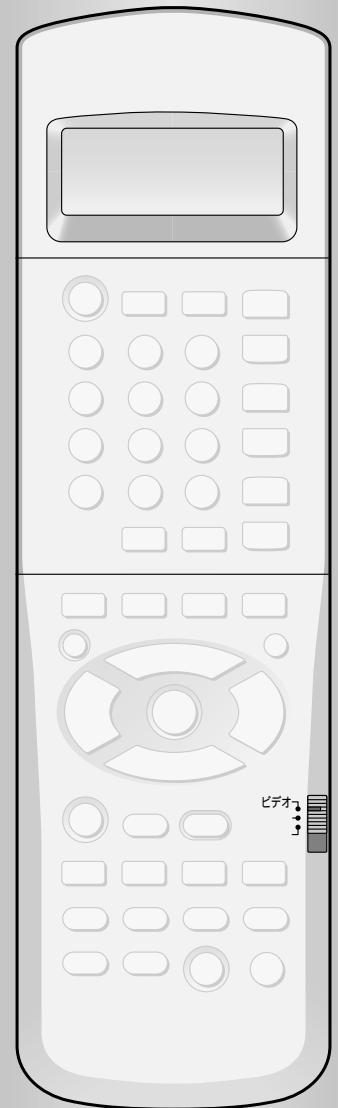
リモコン1
チャンネル
42 0n

3 **開始 を押し、[OFF]か[On]を選ぶ**
OFF：とばす
On　：表示させる

リモコン1
チャンネル
42 0FF

4 続けて他のチャンネルを設定するときは、
手順2〜3を繰り返す

5 **リモコンのふたを閉じる**

■お願い/ヒント
- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

■ふたをひらいたところ

CATVチャンネルの設定

工場出荷時は、C13～C63チャンネルのすべてが[OFF]になっています。

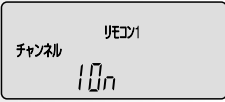
- 必要なチャンネルの分だけ、[On]にしてください。
  (➜左ページ)

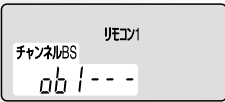
BSデジタル固定チャンネルの設定

以下の12チャンネルが「固定チャンネル」として記憶されています。

- 工場出荷時はすべて[On]になっています。

チャンネル	放送局名	チャンネル	放送局名
BS101	NHK(BS1)	BS171	BSジャパン
BS102	NHK(BS2)	BS181	BSフジ
BS103	NHK(ハイビジョン)	BS191	WOWOW1
BS141	BS日テレ	BS192	WOWOW2
BS151	BS朝日	BS193	WOWOW3
BS161	BS-i	BS200	スターチャンネル

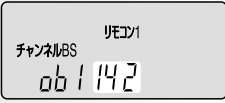
- この中で使わないチャンネルは、[OFF]にしてください。
  (➜左ページ)

オプションBSデジタルチャンネルの設定

BSデジタルチャンネルは、BS001～BS999まで、999チャンネルあります。
この中から、BSデジタル固定チャンネル以外で使いたいチャンネルをお好みで5つまで記憶させることができます。

- 工場出荷時は記憶されていませんので、以下の方法で記憶させてください。

1 **設定(長押し)を" ☎ "が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

リモコン1
チャンネル
1On

2 **＋チャンネル－を数回押し、右図のような表示を出す**

リモコン1
チャンネルBS
ob1---

- " ob "は、オプションBSデジタルチャンネルの略です。

3 **開始を数回押し、記憶させたいBSデジタルチャンネルを選ぶ**

リモコン1
チャンネルBS
ob1 142

- BS142チャンネルを記憶させた例。
- 押し続けると、素早く移動できます。

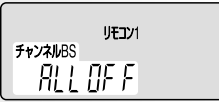
4 **続けて他のBSデジタルチャンネルを記憶させるときは、**
手順2～3を繰り返す

- " ob1 "～" ob5 "まで、5つ記憶させることができます。

5 **リモコンのふたを閉じる**

■記憶させたチャンネルを再びとばす

- 手順3で、開始を数回押し、" - - - "を表示させる。

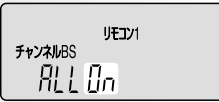
BSデジタル全チャンネルの設定

BSデジタルチャンネル(BS001～BS999)をすべて表示させるかさせないかを選ぶことができます。

- 工場出荷時は[ALL OFF]になっています。

1 **設定(長押し)を" ☎ "が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す**

リモコン1
チャンネル
1On

2 **＋チャンネル－を数回押し、右図のような表示を出す**

リモコン1
チャンネルBS
ALL OFF

3 **開始を押し、[ALL OFF]か[ALL On]を選ぶ**

リモコン1
チャンネルBS
ALL On

ALL OFF ：すべて表示させない
ALL On ：すべて表示させる

4 **リモコンのふたを閉じる**

■ヒント

- [ALL OFF]にしていても、BSデジタル固定チャンネルと、オプションBSデジタルチャンネルで記憶させたチャンネルは表示されます。
- [ALL On]にすると、BS001～BS999チャンネルのすべてが表示され、すべてのBSデジタルチャンネルが予約可能になります。

BSデジタル番組を予約する

本機にはBSデジタルチューナーは内蔵されていませんが、当社製チューナー(内蔵テレビ)とi.LINKケーブルで接続すると、本機で予約録画することができます。
予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

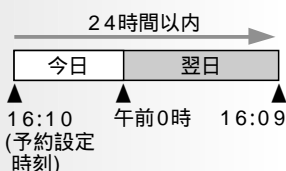
- 本機でフリーセット予約、EPG予約(➜50)、Gコード予約(➜52)を合わせて最大40番組まで予約できます。
(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にする。
- [自動]以外の録画モードで録画するときは、BS入力を設定する。(➜26)
- 録画可能なカセットを入れる。
(デジタルで録画するときは、D-VHSカセットを入れる)

1 ＋曜日/日－を押し、予約日を合わせる

日チャンネル 開始 終了
23 -- -:-- -:--

- [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分なら、翌日の16時09分までが「今日」になります。

→**1週間以内の予約**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1か月以内の予約**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日予約**(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→**毎週予約**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)

- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

2 ＋チャンネル－を数回押し、BSデジタル放送の予約チャンネルに合わせる

自動 リモコン1
日チャンネルBS 開始 終了
23 103 -:-- -:--

- [＋]側を押すごとに、以下のように変わります。
([－]側を押すと逆方向)
→VHF/UHF放送チャンネル
→従来のアナログBS放送チャンネル
→CATV放送チャンネル＊
→**BSデジタル固定チャンネル(➜55)**
→**オプションBSデジタルチャンネル**＊**(➜55)**
→**BSデジタル全チャンネル**＊**(➜55)**
→110度CSデジタルチャンネル＊(このチャンネルは働きません)
→外部入力チャンネル
＊工場出荷時はとばされています。
- 押し続けると、素早く移動できます。

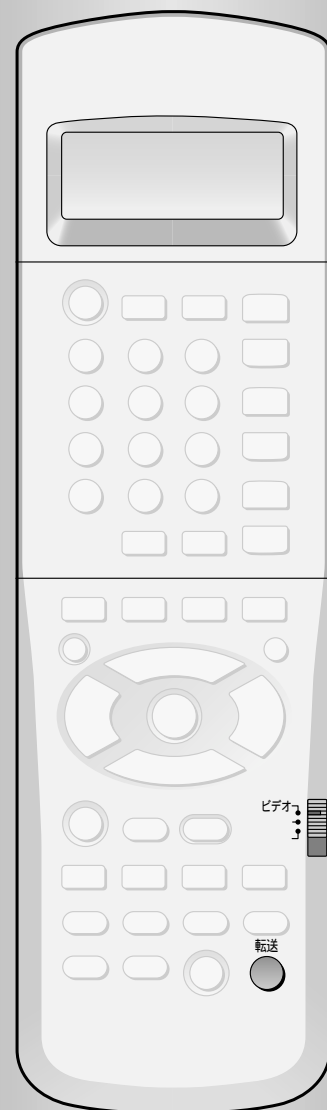
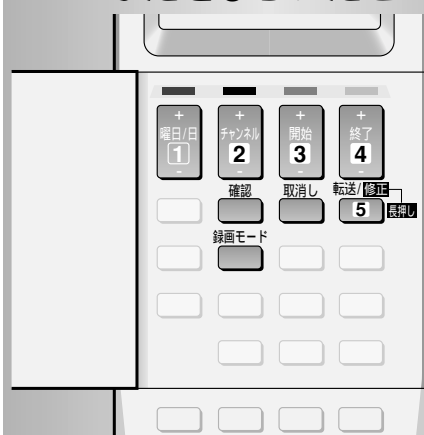
■ふたをひらいたところ

3 ＋開始－を押し、開始時刻を合わせる

自動 リモコン1
日チャンネルBS 開始 終了
23 103 20:00 -:--

- 押し続けると、30分単位で変わります。

4 ＋終了－を押し、終了時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。

5 録画モードを数回押し、録画モードを選ぶ

- 自動的に[自動]が選ばれますので、**通常はこのままにしておいてください。**
- BSデジタル放送は、番組によって放送信号が異なります。[自動]にしておくと、番組の放送信号に合った録画モードを自動的に選んで録画します。
  デジタルハイビジョン番組を高画質のまま録画したり、マルチビューやデータを同時に録画することができるので、再生時でも画面や音声を切り換えて楽しむことができます。

■[自動]以外で録画するとき(詳しくは➜42)

デジタル録画するとき

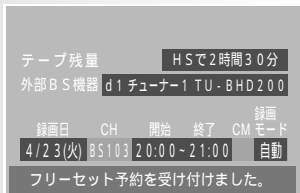
- [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]から選んでください。

アナログ録画するとき

- [標準]、[3倍]、[標準3倍]から選んでください。
- [標準3倍]について**(➜60)**

6 転送/修正を押す

- 予約内容が表示され、約14秒後に予約録画の待機状態になります。

予約 i 自動
BS CH 103 20:00~21:00

- この表示が出ている間に取消しを押すと、取り消すことができます。

■2つ以上の予約をするとき

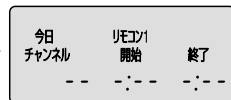
- 手順1〜6を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■BSデジタル番組のフリーセット予約録画のしくみ

- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)を使って予約した場合、予約の情報は、本機がi.LINKケーブルを通して自動的にチューナー(内蔵テレビ)にも登録します。
  予約内容は、チューナー(内蔵テレビ)側の予約一覧画面でも確かめることができます。
- BSデジタル番組のフリーセット予約は、チューナー(内蔵テレビ)側からは取り消しできません。取り消ししたいときは、本機で行ってください。
- 予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通して自動的にチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れ、BSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。
- 予約終了時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してチューナー(内蔵テレビ)の電源を切り、録画を終了します。

■お願い/ヒント

- **予約の操作をしているときと予約録画開始前は、必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておいてください。**
  主電源が切れていたり、スタンバイになっていると、予約の登録と実行はできません。
- 時刻は24時間表示です。
- 本機の時刻が合っていないと、正しく予約実行することができません。必ず合わせておいてください。**(➜85)**
- 転送後は、テープ残量もテレビ画面に表示されます。
  予約したときの録画モードで計算されます。
  カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- 予約の際に各ボタンを押しても、リモコン表示窓が右図のまま動かないときは、確認を押すと元に戻ります。

今日 チャンネル　リモコン1 開始　終了
-- -:-- -:--

- 予約録画の待機中は、チューナー(内蔵テレビ)から本機の電源を入れるなどの操作はしないでください。
- **内蔵テレビをお使いの方は、予約録画の実行中にチャンネルを変えるなどの操作をしないでください。**
  地上波(VHF/UHF)チャンネルに変えると、そのあと録画できなくなる機種があります。
- BSデジタル番組は、CMカット予約できません。
- 番組開始時刻が遅れたり、番組が延長されたときでも、予約した開始・終了時刻に合わせて実行しますので、EPG予約**(➜50)**のように番組の時間変更に追従することはできません。
- 有料番組(ペイ・パー・ビュー)、視聴制限のかかった番組、コピーガードがかかっている番組も予約できますが、そのままでは正しく録画することはできません。詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。
- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、予約できなかったり、表示されない項目があったり、操作方法が異なることがあります。
  それぞれの機器の説明書もお読みください。
  東芝製BSデジタルチューナーをお使いの方については、解説**(➜102)**もお読みください。

■すぐに予約録画を始めたいとき

- 予約チャンネル(手順2)と終了時刻(手順4)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

■素早く予約チャンネルを合わせたいとき

- 使わない予約チャンネルは、とばしておくと素早く合わせることができます。**(➜54)**

■BSデジタル固定チャンネル以外のチャンネルに合わせたいとき

- オプションBSデジタルチャンネルを記憶させるか、BSデジタル全チャンネルを[ALL On]にしてください。**(➜55)**

■転送後、テレビ画面に以下のようなメッセージが表示されたとき

“外部BS機器が登録されていません。”

- 外部BS機器を登録してください。**(➜23)**

“予約できません。d○ ○○○(機器名) ○○○(機種名)の電源を入れ、接続をご確認ください。”

- チューナー(内蔵テレビ)の主電源が入っていないか、接続が正しくありません。電源を入れるか、正しく接続されているか確かめてください。

“L3設定を確認してください。”
“カセットを確認してください。”
“L3設定とカセットを確認してください。”

- [自動]以外の録画モードで録画するには、BS入力の設定が必要です。**(➜26)**
- VHSカセットを取り出し、D-VHSカセットを入れてください。

“予約がいっぱいです。”

- すでに40番組が予約されています。
  不要な予約を取り消してください。**(➜62)**

“予約が重複しています。”

- 予約録画の重複について**(➜100)**

地上波、CATV、外部入力チャンネルを予約する

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

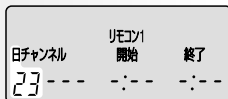
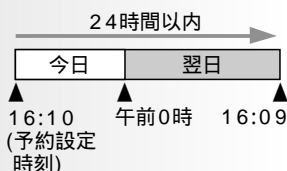
- 本機でフリーセット予約、EPG予約(➜50)、Gコード予約(➜52)を合わせて最大40番組まで予約できます。
  (毎日・毎週予約は1番組として数えます)
- BSデジタル放送の番組をフリーセット予約するとき(➜56)

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- 録画可能なカセットを入れる。
  (デジタルで録画するときは、D-VHSカセットを入れる)

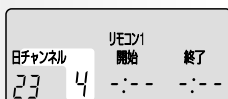
1 ＋曜日/日－を押し、予約日を合わせる

日チャンネル　リモコン1　開始　終了
23 - - -　-:- -　-:- -

- [＋]側を押すごとに、下記のように変わります。([－]側を押すと逆方向)

→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分なら、翌日の16時09分までが「今日」になります。

24時間以内
今日 | 翌日
16:10(予約設定時刻)　午前0時　16:09

→**1週間以内の予約**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1か月以内の予約**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日予約**(毎週日～土→毎週月～土→毎週月～金)
→**毎週予約**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)
- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

2 ＋チャンネル－を押し、予約チャンネルを合わせる

日チャンネル　リモコン1　開始　終了
23　4　-:- -　-:- -

- [＋]側を押すごとに、以下のように変わります。([－]側を押すと逆方向)
→**VHF/UHF放送チャンネル**
→**従来のアナログBS放送チャンネル**
→**CATV放送チャンネル**＊
→BSデジタル固定チャンネル
→オプションBSデジタルチャンネル＊
→BSデジタル全チャンネル＊
→110度CSデジタルチャンネル＊(このチャンネルは働きません)
→**外部入力チャンネル**
＊工場出荷時はとばされています。
- 押し続けると、素早く移動できます。

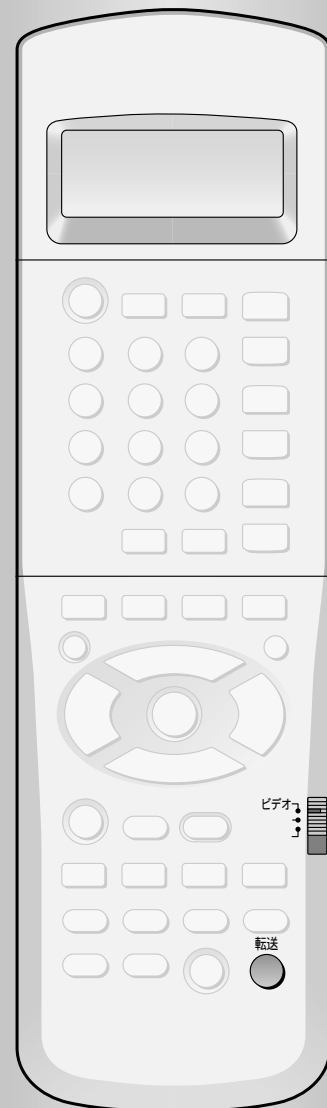
3 ＋開始－を押し、開始時刻を合わせる

日チャンネル　リモコン1　開始　終了
23　4 20:00　-:- -

- 押し続けると、30分単位で変わります。

4 ＋終了－を押し、終了時刻を合わせる

日チャンネル　リモコン1　開始　終了　転送
23　4 20:00 21:00

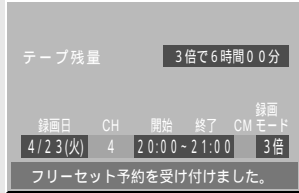
- 押し続けると、30分単位で変わります。

■ふたをひらいたところ

5 録画モードを数回押し、録画モードを選ぶ

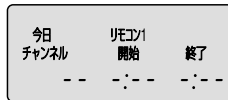
■デジタル録画するとき
- [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]から選んでください。

■アナログ録画するとき
- [標準]、[3倍]、[標準3倍]から選んでください。
- [標準3倍]について(➜60)

6 転送/修正を押す

- 予約内容が表示され、約14秒後に予約録画の待機状態になります。

- この表示が出ている間に取消しを押すと、取り消すことができます。

■2つ以上の予約をするとき
- 手順1～6を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■お願い/ヒント
- 時刻は24時間表示です。
- 転送後は、テープ残量もテレビ画面に表示されます。
予約したときの録画モードで計算されます。
カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- 予約の際に各ボタンを押しても、リモコン表示窓が右図のまま動かないときは、確認を押すと元に戻ります。

■手順5を省略したとき
- 本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍](➜60)で、[3倍]になっているときは[3倍]で自動的に予約されます。

■手順5で[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]モードを選んで予約しても、予約実行時にVHSカセットが入っているとき
- デジタル録画できません。本体の録画モードが[標準]になっているときは[標準3倍](➜60)で、[3倍]になっているときは[3倍]で録画されます。
- デジタルで録画したいときは、必ず予約実行時までにD-VHSカセットを入れておいてください。

■予約チャンネルについて
- 必ず表示チャンネルで合わせてください。
- 本体で表示されていないチャンネルは予約できません。

■すぐに予約録画を始めたいとき
- 予約チャンネル(手順2)と終了時刻(手順4)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

■素早く予約チャンネルを合わせたいとき
- 使わない予約チャンネルは、とばしておくと素早く合わせることができます。(➜54)

■CATVの予約チャンネルに合わせたいとき
- 工場出荷時はすべて選べなくなっています。使うチャンネルは表示させておいてください。(➜54,55)

■転送後、テレビ画面に“予約がいっぱいです。”と表示されたとき
- すでに40番組が予約されています。
不要な予約を取り消してください。(➜62)

■転送後、録画の待機状態になったあとに、予約内容を修正したいとき
- (➜63)

カセットに収まるように予約録画する(ぴったり録画)

アナログ

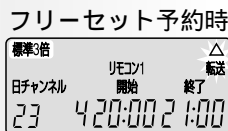
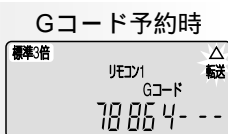
[標準]モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に[3倍]モードに切り換えて番組の最後まで録画します。

■Gコード予約 手順3(➜52)で、
■フリーセット予約 手順5(➜59)で、
録画モード を数回押し、
[標準3倍]を選ぶ

Gコード予約時

標準3倍 リモコン1 Gコード 転送
78864- - -

フリーセット予約時

標準3倍 リモコン1 転送
日チャンネル 開始 終了
23 4 20:00 21:00

■お願い/ヒント

- メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を正しく合わせておかないと正しく働きません。**(➜82)**
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。下図の例では、2番目の番組の途中から[3倍]モードで録画し、3番目の番組は録画できません。

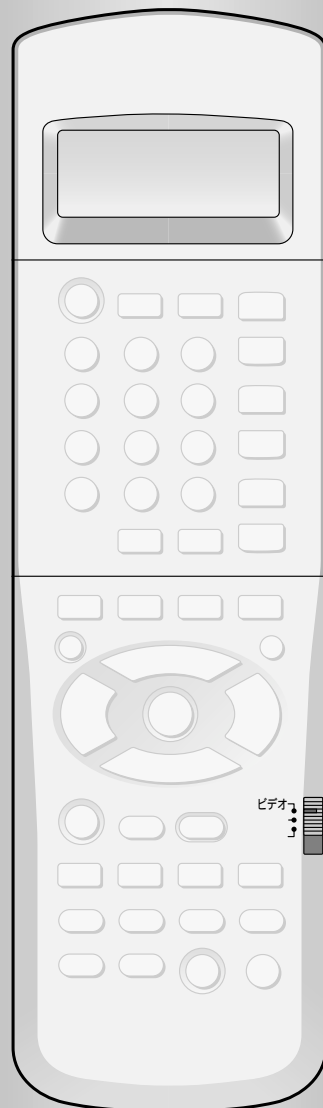
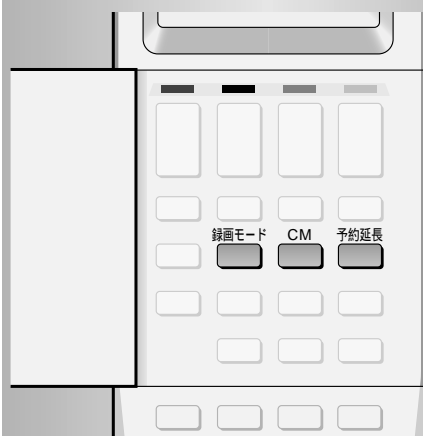
予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)		3番目

実際の録画状態

[標準]で 30分録画	[標準]で 15分録画	[3倍]で 45分録画

(60分カセットを使ったとき)

- カセットによっては、正しく働かないことがあります。
- 番組の最初から[3倍]モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後までを録画することはできません。
- Gコード予約した番組の予約録画中に、予約延長**(➜右ページ)**も働かせたときは、その時点で番組の残り時間とテープ残量を計算し直します。
  (ただし、一度予約延長を行って[3倍]モードに切り換わる番組は、後から延長時間を短くしても[標準]モードには戻りません)
- CMカット予約**(➜右ページ)**も働かせたときは、CMをとばした分だけ録画される時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- 録画モードがデジタルのときは働きません。

■ふたをひらいたところ

CMを自動的にとばして予約録画する(CMカット予約)

アナログ

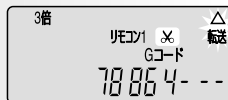
CMを自動的にとばして予約録画することができます。

- 地上波(VHF/UHF)番組をアナログで予約録画するときのみ働きます。
- 番組によっては、正しく働かないことがあります。(➜47)

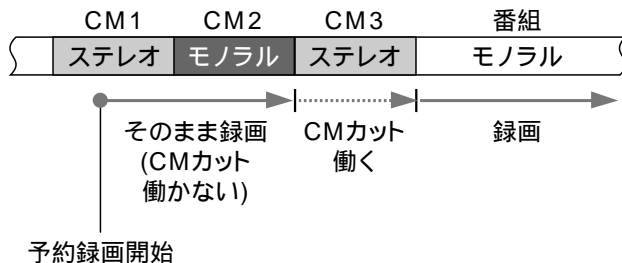
■Gコード予約 手順3(➜52)のあと、
■フリーセット予約 手順5(➜59)のあと、

CMを押し、"✂"を表示させる

- もう一度押すと消えます。

Gコード予約時

フリーセット予約時

■お願い/ヒント

- 次のようなときは正しく働きません。
  - ・番組がステレオ放送のとき(CMも通常どおり録画されます)
  - ・CMがモノラル放送または二重放送のとき
  - ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
- 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCM中は働きません。ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに切り換わったときは働きます。

- 次のようなときは働きません。
  - ・録画モードがデジタルのとき
  - ・BSデジタル放送など、i.LINK機器から予約録画するとき
  - ・外部入力チャンネル(BSデジタル、従来のアナログBS、CSデジタルを含む)を予約録画するとき

すでに予約録画が始まっている番組の終了時刻を延長する(予約延長)

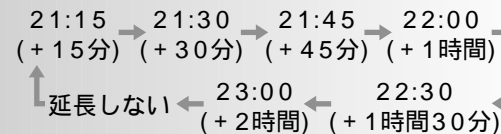
準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。

予約録画中に、
予約延長を押す

録画 3倍
20:00~23:00

- 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた
例：終了時刻を21時00分で予約したが、
ここから延長したい場合

21:15(＋15分) → 21:30(＋30分) → 21:45(＋45分) → 22:00(＋1時間) → 22:30(＋1時間30分) → 23:00(＋2時間) → 延長しない

■お願い/ヒント

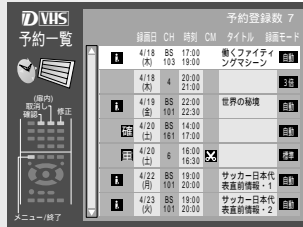
- 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
- 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
- EPG予約、BSデジタル放送の番組をフリーセット予約したときは延長できません。

予約内容を確認する・取り消す

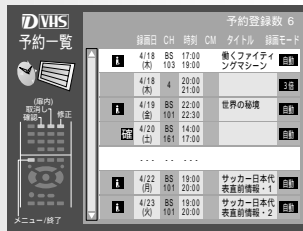
予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消しすることができます。
- 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

確認する

1 確認を押す
- 予約内容の一覧が表示され、押すごとに1つ下の予約内容が選ばれます。

■予約一覧画面を消す
メニューを押す。
- 当社製のチューナー(内蔵テレビ)からEPG予約したときは、番組タイトルも表示されます。
- 手順1のあと、約1分そのままにしたときは、メニューを押さなくても消えます。

取り消す

2 確認を数回押し、取り消したい予約内容を選んだあと、取消しを押す

■予約一覧画面を消す
メニューを押す。
- 手順2のあと、約1分そのままにしたときは、メニューを押さなくても消えます。

■お願い/ヒント
- iマークの付いている番組(EPG予約)は、本機では取り消しできません。
取り消すときは、予約した機器側で行ってください。

■予約一覧画面のマークについて

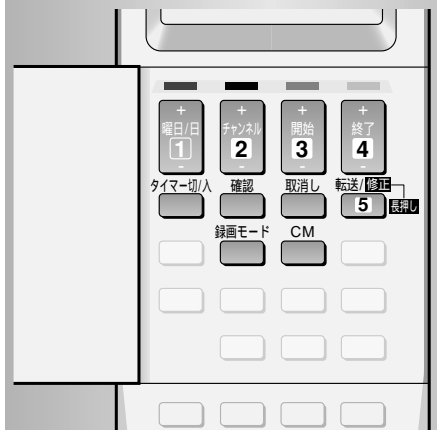
i：EPG予約(➜50)
- チューナー(内蔵テレビ)など、i.LINK機器側でEPG(電子番組ガイド)を使って予約した番組です。
- この予約は、本機からは修正・取り消しができません。修正・取り消しするときは、予約した機器側で行ってください。

重：録画時間帯が重複している予約(➜100)
- この予約はこのままでは正しく実行されません。
重複している不要な方の予約を取り消してください。

✂：CMカット予約(➜61)
- CMを自動的にとばして予約録画します。
- 録画モードがデジタルのときや、チューナー(内蔵テレビ)などi.LINK機器、外部入力から予約録画するときは働きません。

確：BSデジタル番組をフリーセット予約(➜56)したが、チューナー(内蔵テレビ)側に登録されていない予約
- このままでは正しく実行されません。チューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしてください。

自動、標準など：録画モード
- 表示されている録画モードで予約録画されます。

■ふたをひらいたところ

予約内容を修正する

予約済みの内容をテレビ画面を見ながら修正することができます。

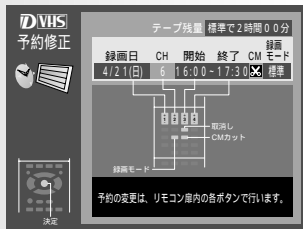
- 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜21)**

1 **確認 を数回押し、修正したい予約内容を選ぶ**

- 予約内容の一覧が表示され、押すごとに1つ下の予約内容が選ばれます。

2 **転送/修正(長押し) を約2秒以上押す**

3 **下記のボタンで修正する**

曜日/日	：日付、毎日・毎週予約など**(➜58)**
チャンネル	：予約チャンネル**(➜58)**
開始	：開始時刻**(➜58)**
終了	：終了時刻**(➜58)**
CM	：CMカット予約をする・しない **(アナログのみ➜61)**
録画モード	：録画モードの変更、またはぴったり録画**(アナログのみ➜60)**するとき

4 **実行/決定 を押す**

■お願い/ヒント
- i マークの付いている番組(EPG予約)や、BSデジタル番組のフリーセット予約は修正できません。
  修正したい予約は取り消し、もういちど予約し直してください。

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

予約録画の待機を一時解除する

タイマー 切/入 を押す

- 本体表示窓の“ 予約 ”が消え、電源が入ったときの状態になります。
- もう一度押すと元の状態に戻ります。

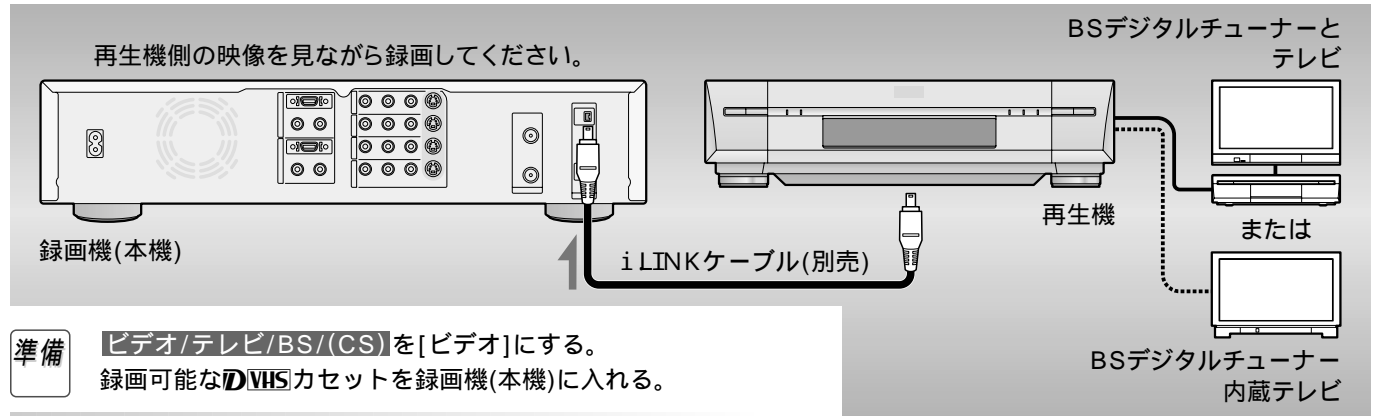
予約録画を途中でやめる

タイマー 切/入 を押す

- 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

■お願い/ヒント
- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度 タイマー 切/入 を押すと予約録画が再開されます。
- 本体の タイマー予約 切/入 でも、同じ操作ができます。
- BSデジタル番組の予約録画を途中でやめるときは、チューナー(内蔵テレビ)の電源を切るなどして、チューナー(内蔵テレビ)側の予約も終了させてください。
  詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

デジタル→デジタルで

i.LINKケーブル(別売)を使ってダビングします。再生機側の録画モードを気にせずにダビングできます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを録画機(本機)に入れる。

1 i.LINK で再生機を選ぶ

- 使いたい再生機器が登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では“ d2 ”)
  機器名と連番、機種名がスクロール表示されますので、再生機として使いたい機器が選ばれているか確かめてください。

2 録画モードが[自動]になっていることを確かめる

3 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点を探す

STD 0：12.34

- 再生機側に接続されているテレビで確認してください。

4 録画の開始点で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す

録画 STD 0：12.34

このあと、録画● を押し、録画の一時停止にする

5 再生機で再生を始める

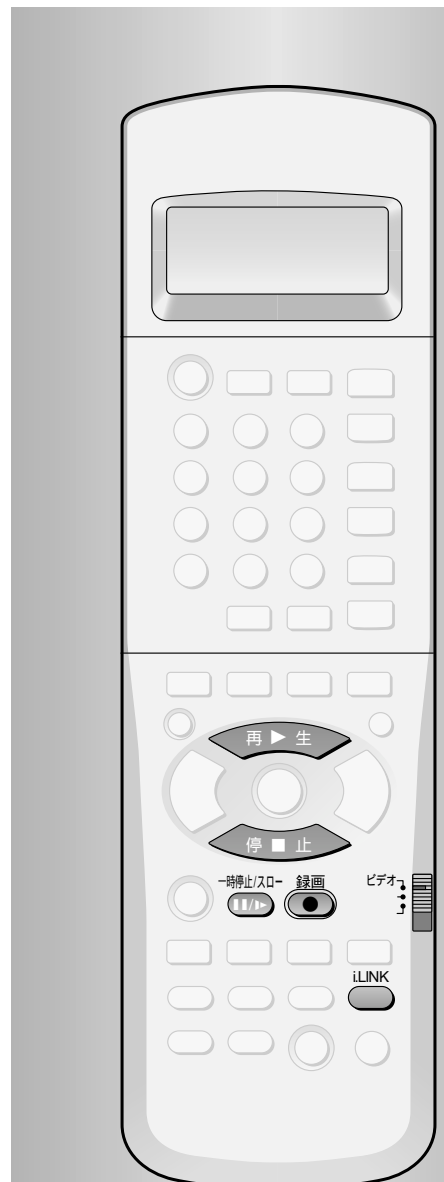
- 録画機(本機)が、自動的に再生機の録画モードを判別するために数秒間必要です。
  録画を開始したい場面の少し前から再生を始めてください。

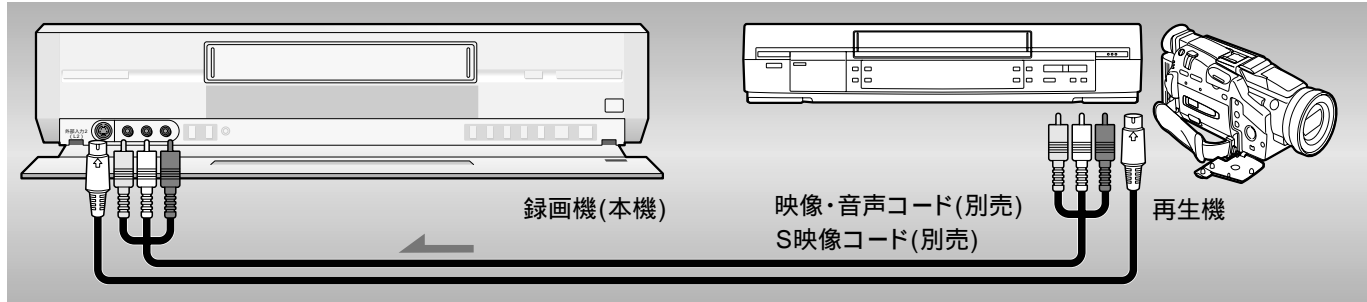
6 録画を始めたい場面で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押し、録画を始める

録画 STD 0：12.37

■録画をやめる

停止■ を押す。
- 再生機も停止させてください。

■お願い/ヒント
- ダビング後、録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画になったままや、モザイク状のノイズが発生したり、黒い画面になることがあります。
- DV機器は信号方式が異なるため、i.LINK接続してもダビングできません。以下の方法でダビングしてください。
  ・デジタルでダビングするとき(➜右ページ)
  ・アナログでダビングするとき(➜68)
- コピーガードがかかっている番組は、デジタルでダビングすることはできません。本体表示窓に“ コピーガード ”と表示されます。録画中に検知したときは、数十秒間録画し、自動的に停止します。

アナログ→デジタルで

アナログで録画された番組や映像・音声も、本機でデジタルに変換(エンコード)してダビングすることができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- 録画可能なD-VHSカセットを録画機(本機)に入れる。

1 ビデオチャンネル ∧ ∨ を押し、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3：外部入力3端子(後面)に接続したとき
- 外部入力3端子を使うには、メニューの[モード設定]→[L3設定]を[ライン]にしてください。**(➔82)**

2 録画モード を数回押し、[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]のいずれかを選ぶ

3 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点を探す

4 録画の開始点で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す
このあと、 録画● を押し、録画の一時停止にする

5 再生機で再生を始める

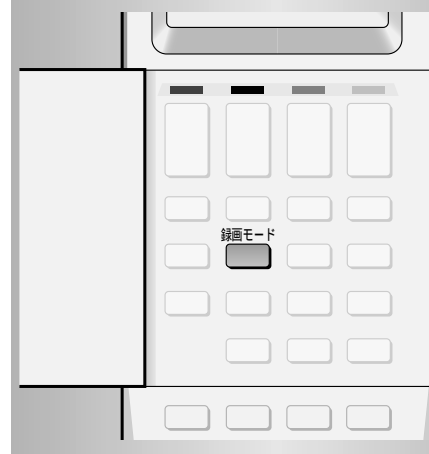
6 録画を始めたい場面で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押し、録画を始める

■ふたをひらいたところ

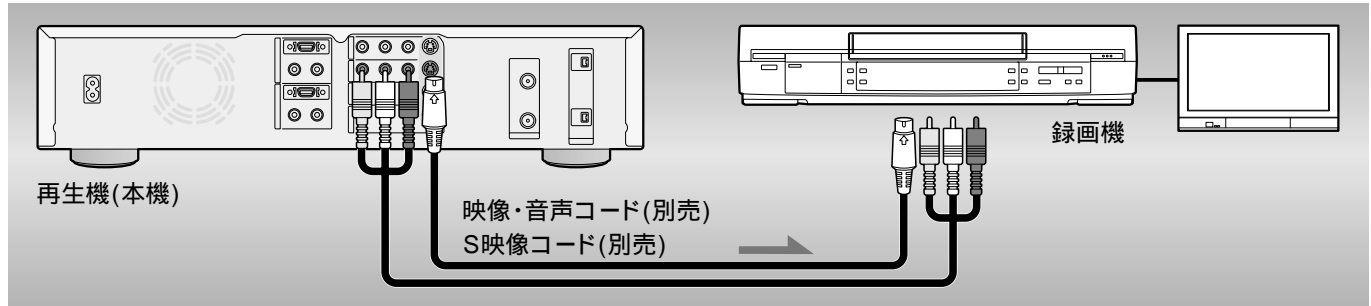
■録画をやめる

停止■ を押す。
- 再生機も停止させてください。

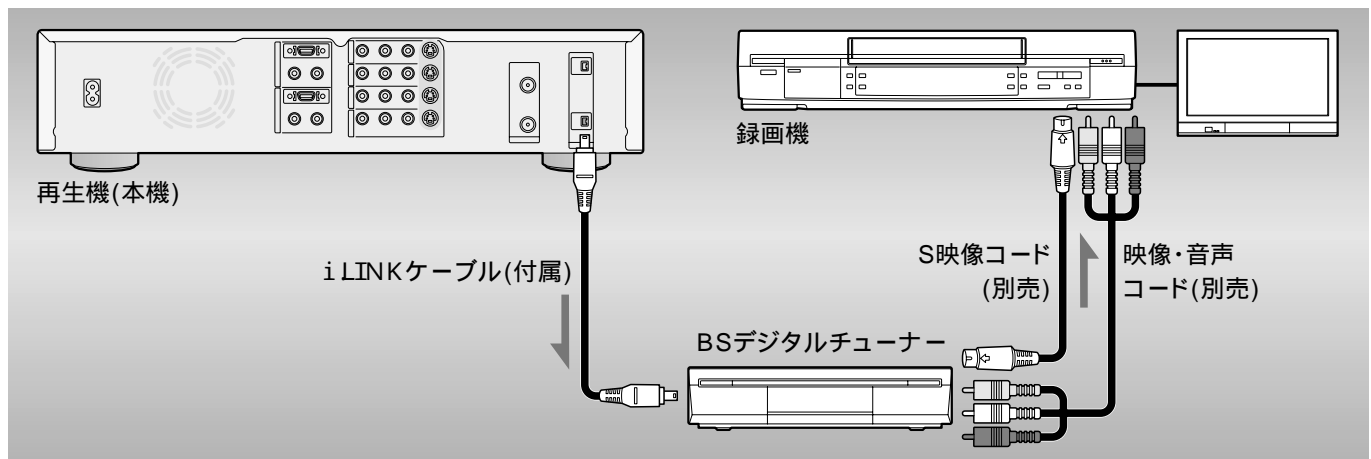
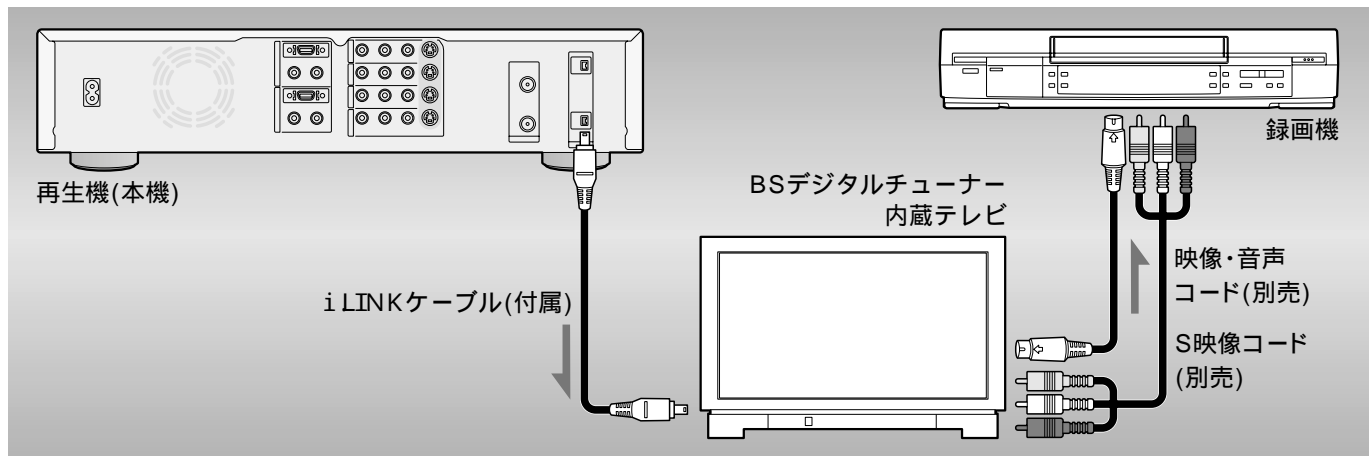
■お願い/ヒント

- ダビング後、録画のつなぎ目を再生すると、正しい画面が出るまで静止画になったままや、モザイク状のノイズが発生したり、黒い画面になることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は、デジタルでダビングすることはできません。本体表示窓に“ コピーガード ”と表示されます。録画中に検知したときは、数十秒間録画し、自動的に停止します。
- 再生機にS映像端子があるときは、S映像コード(別売)をお使いください。より高画質でダビングすることができます。

デジタル→アナログで

デジタルで録画された番組も、本機でアナログに変換(デコード)してダビングすることができます。

- ただし、[自動]モードで録画されたBSデジタル番組は、チューナー(内蔵テレビ)を経由してダビングする必要があります。**(➔下記)**

[自動]モードで録画されたBSデジタル番組をダビングするとき

- 本機を再生機にし、下図のように接続してください。
- 映像・音声はチューナー(内蔵テレビ)でデジタルからアナログに変換したあと、録画機へ送られます。

■BSデジタルチューナーをお使いのとき

■BSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いのとき

- 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、チューナー(内蔵テレビ)側で本機をLINC(リンク)してください。

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- 録画可能なカセットを録画機に入れる。

1 【録画機】
外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

2 【録画機】
録画モードを選ぶ

3 【録画機】
再生しながら録画の開始点を探す

4 【録画機】
録画の開始点で、
録画の一時停止にする

5 再生▶ **を押し、**
再生を始める

STD
0:00.01

6 【録画機】
録画を始めたい場面で、
録画を始める

■録画をやめる

停止■ を押す。

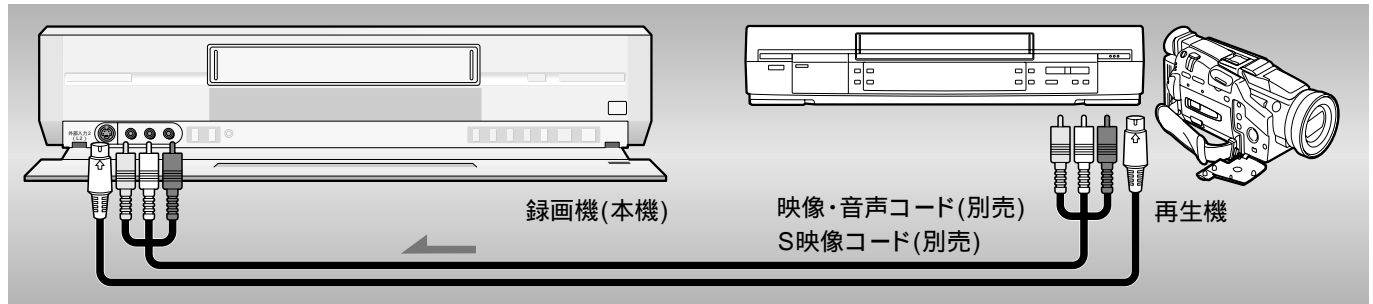
- 録画機も停止させてください。

■お願い/ヒント

- 録画機にS映像端子があるときは、S映像コードをお使いください。より高画質でダビングすることができます。
- 録画機の詳しい操作は、録画機の説明書をお読みください。
- チューナー内蔵テレビをお使いのときは、ダビング中にチャンネルを変えたり、電源を切らないでください。
- マルチビューは、チューナー(内蔵テレビ)側で選んでいた映像のみダビングされます。

アナログでダビングする

アナログ→アナログで

外部に接続した機器の映像・音声をダビングすることができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。
- 録画可能なカセットを録画機(本機)に入れる。

1 ビデオチャンネル∧∨を押し、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき
L3：外部入力3端子(後面)に接続したとき
- 外部入力3端子を使うには、メニューの[モード設定]→[L3設定]を[ライン]にしてください。(➔82)

2 録画モード を数回押し、[標準]、[3倍]のいずれかを選ぶ

3 再生▶ を押し、再生しながら録画の開始点を探す

3倍 0：12.34

4 録画の開始点で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押す
このあと、録画● を押し、録画の一時停止にする

録画 3倍 0：12.34

5 再生機で再生を始める

6 録画を始めたい場面で、一時停止/スロー ❚❚/❚▶ を押し、録画を始める

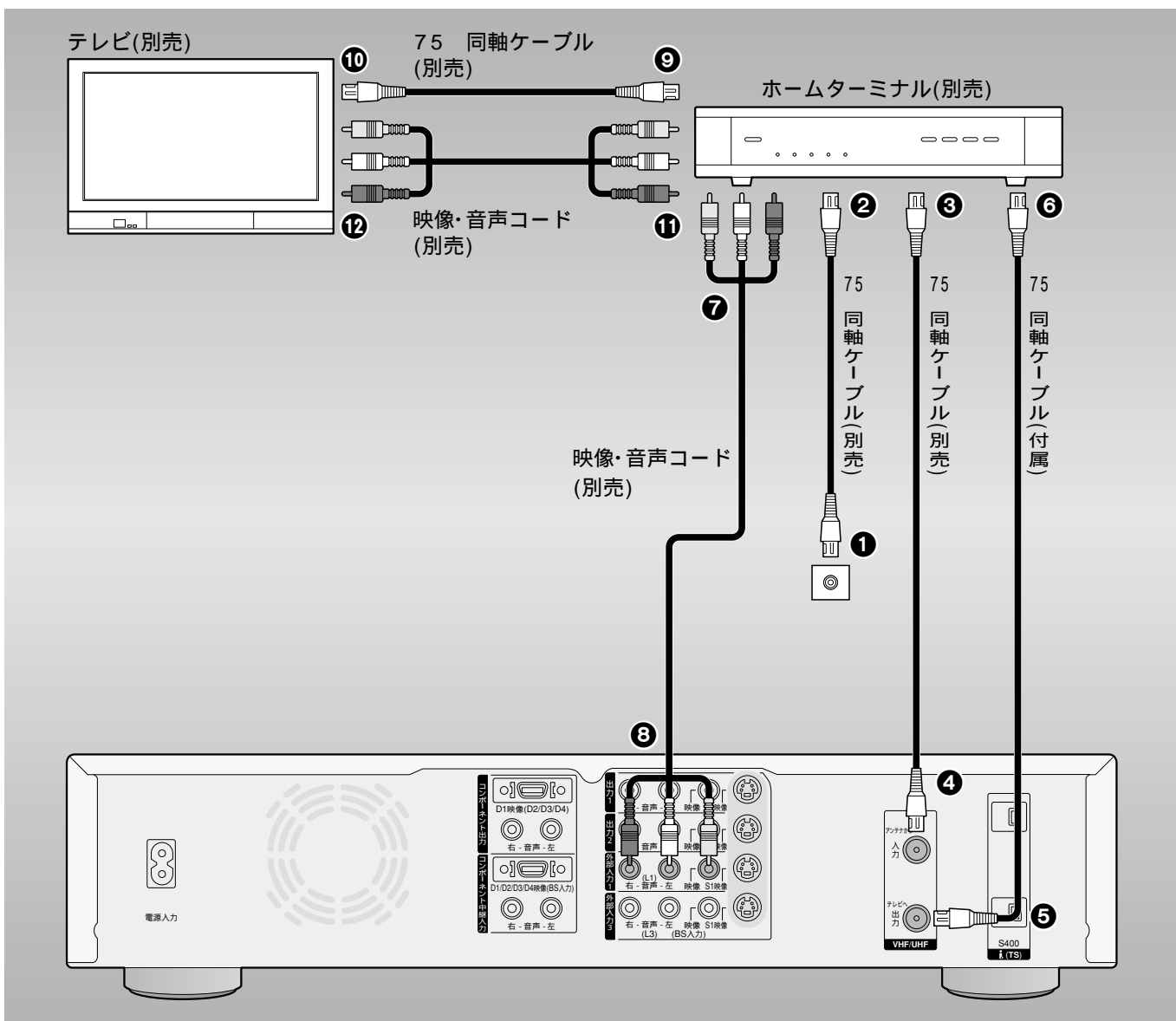
録画 3倍 0：12.37

■録画をやめる
停止■ を押す。
- 再生機も停止させてください。

■お願い/ヒント
- 再生機にS映像端子があるときは、S映像コード(別売)をお使いください。より高画質でダビングすることができます。

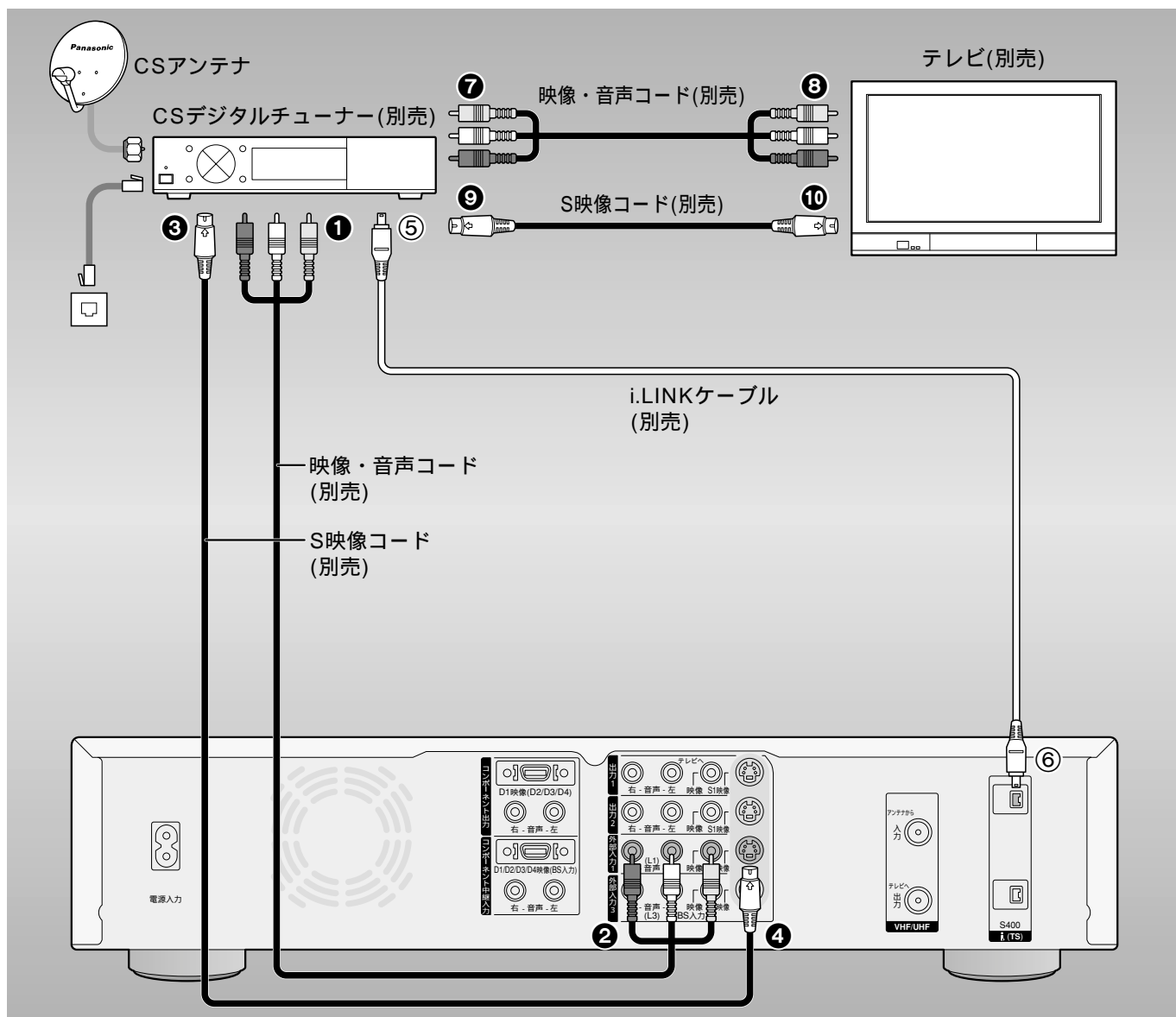
■映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき
- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

■テレビの近くで操作するとき
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

CATVホームターミナル、テレビと接続する

❶ **ご家庭のケーブルテレビ端子へ**
❷ **ケーブル入力端子へ**
❸ **ケーブル出力(VTRへ)端子へ**
❹ **VHF/UHF入力端子へ**
❺ **VHF/UHF出力端子へ**
❻ **ビデオRF入力端子へ**
❼ **映像・音声出力端子へ**
❽ **外部入力1(映像・音声)端子へ**
❾ **RF出力端子へ**
❿ **VHF/UHFアンテナ入力端子へ**
⓫ **映像・音声出力端子へ**
⓬ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**

■お願い/ヒント

- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
  引っ越しや配置換えなどによりご自分で接続されるときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
- CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- CATV会社によっては、BSデジタルチャンネルを放送しているところがあります。
  その放送形態がデジタルかアナログかは、会社によって異なりますので、詳しくはCATV会社にご相談ください。(上図はアナログ時の接続例です)
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
- 有料番組を本機で受信してもコピーガードやスクランブルの影響できれいに映りません。
  有料番組を見たり録画したりするには、本機の入力をホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上図接続例の場合：[**L1**])に切り換えてください。
- マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(**➜31**)
  特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
- リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。
  CATVの予約チャンネル表示は、工場出荷時はすべて選べなくなっています。このままでは、フリーセット予約ができません。
  使うチャンネルは表示させてください。(**➜54,55**)

CSデジタルチューナー、テレビと接続する

❶ **映像・音声出力端子へ**
❷ **外部入力1(映像・音声)端子へ**
❸ **S映像出力端子へ**
❹ **外部入力1(S1映像)端子へ**

⑤ **i.LINK端子へ**
⑥ **(TS)(i.LINK入出力)端子へ**

❼ **映像・音声出力端子へ**
❽ **ビデオ入力(映像・音声)端子へ**
❾ **S映像出力端子へ**
❿ **ビデオ入力(S映像)端子へ**

- CSデジタルチューナーにi.LINK端子がないときは、⑤〜⑥は不要です。

■お願い/ヒント

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。
- CSデジタル放送の視聴・録画には、専用のCSデジタルチューナー(別売)が必要です。
  さらに、使用する機器ごとにCSデジタル放送会社との受信契約が必要となります。
  詳しくは、CSデジタル放送会社にご相談ください。
- CSデジタルチューナーとBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)の両方をi.LINK接続してお使いになるときは、以下のことにお気を付けください。
  - ・CSデジタルチューナーを使ったあとは、必ずCSデジタルチューナー側で本機とのLINC(リンク)を切ってください。
    詳しくは、CSデジタルチューナーの説明書をお読みください。
  - ・BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)を使ったあとは、i.LINK を押し、本機のチューナーを地上波(VHF/UHF)放送のチャンネルにして、BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)とのLINC(リンク)を切ってください。
- コピーガードのかかっている番組は、本機を経由して見ようとすると映像がきれいに映らないことがあります。このときは、❼〜❿の接続を行い、テレビ側でチューナーを接続した入力に切り換えてください。

本機のリモコンで、CSデジタルチューナーの操作ができます。

準備 ● CSデジタルチューナーの電源を入れる。

1 ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[BS/(CS)]にする

2 設定(長押し)を"☎"が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す

3 ＋終了－でメーカー番号を合わせる

- チューナーに向けて操作してください。
- メーカー番号が合うと、チューナーの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

操作できるCSデジタルチューナーメーカー・一覧表

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❹❺❻	東芝	⓰⓱⓲⓳
アイワ	㉜㉝㉞	ビクター	㉕㉖㉗㉟
NEC	❾	日立	❽
三洋	㉘	マスプロ電工	⓴㊱
シャープ	❿⓫	三菱	㉑㉒㉓
ソニー	❼㉚	八木アンテナ	㉔㉛
DXアンテナ	⓬⓭⓮⓯	ユニデン	㉙

4 設定(長押し)を押す

■お願い/ヒント

- 一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、チューナーに付属のリモコンで操作してください。

テレビにCSデジタル放送の画面を出す

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。

1 ■i.LINK接続したときは、
i.LINKで、CSデジタルチューナーを選ぶ

- CSデジタルチューナーが登録されているi.LINK機器番号を選んでください。(上図例では" d2 ")
機器名と連番、機種名がスクロール表示されますので、CSデジタルチューナーが選ばれているか確かめてください。

■外部入力端子(L1～L3)に接続したときは、
ビデオチャンネル∧∨で、CSデジタルチューナーを接続した外部入力チャンネルを選ぶ

2 ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[BS/(CS)]にする

3 BS/(CS)電源を押し、チューナーの電源を入れる

4 BS/(CS)チャンネル∧∨(または1～10/0)などで、見たいチャンネルを選ぶ

■ふたをひらいたところ

BSデジタルスルーを使って再生・録画・予約録画する

BSデジタルチューナーをお使いの方で、チューナーとテレビの両方にコンポーネントビデオ端子があるときは、17ページの接続をすると、BSデジタルスルーが使えます。

- 本機の映像←→チューナーの映像を BSスルー だけですぐに切り換えることができるようになります。

BSデジタルスルーを使えるようにする

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

1 **メニュー を押す**

2 **▲(再生) ▼(停止) で[モード設定]を選び、実行/決定 を押す**

3 **▲(再生) ▼(停止) でページ2/3に送り、[BSスルー]を選ぶ**

4 **▶(早送り) で[自動]を選ぶ**

5 **メニュー を押す**

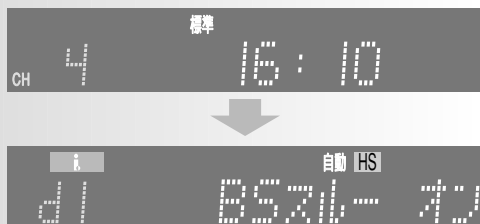
■1つ前のメニューに戻る
- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

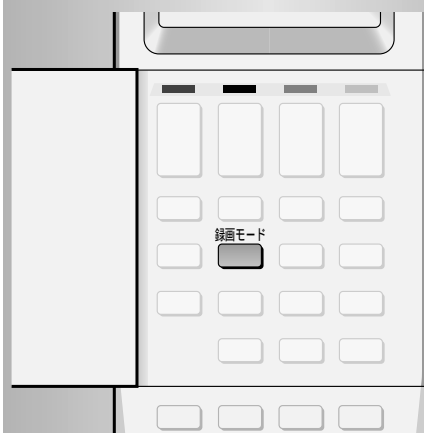
BSデジタルチューナーの入力に切り換える

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする。

1 **BS/(CS)電源 を押し、チューナーの電源を入れる**

2 **ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする**

3 **本機で地上波(VHF/UHF)番組を受信中に、BSデジタルチューナーの入力に切り換えたいときは、BSスルー を押し、本体表示窓に“BSスルー オン”を表示させる**

- チューナーの映像・音声に切り換わります。
- チューナーからの映像がコンポーネント中継入力端子へ入力され、そのままテレビへ出力されます。

■ふたをひらいたところ

■再び本機が受信している地上波(VHF/UHF)番組に切り換える

BSスルー を押し、本体表示窓に“ BSスルー オフ ”を表示させる。
- 本機が受信している番組に切り換わります。
- チューナーからの映像は、コンポーネント中継入力端子へ入力されなくなります。

■お願い/ヒント
- この機能は、BSデジタルチューナーが外部BS機器登録されているときのみ働きます。(本体表示窓に“ dーー ”と表示されたときは、外部BS機器登録されていないか、チューナーの電源が入っていません)

BSデジタルスルーを使った再生・録画・予約録画の操作

BSデジタル番組を再生するとき

準備 • ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする。

1 BS/(CS)電源 を押し、チューナーの電源を入れる

2 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

3 再生▶ を押す
- 当社製チューナーをお使いのときは、自動的にテレビの入力が本機の再生映像に切り換わります。

BSデジタル番組を録画するとき

準備
- 録画可能なカセットを入れる。
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする。

1 BS/(CS)電源 を押し、チューナーの電源を入れる

2 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

3 BSスルー を押し、本体表示窓に“ BSスルー オン ”を表示させる
- チューナーの映像・音声に切り換わります。

4 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする

5 録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ

■プリセットチャンネルで選ぶとき

例：プリセット番号3に記憶されている局を選ぶ
③を押す
- プリセットされている放送局については、お使いのチューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。

■直接チャンネルを選ぶとき

チャンネル番号入力 →①～⑩/0 と押す

例：BSデジタル103チャンネルを選ぶ
チャンネル番号入力 →①→⑩/0→③

6 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

7 録画モードが[自動]になっていることを確かめる
- 自動的に[自動]が選ばれますので、通常はこのままにしておいてください。

■[自動]以外で録画するときは、
録画モード を数回押し、録画モードを選ぶ

■デジタル録画するとき
- [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]から選んでください。

■アナログ録画するとき
- [標準]、[3倍]から選んでください。

8 録画● を押す

BSデジタル番組を予約録画するとき

準備
- 録画可能なカセットを入れる。
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする。

1 BS/(CS)電源 を押し、チューナーの電源を入れる

2 ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする

3 BSスルー を押し、本体表示窓に“ BSスルー オン ”を表示させる

- チューナーの映像・音声に切り換わります。

4 ■EPG予約するときのみ、
ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[BS/(CS)]にする

5 予約録画の操作をする
- EPG予約(➜51)
- BSデジタル番組のフリーセット予約(➜56)

■お願い/ヒント
- 再生・録画・予約録画の操作をするときは、すべて手順1でチューナーの電源を入れてください。
- この機能は、BSデジタルチューナーが外部BS機器登録されているときのみ働きます。(本体表示窓に“ dーー ”と表示されたときは、外部BS機器登録されていないか、チューナーの電源が入っていません)
- BSデジタルチューナーとCSデジタルチューナーなど、複数のi.LINK機器を接続してお使いになるときは、以下のことにお気を付けください。
  CSデジタルチューナー(例)を使ったあとは、必ずCSデジタルチューナー側で本機とのLINC(リンク)を切っておいてください。LINCされたままになっていると、BSスルー を押しても、BSデジタルチューナーに切り換わりません。

画面表示を切り換える（オンスクリーン）

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

❶ **受信チャンネル**

❷ **音声状態**

- ステレオ(二重)放送受信時、"ステレオ(二重)。" **(➜右ページ)**
- 音声切換 を押すごとに、"左 右"、"左"、"右。" **(➜右ページ)**

❸ **自動CM早送り**

- CM を押すごとに、"自動CM早送り 入(切)。" **(➜39)**

❹ **スピードサーチ、イントロサーチ**

- 数秒後にテープ位置を表示。

❺ **録画モード**

- 録画開始時、残量表示に切換時**(➜下記)**などに、"標準"、"3倍"、"HS"、"STD"、"LS3"、"LS5"、"LS7"。

❻ **動作表示**

- 再生、早送り、自動巻戻し再生など、本機の動作状態。

❼ **日付・現在時刻/テープカウンター/テープ残量表示**

- 時計/残量 を数回押すごとに表示。**(➜下記)**

■お願い/ヒント

- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画・スロー再生中、録画中。
  - ・メニューの[モード設定]→[オンスクリーン]を[切]にしているとき。**(➜82)**
  - ・チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から映像を見るとき。
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。
  また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

日付・現在時刻、テープカウンター、残量表示に切り換える

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を**[ビデオ]**にする。

時計/残量 を数回押す

- 押すごとに、**日付・現在時刻**→**テープカウンター**→**テープ残量**→…と変わります。
- ボタンを押して5秒以上経過すると自動的に消えます。

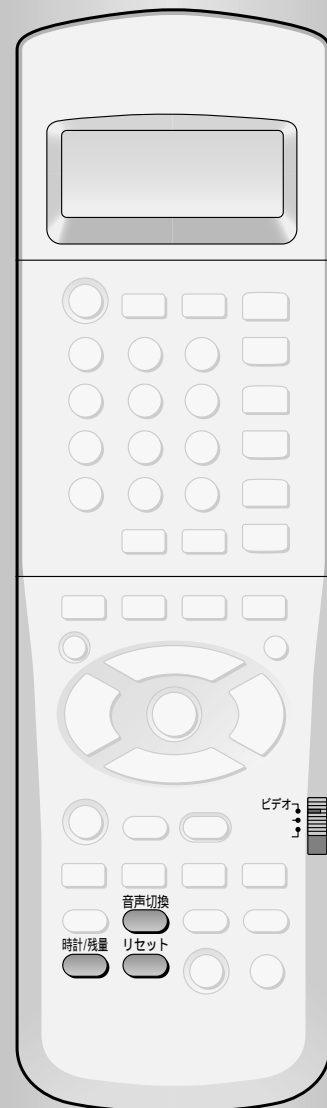
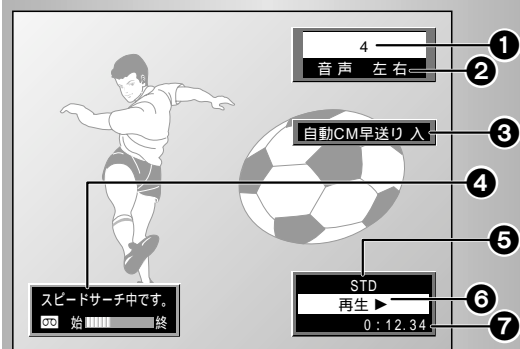
■日付・現在時刻について

- 自動時刻合わせ機能**(➜85)**が働いているときは、秒まで表示されます。

■テープカウンターについて

- テープカウンター表示になっているときに リセット を押すと、値が"0：00.00"になります。

■テープ残量について

- テープの残り時間が表示されます。(目安です)
- 残量の計算のため、表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
- メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を必ず正しく合わせておいてください。**(➜82)**
  合わせていないと、ぴったり録画**(➜60)**やプログラムナビ**(➜76)**なども正しく行えません。
- 残量の計算がされていないとき(カセットを入れた直後など)は、テープ残量は表示されません。(テープ残量表示にするとすぐに計算を始めます)
- カセットによっては、正しく表示されないことがあります。

■日付・現在時刻表示の例

■テープカウンター表示の例

■テープ残量表示の例

本機で受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- ステレオ音声の受信・再生中は「ステレオ」音声が、二重音声の受信・再生中は「主音声」が自動的に選ばれます。
  別の音声で聞くときは、下記の操作で選んでください。

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[**ビデオ**]にする。

音声切換 を数回押し、聞きたい音声を選ぶ

- 押すごとに、下表のように切り換わります。
- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。

■お願い/ヒント

- 選んだ音声だけを録音することはできません。
  また、録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- i.LINKケーブルで出力しているときは、 音声切換 を押しても音声は切り換わりません。
  チューナー(内蔵テレビ)側で切り換えてください。

受信時の音声の切り換わりかた

本機のチューナーで受信中、または外部入力(BS入力)中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	ステレオ　左右	ステレオ音声
	ステレオ　左	左音声
	ステレオ　右	右音声
二重放送 (2か国語放送など)	二　重　左右	主音声＋副音声
	二　重　左	主音声
	二　重　右	副音声
モノラル放送 (外部入力チャンネルも含む)	音　声　左右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声

- 表中の □ の欄が、2か国語オート再生機能(**➜右記**)で自動的に選ばれる音声です。

再生時の音声の切り換わりかた

デジタル

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	音　声　左右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声
二重放送 (2か国語放送など)	音　声　左右	主音声＋副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　右	副音声
モノラル放送 (外部入力チャンネルも含む)	音　声　左右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声

- 録画モード[自動]で録画したBSデジタル番組を再生するときに、 音声切換 を押しても音声が切り換わらないときは、チューナー(内蔵テレビ)側で切り換えてください。

アナログ

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	音　声　左右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声
	音　声	ノーマル音声
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声
二重放送 (2か国語放送など)	音　声　左右	主音声＋副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　右	副音声
	音　声	ノーマル音声(主音声のみ)
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声
モノラル放送	音　声　左右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　右	右音声
	音　声	ノーマル音声
	音　声　MIX	ハイファイ音声+ノーマル音声

- 表中の □ の欄が、2か国語オート再生機能(**➜下記**)で自動的に選ばれる音声です。
- ノーマル音声しか記録されていないときは、音声を選ぶことはできません。

■2か国語オート再生機能について

- 二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
- 次のようなときは働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生するとき。
  - ・外部入力(BSデジタル、従来のアナログBS、CSデジタルを含む)録画をした番組を再生するとき。
  - ・ 音声切換 を押して、音声を選んだあと。
    選んだ音声を本機が記憶しているためです。
    一度電源を切ると、この機能は働くようになります。
  - ・番組の途中から再生を始めたとき。
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。 音声切換 で音声を選んでください。

ナビデータを使って録画した番組を探す（プログラムナビ）

本機で録画・予約録画すると、自動的にナビデータとして録画内容が登録されます。
このデータを利用して、番組を素早く探し出すことができます。

ナビデータの使いかた

見たい番組が、どのカセットに入っているかわかっているとき
■見たい番組を探す(➜下記)
- そのカセットを入れて、見たい番組を探してください。

見たい番組が、どのカセットに入っているかわからないとき
■カセット一覧検索(➜78)
- カセット番号の小さい順に番組を並べかえて検索します。

■ジャンル検索(➜79)
- 選んだジャンル別に番組を検索します。

■ナビ最新2週間検索(➜79)
- 録画日の新しい順(2週間以内)に番組を並べかえて検索します。

見たい番組を探す

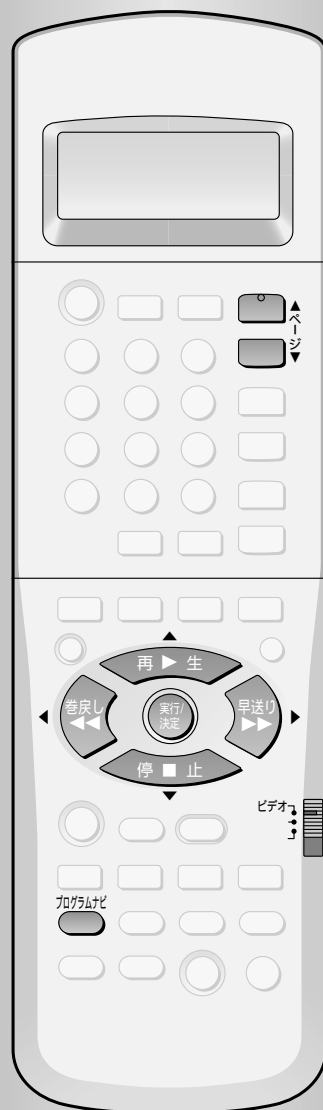
準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

1 探したい番組が入っているカセットを入れる
- テレビ画面に"ナビデータを確認しています。"と表示されます。

2 上記手順1の画面が消えたら、プログラムナビ を押す
- 選ばれている番組が黄色で表示されます。
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)でBSデジタル番組を録画・予約録画したときは、番組タイトル名も表示されます。
- 番組数が多いときは、**ページ▲ ▼**(または◀(巻戻し) ▶(早送り))を数回押して移動できます。

3 ▲(再生) ▼(停止) で見たい番組を選び、実行/決定 を押す
- 番組の頭出しが始まり、見つかると再生します。

■途中で頭出しをやめる
停止■ を押す。

■ヒント
- CH欄のBSデジタルチャンネルは、当社製チューナー(内蔵テレビ)で録画・予約録画した番組のみ表示されます。
それ以外は、"d1(例)"など、i.LINK機器番号で表示されます。
- タイトルは、当社製チューナー(内蔵テレビ)でBSデジタル番組を録画・予約録画したときのみ表示されます。
14文字まで表示できます。表示しきれない文字は、"・・"になります。

ナビデータについて

登録できるカセット数：　最大999本
1本のカセットに登録できる番組数：最大56番組
登録できる総番組数：　最大1500番組

- ナビデータにはどのカセットに録画したかを識別するためにカセット番号が登録されます。
  見たい番組を素早く探すために、カセットのラベルなどにこの番号を記載しておいてください。
- 1本のカセットに57番組以上録画しても、57番組め以降は登録されません。
- 登録可能な番組数の残りが10以下になったときにカセットを入れると、テレビ画面に"新たに登録できる番組は○個です"と表示されます。
- すでに最大1500番組を記憶しているときにカセットを入れると、テレビ画面に"新たに番組登録はできません"と表示されます。
  新たに番組登録したいときは、カセット単位でナビデータを消去する必要があります。**(➜80)**
- 当社製チューナー(内蔵テレビ)でBSデジタル放送を録画・予約録画したときは、番組タイトル名も登録されます。ただし、その分登録できる番組数が減ることがあります。(1500番組～約750番組)

■登録される番組について

1. 本機で録画・予約録画した番組
   録画は、停止状態から 録画● を押して録画した番組のとき登録されます。
   (録画の一時停止状態から録画を開始したときは登録されません)
2. 外部機器(BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)、CSデジタルチューナーなど)から録画・予約録画した番組

プログラムナビのしくみ

カセットを入れたときに、自動的にナビデータを確認します。

- 本体表示窓に、確認されたカセット番号が表示されます。
- 未録画など、信号がない部分で信号を確認しようとすると、正しく確認できません。
  このときは、本機で録画・予約録画した番組の部分で プログラムナビ を押してください。より確実に確認できます。
  それでも確認できなかったときは、"このカセットにはナビデータがありません。"と表示されます。
  このときは番組の頭出しはできません。

このカセットにはナビデータがありません。

■お願い/ヒント

- メニューの[モード設定]→[プログラムナビ]が[切]になっていると働きません。(工場出荷時は[入])**(➜82)**
- 録画する前に、使うカセットの種類によりメニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を必ず正しく合わせておいてください。**(➜82)**
  合わせていないと、正しくナビデータが登録できません。

- 正しくナビデータを登録するために、録画は各モードで次の時間以上行ってください。
  - ・H　S：約15分以上　　・標 準：約15分以上
  - ・STD：約15分以上　　・3 倍：約15分以上
  - ・LS3：約30分以上
  - ・LS5：約45分以上
  - ・LS7：約60分以上

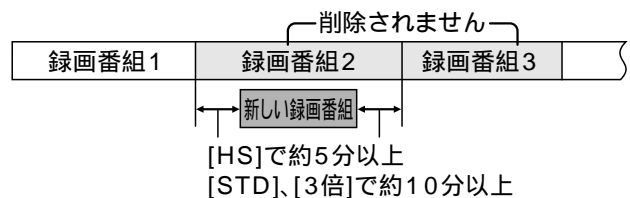
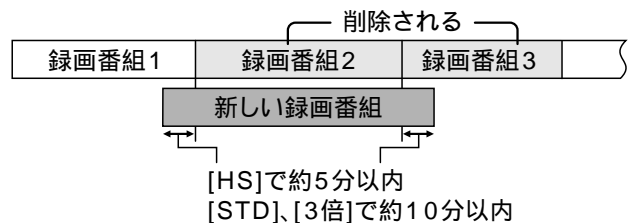
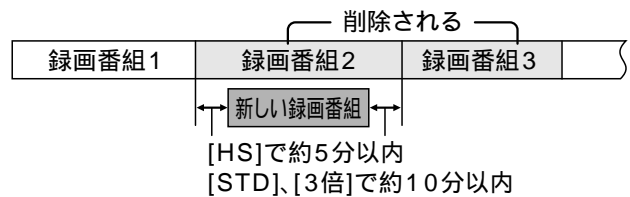
  ※DF-300カセットを使った場合です。これより短いと登録されないことがあります。
  ※DF-300よりも長時間のカセットを使ったときは、上記時間では登録されないことがあります。
- [LS5]、[LS7]モードで録画された番組は、正しく頭出しができないことがあります。
  このときは、メニューの[モード設定]→[番組頭出し再生]を[自動]または[低速]にしてください。**(➜82)**
- 番組と番組の間に未録画部分があると、同じカセットに別のカセット番号が新しく登録されることがあります。
  このような現象を防ぐために、テープの始端から番組と番組の間をあけないように録画してください。

テープ始端
予約録画番組1　予約録画番組2
未録画などで信号がない部分

- 本機以外のビデオ(当社製の同機能付きビデオも含む)で録画・予約録画したカセットは正しく働きません。
- プログラムナビ を押すごとに、"ビデオ1"などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
  「今すぐ再生」機能**(➜20)**を働かせているときは、プログラムナビ を押したときにも、テレビの入力を[ビデオ1]にする信号を出しているためです。
  この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

■ナビデータのある録画内容のところに新しく録画したとき

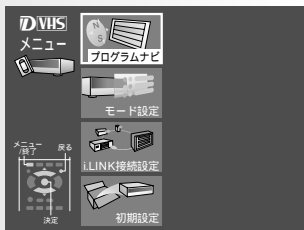
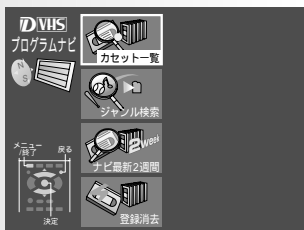
- 録画・予約録画した時間によっては、以前のナビデータが削除されます。(下図参照)
- 新たに録画された番組の前後の付近([HS]で約5分以内、[STD]、[3倍]で約10分以内)から始まる番組のナビデータも削除されます。

削除される
録画番組1　録画番組2　録画番組3
新しい録画番組
●[HS]で約5分**以内**
●[STD]、[3倍]で約10分**以内**

カセットの一覧で探す

見たい番組がどのカセットに入っているかわからないとき、ナビデータをカセット番号の小さい順に並べかえて表示します。

- 見たい番組を素早く探すために、カセットのラベルなどにカセット番号を記載しておいてください。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

1 メニュー を押し、[プログラムナビ]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す

2 [カセット一覧]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す

- 選ばれているカセットが黄色で表示されます。
- カセット数が多いときは、ページ ▲ ▼ (または ◀(巻戻し) ▶(早送り))を数回押して移動できます。

3 ▲(再生) ▼(停止) で探したい番組の入ったカセット番号を選び、実行/決定 を押す

- 選んだカセットの内容一覧が表示されます。

4 見たい番組を確かめて、メニュー を押す

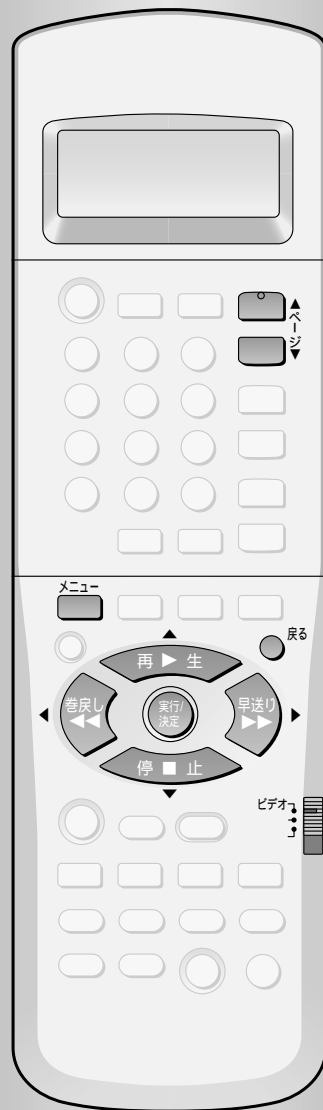
- カセット一覧画面が消えます。

5 76ページの操作で見たい番組を探す

■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

■ヒント

- 手順3のあと、もう一度 実行/決定 を押すと、そのカセットのナビデータを消去する画面になります。(➜80)

ジャンル別に探す

見たい番組がどのカセットに入っているかわからないとき、ナビデータをジャンル別に検索して表示します。

- 見たい番組を素早く探すために、カセットのラベルなどにカセット番号を記載しておいてください。

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➔21)

1 **メニュー を押し、[プログラムナビ]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す**

2 **▼(停止) で[ジャンル検索]を選び、実行/決定 を押す**

3 **◀(巻戻し) ▶(早送り) ▲(再生) ▼(停止) で検索したいジャンルを選び、実行/決定 を押す**

- 検索できるジャンルの種類は、
  - ・ニュース・報道番組　・ドラマ番組
  - ・音楽番組　・教養・情報番組
  - ・スポーツ番組　・アニメ・特撮番組
  - ・映画番組　・バラエティー番組
  - ・その他…の9種類です。

- 検索した結果が表示されます。
- 番組数が多いときは、ページ ▲ ▼ (または ◀(巻戻し) ▶(早送り))を数回押して移動できます。

D VHS ジャンル検索結果　スポーツ　ページ1/1

番号	録画日	CH	時刻	録画時間	タイトル	録画モード
003	4/20(土)	BS 161	14:00 17:00	3h00m	ゴルフ「○○オープン」	STD
004	4/22(月)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・1	STD
004	4/23(火)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・2	STD
004	4/24(水)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・3	STD
004	4/25(木)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・4	STD
004	4/26(金)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・5	STD
005	4/27(土)	BS 101	19:00 21:00	2h00m	サッカー○リーグ	HS

4 **見たい番組のカセット番号を確かめて、メニュー を押す**

- ジャンル検索結果一覧が消えます。

5 **76ページの操作で見たい番組を探す**

■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

■お願い/ヒント

- ジャンル検索できるのは、当社製BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)を使って、本機で録画したBSデジタル番組だけです。
  当社製でも、一部の機器ではできないものがあります。

最近2週間以内に録画した番組を探す

見たい番組がどのカセットに入っているかわからないとき、ナビデータを録画日の新しい順(2週間以内)に並べかえて表示します。

- 見たい番組を素早く探すために、カセットのラベルなどにカセット番号を記載しておいてください。

準備

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➔21)

1 **メニュー を押し、[プログラムナビ]が選ばれた状態で、実行/決定 を押す**

2 **▼(停止) で[ナビ最新2週間]を選び、実行/決定 を押す**

- 最近2週間以内に録画した番組が、新しい順に表示されます。
- 番組数が多いときは、ページ ▲ ▼ (または ◀(巻戻し) ▶(早送り))を数回押して移動できます。

D VHS ナビ最新2週間　番組登録数12　ページ1/2

番号	録画日	CH	時刻	録画時間	タイトル	録画モード
007	5/1(水)	BS 141	18:00 21:00	3h00m	プロ野球「○○対△△」	STD
006	4/28(日)	8	22:00 23:30	1h30m		標準
005	4/27(土)	BS 101	19:00 21:00	2h00m	サッカー○リーグ	HS
004	4/26(金)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・5	STD
004	4/25(木)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・4	STD
004	4/24(水)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・3	STD
004	4/23(火)	BS 101	19:00 20:00	1h00m	サッカー日本代表直前情報・2	STD

3 **見たい番組のカセット番号を確かめて、メニュー を押す**

- ナビ最新2週間一覧が消えます。

4 **76ページの操作で見たい番組を探す**

■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

■ヒント

- ナビ最新2週間一覧画面に表示できるのは2週間以内に録画・予約録画された番組(最大50番組)だけです。
  2週間をこえたときは自動的に削除されます。
  また、2週間過ぎていなくても50番組をこえたときは、古い番組から削除されていきます。

ナビデータを消去する

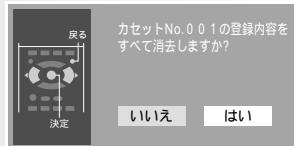
消去には以下の2つの方法があります。
※一度消去したナビデータは元に戻せませんので、よく確認してから消去してください。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

カセットごとにナビデータを消去する

4 78ページ手順3のあと、
もう一度、実行/決定 を押す

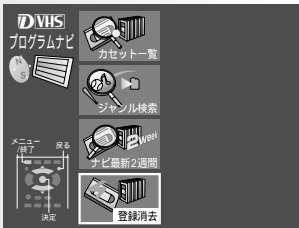
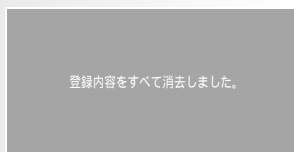
5 消去してよいかよく確認してから、▶(早送り)で[はい]を選び、実行/決定 を押す

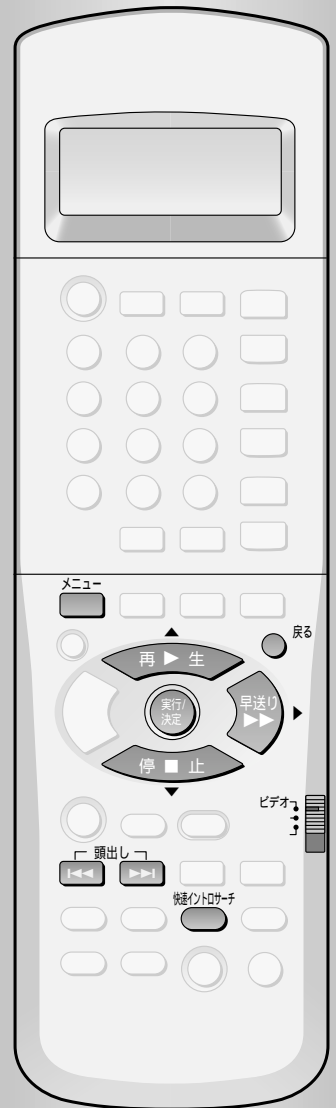
カセットNo.００１の登録内容をすべて消去しました。

■1つ前のメニューに戻る
- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

■途中でやめる
- 手順5で[いいえ]を選び、実行/決定 を押す。
- [はい]を選んで、実行/決定 を押したあとは、途中でやめることはできません。

すべてのカセットのナビデータを消去する

1 メニュー を押し、[プログラムナビ]が選ばれている状態で、実行/決定 を押す

2 ▼(停止) で[登録消去]を選び、実行/決定 を押す

3 ▶(早送り)で[はい]を選び、実行/決定 を押す

■1つ前のメニューに戻る
- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

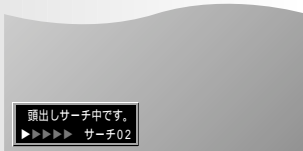
■途中でやめる
- 手順3で[いいえ]を選び、実行/決定 を押す。
- [はい]を選んで、実行/決定 を押したあとは、途中でやめることはできません。

■お願い/ヒント
- この操作を行っても本体内部のナビデータが消えるだけで、カセットにはナビデータが残ったままになります。
このため、本体内部のナビデータを消去したカセットを入れて プログラムナビ を押しても、正しく表示されません。
カセットに記録されているナビデータも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。(➜86)
ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

頭出しして番組を探す

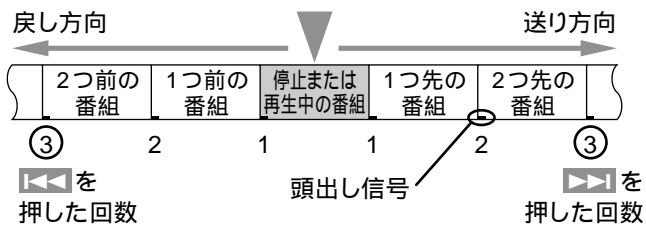
本機で録画を行うと、録画の開始点で頭出し信号が自動的に記録されます。
この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

停止または再生中に、
見たい番組がある方向の頭出し
⏮ ⏭ を押す

頭出しサーチ中です。
▶▶▶▶ サーチ02

● 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。
● 続けてボタンを押すと、探す番組を変更できます。(下記)
● 番組を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。
● i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

■途中でやめる
停止■ を押す。

■お願い/ヒント
● 最大20番組先(前)まで番組が指定できます。
● 頭出しする番組の指定のしかた

● ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
● 頭出し信号どうしの間隔が短いときは正しく探せないことがあります。録画は約5分以上行ってください。
● [LS5]、[LS7]モードで録画された番組は、正しく頭出しができないことがあります。
このときは、メニューの[モード設定]→[番組頭出し再生]を[自動]または[低速]にしてください。**(➜82)**
● メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を正しく合わせておかないと、テープ位置が表示されなかったり、表示されても正しい位置になりません。**(➜82)**
● 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
・録画● または ●録画/終了時刻予約 を押して録画を始めたとき。(録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
・予約録画が始まったとき。
・録画中に、リモコンの 録画● を押したとき。

次々に頭出しして番組を探す
(快速イントロサーチ)

頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、次々に早送り再生していきます。

準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。

1 停止または再生中に、
快速イントロサーチ を押す

● テレビ画面にテープ位置が表示されます。表示されるまで少し時間がかかります。
● i.LINKケーブルからの出力映像を見ているときは、上図のような表示は出ません。

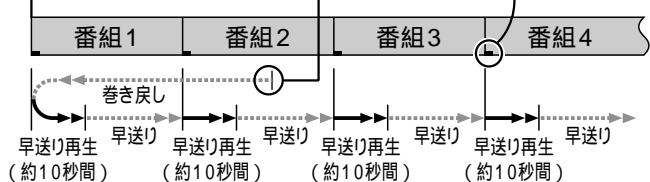
2 見たい番組が見つかったら、
再生▶ を押す

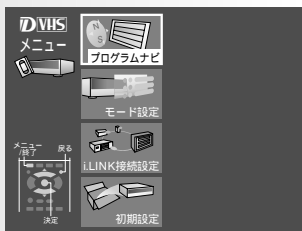
■途中でやめる
停止■ を押す。

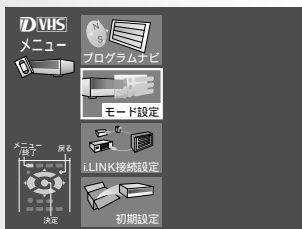
■お願い/ヒント
● [LS5]、[LS7]モードで録画された番組は、正しく頭出しができないことがあります。
このときは、メニューの[モード設定]→[番組頭出し再生]を[自動]または[低速]にしてください。**(➜82)**
● メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を正しく合わせておかないと、テープ位置が表示されなかったり、表示されても正しい位置になりません。**(➜82)**

■快速イントロサーチの動作
1. テープを始端まで巻き戻す
2. 始端から約10秒間、早送り再生する
3. ふつうの早送りをしながら次の頭出し信号を探す
4. 頭出し信号を見つけると、そこから約10秒間早送り再生する

テープの終端まで、3～4を繰り返します。
終端まで来ると始端まで巻き戻し、停止します。

いろいろな項目の設定を変更する（モード設定）

いろいろな項目をモード設定画面で変更することができます。

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜21)

1 メニュー を押す

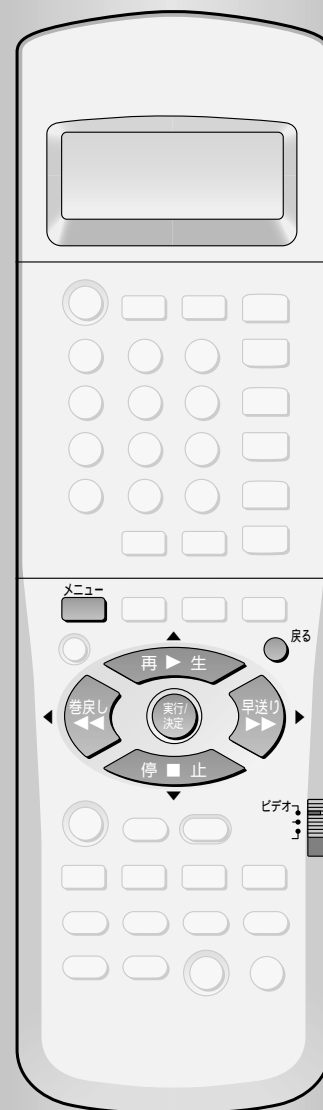
2 ▲(再生) ▼(停止) で[モード設定]を選び、実行/決定 を押す

3 ▲(再生) ▼(停止) で設定したい項目を選ぶ

- 項目は、ページ1/3、2/3、3/3の3ページ分あります。▲(再生) ▼(停止) を数回押すと、ページを移動できます。

4 ◀(巻戻し) ▶(早送り) で設定する

5 メニュー を押す

■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

モード設定の項目(●は工場出荷時の設定です)

	項目	選択	内容	ページ
ページ1/3	S/VHSテープ アナログ	●T-120	T-120、TC-20(VHS-C)カセットや、それより短いものを使うとき。	32・74
		T-160	T-140、T-160、TC-30(VHS-C)カセットを使うとき。	
		T-180	T-180カセットを使うとき。	
		T-210	T-210カセットや、それより長いものを使うとき。	
	D-VHSテープ	●DF-300	DF-300カセットや、それより短いものを使うとき。	32・74
		DF-360	DF-360カセットを使うとき。	
		DF-420	DF-420カセットを使うとき。	
		DF-480	DF-480カセットや、それより長いものを使うとき。	
	オンスクリーン	切	テレビ画面に表示を出さないようにするとき。	74
		●自動	操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。 ● 次のようなときは、[自動]にしていても出ません。 ・静止画・スロー再生中、録画中。 ・チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から映像を見るとき。	
	リモコンモード	●1	通常はこの位置。	84
		2	複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。	
		3	複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。	
	ワイドモード	切	テレビのS映像入力端子に接続したとき。	–
		●入	テレビのS1映像入力端子に接続したとき。 ● ワイドモードの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモードに切り換えられます。	
	L3設定	ライン	後面の外部入力3端子を外部入力端子(L3)として使うとき。	26
		●BS入力	後面の外部入力3端子にBSデジタルチューナー(内蔵テレビ)を接続し、BSデジタル放送を長時間録画・アナログ録画するとき。	
ページ2/3	BSスルー	●切	BSデジタルチューナーからの映像・音声をコンポーネント中継入力端子へ入力しないとき。	17・72
		自動	BSデジタルチューナーからの映像・音声をコンポーネント中継入力端子へ入力し、そのままテレビへ出力できるようにするとき。	
	リンク切換 デジタル	切	使いたいi.LINK機器を本機で選ばないとき。	25
		●自動	使いたいi.LINK機器を本機で選ぶとき。(通常はこの位置)	
	番組頭出し再生	低速	[LS5]、[LS7]モードで録画した番組を頭出しするとき。(低速頭出し)	77・81
		高速	[LS5]、[LS7]モード以外で録画した番組を頭出しするとき。(高速頭出し)	
		●自動	通常はこの位置。	
	プログラムナビ	切	プログラムナビを働かせないとき。	76
		●入	プログラムナビデータを使って録画・予約録画した番組を探すとき。	
	時刻表示	●暗	電源「切」時や予約録画の待機中に、本体表示窓の現在時刻表示を暗くするとき。	–
		明	電源「切」時や予約録画の待機中に、本体表示窓の現在時刻表示を明るくするとき。	
	自動電源切	切	自動的に電源を切らないとき。	–
		2H	約2時間以上何も操作をしなかったとき、自動的に電源を切るとき。	
		●6H	約6時間以上何も操作をしなかったとき、自動的に電源を切るとき。	
ページ3/3	S-VHS録画 アナログ	切	S-VHSカセットにVHS方式で録画するとき。	–
		●入	S-VHSカセットにS-VHS方式で録画するとき。(通常はこの位置)	
	S-VHS ET録画 アナログ	●切	VHSカセットにS-VHSの画質で録画しないとき。	47
		入	VHSカセットにS-VHSの画質で録画するとき。	
	カラー アナログ	切	白黒録画されているカセットを再生するとき。	–
		●入	通常はこの位置。	
	3次元Y/C	切	動きの速い映像に起こる残像現象をおさえて録画したいとき。	89
		●入	より高画質で録画したいとき。(通常はこの位置)	
	3次元DNR	切	3次元DNRを働かせないとき。	89
		弱	再生映像の輪郭がぼやけるとき。	
		●標準	より高画質で録画したいとき。(通常はこの位置)	
	LS3画質 デジタル	ソフト	[LS3]モードで録画するときに、ソフトな映像で録画したいとき。	89
		●ノーマル	[LS3]モードで録画するときに、通常の画質で録画するとき。	

複数の当社製ビデオを使う（リモコンモード）

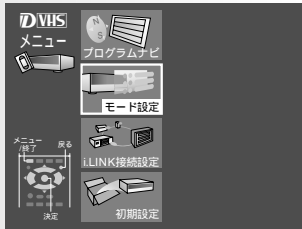
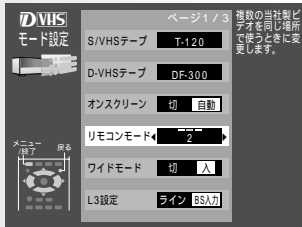
複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機器別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

- 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作すると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。このときは、下記の操作でリモコンモードを変更してください。
- 通常は工場出荷時のまま[リモコンモード1]でお使いください。(当社製ビデオが本機しかないときなど)

準備
- ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[**ビデオ**]にする。
- テレビに本機の画面を出す。(➜**21**)

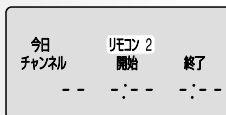
本体のモードを変更する

1 **メニューを押す**

2 **▲(再生) ▼(停止)で[モード設定]を選び、実行/決定を押す**

3 **▼(停止)で[リモコンモード]を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り)で[1]、[2]、[3]のいずれかを選ぶ**

4 **メニューを押す**

リモコンのモードを変更する

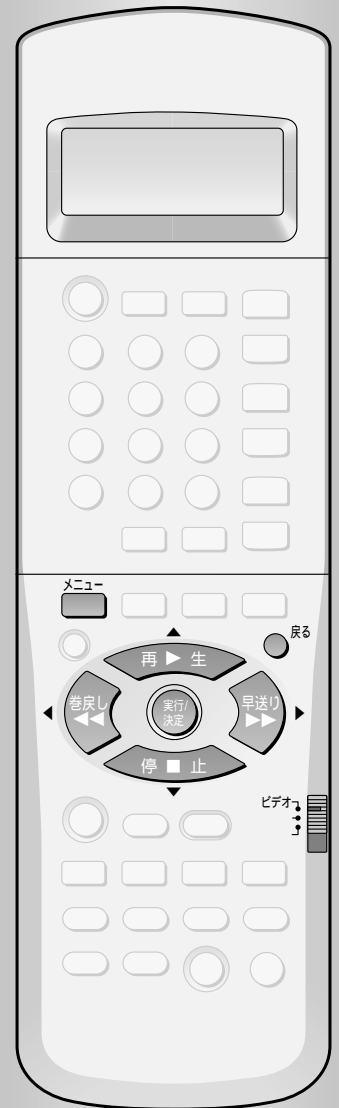
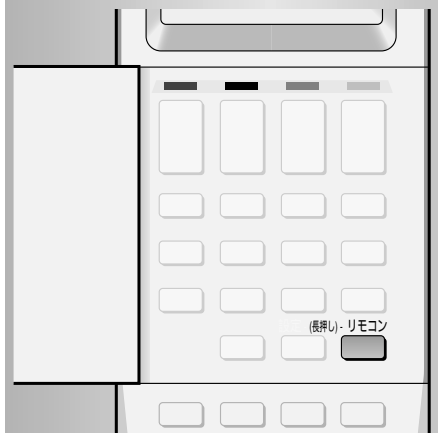
1 **リモコン(長押し)を約2秒以上押し続け、本体のモードと同じ(上記)リモコンモードを選ぶ**

- 押すごとに、“ 1 ”→“ 2 ”→“ 3 ”と変わります。

2 **ふたを閉じる**

■操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

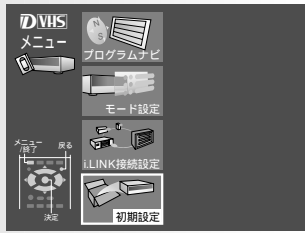
サービス番号
(➜95)

本体側のリモコンモード番号
例：本体側が[1]になっているのに、リモコン側が[2]か[3]になっている

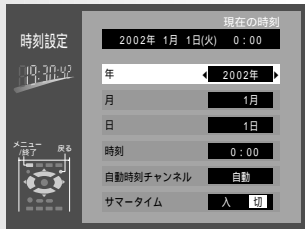
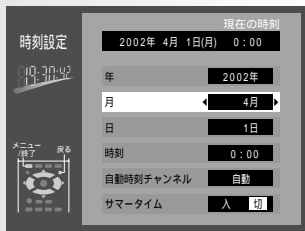
- 本体側とリモコン側のリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに同様の表示が出ることがあります。
このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

■ふたをひらいたところ

時刻が合っていないときは、下記の方法で合わせ直してください。

- ビデオ/テレビ/BS/(CS) を[ビデオ]にする。
- テレビに本機の画面を出す。**(➜21)**

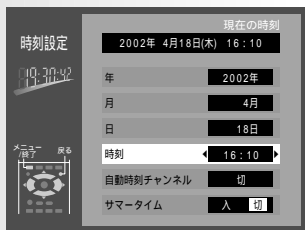
1 メニュー を押す

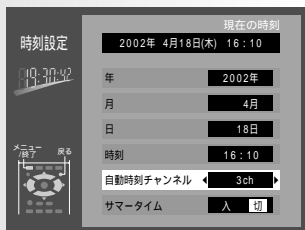
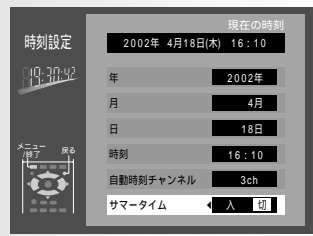
2 ▲(再生) ▼(停止) で[初期設定]を選び、実行/決定 を押す

3 ▼(停止) で[時刻設定]を選び、実行/決定 を押す

4 ◀(巻戻し) ▶(早送り) で[年]を合わせる

- 西暦1997〜2087年までです。

5 ▼(停止) で[月]を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り) で合わせる

6 ▼(停止) で[日]を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り) で合わせる

7 ▼(停止) で[時刻]を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り) で合わせる

- 24時間表示です。
- 押し続けると30分単位で変わります。

8 ▼(停止) で[自動時刻チャンネル]を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り) でNHK教育テレビに合わせる

- 表示チャンネルで合わせてください。

9 ▼(停止) で[サマータイム](➜下記)を選び、◀(巻戻し) ▶(早送り) で設定する

10 メニュー を押す

■1つ前のメニューに戻る

- 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

■自動時刻合わせ機能について

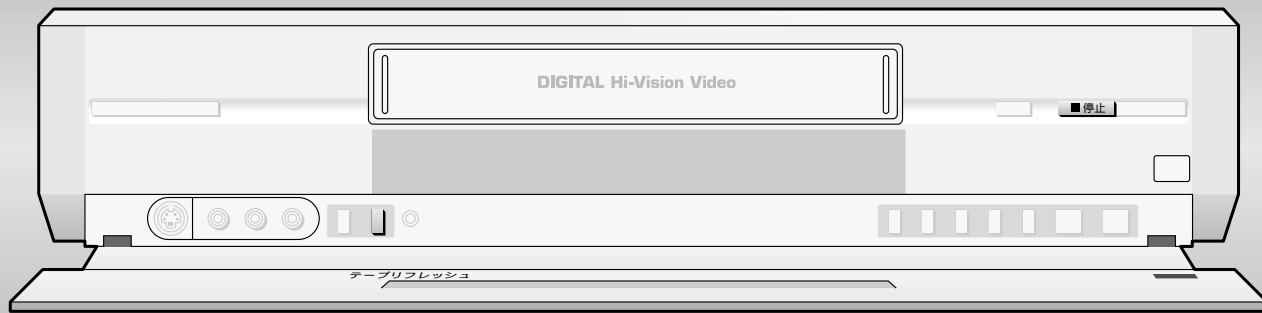
- [自動時刻チャンネル]をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
- 2分以内の誤差が修正されます。
- 次のようなときは働きません。
  - ・[自動時刻チャンネル]を**[ーー]**にしているとき。(自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  - ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  - ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- [自動時刻チャンネル]を**[自動]**にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。(地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

■お願い

- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。
  正規の時報以外に、番組の中で時報が放送されると、“時報”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。
  時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。

■サマータイム機能について

- **[入]**にすると時刻を1時間すすめます。**[切]**にすると元に戻ります。
- 将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は**[切]**にしておいてください。(2002年1月現在)

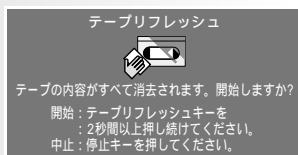
カセットの内容をすべて消す(テープリフレッシュ)

カセットに録画されている内容を一度にすべて消去することができます。
※この操作をすると録画内容(映像、音声、データ、プログラムナビデータなど)はすべて消去され、元に戻すことができません。消去してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

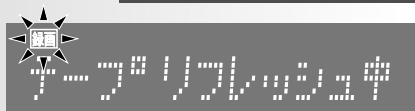
準備 ● ビデオ/テレビ/BS/(CS)を[ビデオ]にする。

1 メニューの[モード設定]→[プログラムナビ]を[入]または[切]にする(➜82)

■**プログラムナビ[入]にして、本機で録画・予約録画したカセット**のときは、[入]にしてください。
■**本機以外の当社製プログラムナビ機能付ビデオで録画・予約録画したカセット**のときは、[切]にしてください。

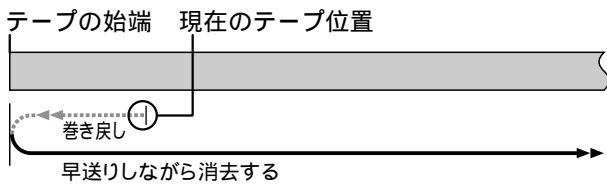
2 テープリフレッシュしたいカセットを入れる

3 本体の、テープリフレッシュを5秒以上押し続ける

4 上記手順3の画面が出ている間にもう一度、テープリフレッシュを2秒以上押し続ける

● テープリフレッシュ動作が始まります。

■途中でやめる

■停止を押す。
● 止めたところまでは消去されています。

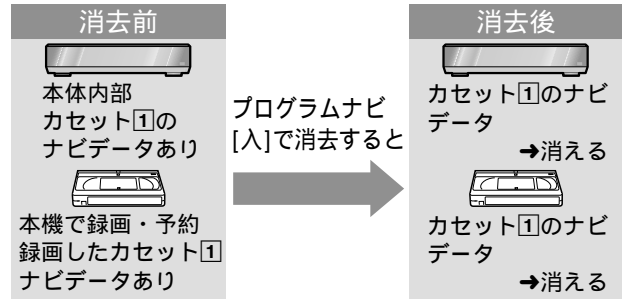
■テープリフレッシュの動作

1. テープを始端まで巻き戻す
2. 始端から早送りしながら、録画された内容を消去していく
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する

- T-120カセットで約17分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットはテープリフレッシュできません。

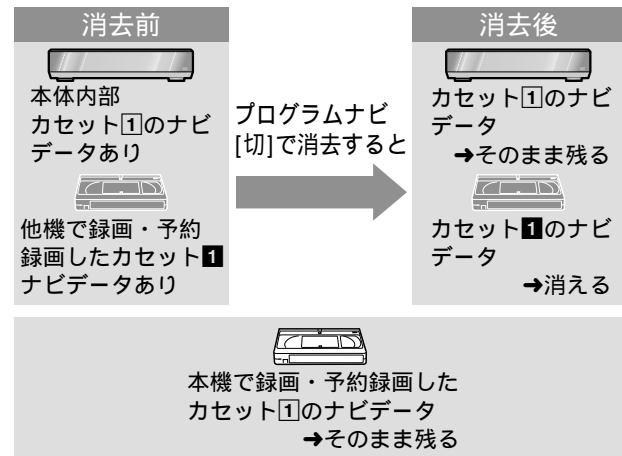
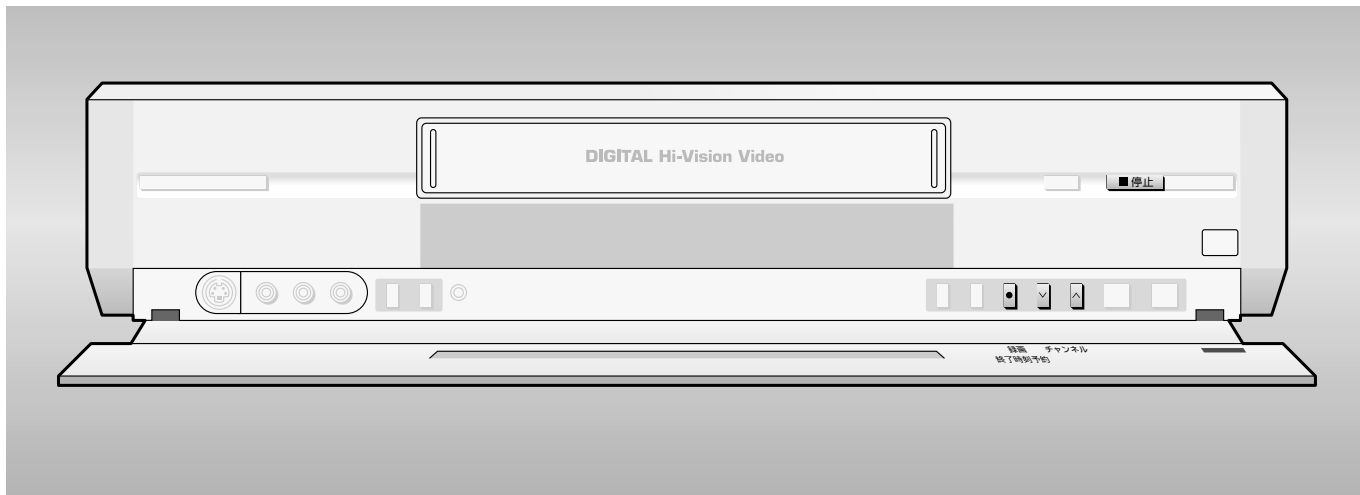
■お願い/ヒント

- メニューの[モード設定]→[S/VHSテープ]、[D-VHSテープ]を正しく合わせておかないと、テープ位置が正しく表示されません。(➜82)
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

■プログラムナビ[入]にして、本機で録画・予約録画したカセットを消去するとき

- 必ず手順1でメニューの[モード設定]→[プログラムナビ]を[入]にしてください。

- [プログラムナビ]を[切]にして消去すると、本体内部は消去したカセットのナビデータが残ったままになってしまいます。

■他機(本機以外の当社製「プログラムナビ機能」付ビデオ)で録画・予約録画したカセットを消去するとき

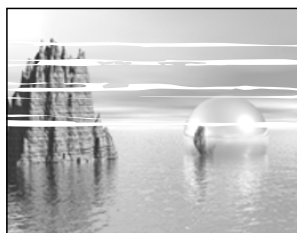
- 必ず手順1でメニューの[モード設定]→[プログラムナビ]を[切]にしてください。

- [プログラムナビ]を[入]にして消去すると、本体内部は本機で録画・予約録画したカセット番号(例では1)のナビデータも消えてしまいます。

再生画面にノイズが出るとき

次の3つの要素が考えられます。

① **トラッキングがずれている**
(モザイク状のノイズが出たり、白い帯状のノイズが出るときなど)
トラッキングを調整してください。(➜右記)

② **ビデオヘッドが汚れている**
(モザイク状のノイズが出たり、画面全体にノイズが出るときなど)
ビデオヘッドクリーナー(別売)で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。(➜右記)

③ **テープがいたんでいる**
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

モザイク状のノイズ

白い帯状のノイズ

画面全体に出るノイズ

①トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

再生中に、

チャンネル［∨］［∧］のどちらかを押し続ける
- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- **チャンネル**［∨］［∧］を2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。

■お願い/ヒント
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- リモコンの**ビデオチャンネル**［∧］［∨］**(トラッキング**［＋］［－］**)**でも同様の調整をすることができます。

アナログ

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に切り換わることがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。

②ビデオヘッドをクリーニングする

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)を入れ、約10秒間録画する
- 約10秒後に［■停止］を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れ、再び再生してみてください。

■お願い/ヒント
- まだノイズが出るときは、もう一度上記の操作を行ってください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

アナログ

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

静止画再生中に、

チャンネル[∨][∧]のどちらかを押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- **チャンネル**[∨][∧]を2つ同時に押すと、元の状態に戻ります。

■お願い/ヒント

- お使いになるテレビによっては、調整しきれないことがあります。
- リモコンの**ビデオチャンネル**[∧][∨]でも同様の調整をすることができます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)
- デジタル再生では働きません。

W3次元機能

ワイドテレビや大画面テレビに対応した、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

■3次元Y/C

メニューの[モード設定]→[3次元Y/C]を[入]にする

- 設定のしかた(➜82)
- 工場出荷時は[入]になっています。

■3次元DNR(ノイズ・リダクション)

メニューの[モード設定]→[3次元DNR]を[標準]にする

- 設定のしかた(➜82)
- 工場出荷時は[標準]になっています。

■3次元Y/C

- 放送局から送られてくる映像信号の「Y信号(輝度信号)」と「C信号(色信号)」とを正確に分離し、ノイズをおさえて、すっきりきれいに録画できます。
- 動きの早い映像を録画するときに起こる残像現象を軽減したいときは、[切]にしてください。
- デジタル、アナログ録画の両方に働きます。
ただし、チューナー(内蔵テレビ)などのi.LINK機器から録画モード[自動]を選んで録画したときは働きません。
- テレビでよりきれいな映像を映し出すための機能ですので、ダビング時に本機を再生側ビデオとして使うときは、[切]にしてください。

■3次元DNR(ノイズ・リダクション)

- アナログ再生時は、テープの映像信号に混入している輝度ノイズ(ちらつき・ざらつき)や、色ノイズ(色にじみ・ざわつき)を取り除き、よりくっきりとしたきれいな映像で再生できます。
- デジタル録画時にも働きます。
ただし、チューナー(内蔵テレビ)などのi.LINK機器から録画モード[自動]を選んで録画したときは働きません。
- 再生映像のりんかくがぼやけるときは、[弱]にしてください。

LS3画質設定

デジタル

録画モード[LS3]にして録画するときに、ソフトな映像で録画することができます。

メニューの[モード設定]→[LS3画質]を[ソフト]にする

- 設定のしかた(➜82)
(工場出荷時は[ノーマル]になっています)

- 通常は[ノーマル]にしてお使いください。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜**107**)にお問い合わせください。

症状	調べるところ・原因・対策	ページ
電源		
電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに操作できない	● 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“予約”が表示されている) →タイマー 切/入 を押し、“予約”表示を消す。	63
	● 各種安全装置が働いていることがあります。 →1. ビデオ電源 を押し、電源を切る。 2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。 3. ビデオ電源 を押し、電源を入れる。(直ることがあります)	—
自動的に電源が切れた	● メニューの[モード設定]→[自動電源切]が[2H]または[6H]になっている。 →ビデオ電源 を押し、電源を入れる。 →[自動電源切]を働かせないようにするには、**[切]**にする。	82
	● 各種安全装置が働いていることがあります。 →ビデオ電源 を押し、電源を入れる。	—
接続・設置		
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	● 本機とテレビに電波を分配したためです。 →ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。 (効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)	—
テレビに本機の画面が出ない	● テレビの入力を切り換えていない。 →[ビデオ1]など、本機を接続した入力に切り換える。	21
カセット		
カセットが入らない	● 電源プラグがコンセントから外れている。	16〜18
	● テープの見える面を上にして入れていない。	36
カセットが取り出せない	● 予約録画の待機中、または実行中になっている。(本体表示窓に“予約”が表示されている) →どうしても取り出したいときは、タイマー 切/入 を押し、“予約”表示を消す。	63
	● 録画中になっている。 →どうしても取り出したいときは、停止■ を押し、録画をやめる。	41・45
	● 各種安全装置が働いていることがあります。 →1. ビデオ電源 を押し、電源を切る。 2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。 3. ビデオ電源 を押し、電源を入れる。 4. ▲取出し を押す。 上記の操作を2〜3回繰り返してみてください。 それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
再生		
BSデジタル放送の番組がデジタル再生できない	● BSデジタルチューナーをお使いの方は、本機とテレビの接続だけでは[自動]モードで録画された番組を見ることはできません。 →チューナーの電源を入れ、テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。	16・34
	● テレビの入力を切り換えていない。 →BS入力を使って録画した番組を見るときは、テレビの入力を本機と接続した入力に切り換える。	34・35
	● 本機以外でデジタル録画されたカセットは、正しく再生できないことがあります。	—
再生映像が出るまで時間がかかる	● [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画した番組は、画面が正常に映るまで多少時間がかかることがあります。	37

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
再　生(つづき)		
再生を停止すると画面が黒くなった	● 再生を停止しても、テレビの入力は「D-VHS(本機)」のまま黒い画面になることがあります。(当社製チューナー内蔵テレビの場合) →テレビが受信しているチャンネルを見るときは、テレビ側で入力を切り換えてください。 本機が受信している地上波(VHF/UHF)チャンネルを見るときは、i.LINK を押して切り換えてください。	35・36
BSデジタル放送を録画したが、 マルチビューが再生できない データが操作できない いろいろな音声言語(マルチ音声)に切り換えできない いろいろな字幕に切り換えできない	● [STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]、[標準]、[3倍]モードで録画したとき(BS入力)は、 ・マルチビューは、録画時に選んでいたチャンネルしか再生できません。 ・データは、再生時に操作できません。 ・マルチ音声は、録画時に選んでいた音声しか再生できません。 ・字幕は、再生時に操作できません。	37
	● 当社製チューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、[マルチビュー録画オン・オフ]設定が「オフ」になっている場合があります。 詳しくは、チューナー(内蔵テレビ)の説明書をお読みください。	―
BS入力を使って[LS3]、[LS5]、[LS7]モードでデジタル録画した番組を再生すると、ノイズが出る	● [LS3]、[LS5]、[LS7]モードで録画する(BS入力)と、多少画質が劣化します。また、動きの早い場面を録画した部分は、モザイク状のノイズが発生することがあります。 動きの早い場面が多い番組(スポーツ・コンサートなど)を録画するときは、[STD]モードをおすすめします。	33
再生していると、とつぜん静止画になることがある	● デジタル再生のときは、録画のつなぎ目部分などを再生すると、正しい画面が出るまで静止画になったり、モザイク状のノイズが出ることがあります。	37
再生できない 再生状態がおかしい	● 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは、再生できません。	32
	● コピーガードがかかっている番組を録画したときは、正常に再生できません。	42・45
早送り(巻き戻し)、静止画、スロー再生が自動的に解除された	● 早送り(巻き戻し)、スロー再生は、約10分で解除されます。静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです)	37
スロー再生できない	● デジタル録画された番組は、スロー再生できません。	37
再生画面にノイズが出る	● トラッキングがずれている。 →調整する。	88
	● テープが古い、またはいたんでいる。	88
	● ビデオヘッドが汚れている。 →ビデオヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。	88
	● ビデオヘッドが磨耗している。 →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。	―
再生画面がブルーバックになる	● テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。	―
	● 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。 →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	―
再生画面が上下にゆれる	● テレビの垂直同期を調整してみる。 (調整方法については、テレビの説明書をお読みください。またはお買い上げの販売店にご相談ください)	―

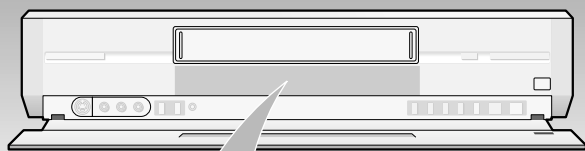
症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
録　画		
録画できない	● カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている、つまみが“ OFF ”側になっている。 →「つめ」の折れていないカセットを使う、“ ON ”側にスライドさせる。	36
BSデジタル放送の番組が録画できない	● 外部BS機器が登録されていない。 →メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BS機器として使う機器を登録する。	22・23
	● チューナー(内蔵テレビ)と正しく接続していない、電源が入っていない。 →正しく接続し、電源を入れる。	16・18
	● チューナー(内蔵テレビ)を選んでいない。 → i.LINK で選ぶ。このあと、録画したいBSデジタルチャンネルを選ぶ。	41・45
地上波(VHF/UHF)放送の番組が録画できない	● 録画したい番組が放送されているチャンネルを選んでいない。 →**ビデオチャンネル** ∧ ∨ (または❶〜⓬)で選ぶ。	43・46
デジタル録画できない	● D-VHSカセットを入れていない。	41
	● 録画モードが[標準]または[3倍]になっている。 →[自動]、[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]のいずれかを選ぶ。	41
	● デジタル録画禁止番組を選んでいる。 →このような番組は録画できません。	42
[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]モードでデジタル録画できない	● D-VHSカセットを入れていない。	41
	● BS入力をするための接続をしていない。 →正しく接続する。	16〜18
	● BS入力を設定していない。 →設定する。	26
アナログ録画できない	● 録画モードが[自動]、[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]になっている。 →[標準]または[3倍]を選ぶ。	45・46
BSデジタル放送をアナログ録画できない	● BS入力をするための接続をしていない。 →正しく接続する。	16〜18
	● BS入力を設定していない。 →設定する。	26
S-VHS録画ができない	● メニューの[モード設定]→[S-VHS録画]が[切]になっている。 →[入]にする。	82
S-VHS ET録画ができない	● メニューの[モード設定]→[S-VHS ET録画]が[切]になっている。 →[入]にする。	47・82
予約録画		
EPG予約を正しくしたのに、予約が実行されない	● 時刻が合っていない。 →時刻を秒まで正確に合わせるには、「自動時刻合わせ」機能を働かせる。(「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)	85
	● BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)とCSデジタルチューナーの両方をi.LINK接続して使っているときは、予約録画が正しく実行されないことがあります。CSデジタルチューナーを使って録画などの操作をしたあとは、CSデジタルチューナー側でi.LINKボタンを押すなどして、本機とのLINC(リンク)を切ってください。(“ i.LINK ”などの表示を消す) 詳しくは、CSデジタルチューナーの説明書をお読みください。	70
Gコード予約ができない	● BSデジタル番組はGコード予約できません。	52
	● ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 →ガイドチャンネルを正しく設定する。	30・31
	● 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。 →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。	30・31
	● 時刻が合っていない。	85

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
予約録画(つづき)		
BSデジタル番組がフリーセット予約できない	● 外部BS機器が登録されていない。 →メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK機器一覧]で、外部BS機器として使う機器を登録する。 当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いのときは、登録したあと正しく動作するか確かめてください。	22・23
BSデジタル番組の予約録画が正しくできない	● 予約の登録をしているとき、または予約録画実行中にチューナー(内蔵テレビ)の主電源が切れている、または「スタンバイ」になっている。 →必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておく。主電源が切れていたり、「スタンバイ」になっていると、予約の登録や実行はできません。 →当社製以外のチューナー(内蔵テレビ)をお使いになると、操作方法が異なり正しく予約録画できないことがあります。 お使いの機器の説明書をお読みください。	50・56
予約録画が正しくできない	● 予約内容(予約チャンネルや開始、終了時刻など)が間違っている。 →予約内容を確認し、間違っているときは修正する。 (ただし、BSデジタル番組をEPG予約・フリーセット予約したときは修正できませんので、間違っている予約を取り消したあと、予約し直してください)	62・63
	● 予約録画の待機状態になっていない。 (本体表示窓に“ 予約 ”が表示されていない) → タイマー 切/入 を押し、“ 予約 ”を表示させる。	63
	● 予約録画の時間帯が重なっている。 →予約一覧画面の中に、重(重複)マークの付いているものは、正しく実行されません。重ならないように予約してください。	100
	● コピーガードのかかった番組、デジタル録画禁止の番組を予約している。 →予約はできますが、録画はできません。	42・45
	● 時刻が合っていない。	85
リモコンでフリーセット予約をして転送したが受け付けない	● ビデオ/テレビ/BS/(CS) が[**ビデオ**]になっていない。	12
	● 再生など、本機が動作中のときは停止状態にする。	—
予約の修正・取り消しができない	● 予約一覧画面に i マークが付いている予約(EPG予約)や、BSデジタル番組のフリーセット予約は修正できません。 修正したい予約は取り消し、もういちど予約し直してください。	62・63
	● EPG予約した番組は、本機では取り消しできません。 取り消すときは、予約した機器側で行ってください。	62
停止■ を押しても、予約録画が終わらない	● タイマー 切/入 を押し、本体表示窓の“ 予約 ”を消す。 (録画をやめ、電源が入ったときの状態になります)	63
予約録画中に電源が切れた	● テープの終端になると、途中でも録画を終了し電源を切ります。 →予約した番組よりも余裕のあるカセットを入れておく。	—
予約録画が終わっても、予約内容が消えない	● 毎日・毎週予約のときは消えません。	56・58
編　集		
ダビングできない	● 正しく接続していない。	64~68
	● 録画機側で、再生機として接続したi.LINK機器または外部入力チャンネルを選んでいない。 →再生機として接続したi.LINK機器または外部入力チャンネルを選ぶ。	64~68
	● DV機器からダビングしようとしている。 →DV機器は、i.LINK接続してもダビングできません。	64
	● コピーガードのかかっているものは、デジタルでダビングすることはできません。	64
本機を再生機にしてダビングすると、画質が劣化した	● メニューの[モード設定]→[3次元Y/C]が[入]になっている。 →[切]にする。	89

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
編　集(つづき)		
ダビング後の映像が、乱れたり色合いが悪くなったりする	● コピーガードがかかっている。 →市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった映像は正しく録画できません。	68
黒い帯状のノイズが録画された	● 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。 →再生側のビデオをテレビから離す。	68
表　示		
テープカウンター表示の値が動かない	● テープの未録画部分では、値は動きません。 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、カウンターの値が動かないことがあります。 このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
音　声		
聞きたい音声が聞こえない	● 音声を選んでいない。 →音声切換を数回押し、聞きたい音声を選ぶ。	75
聞きたい音声が選べない	● BSデジタル放送をBS入力で録画した。 →複数音声の番組をBS入力でデジタル(またはアナログ)録画しても、録画時に選んでいた音声しか再生できません。	37
音声がステレオではない	● ステレオ音声を選んでいない。 →音声切換を数回押し、本体表示窓に“ 左右 ”を表示させる。	75
ステレオ音声がブツブツと聞こえる	● トラッキングがずれている。 →トラッキング調整をする。 ● 再生中のテープがいたんでいる。	88 —
i.LINK		
i.LINK機器からの映像が出ない	● 正しく接続していない。 ● 正しく登録できていない。 →すべてのi.LINKケーブルを外し、メニューの[i.LINK接続設定]→[i.LINK全登録消去]を行ったあと、登録したい順番にi.LINKケーブルを接続し直す。 ● DV機器を接続している。 →DV機器は、接続しても映像は出ません。	16~18 24 99
i.LINK機器が選べない	● 接続している機器側から本機がLINC(リンク)されている。 →本機で他のi.LINK機器を選びたいときは、現在本機を選んでいる機器側でLINC(リンク)を切る。 ● 本機または接続しているi.LINK機器に異常がある。 →接続しているi.LINK機器の主電源を切/入してみる。 →本体のリセット(システムリセット)や、接続しているi.LINK機器のリセットボタンを押してみる。	103 —
i.LINK機器一覧画面の接続状態が“ − ”になっている	● 正しく接続していない、または機器の主電源が切れている。 →正しく接続する、または主電源を入れる。 (“ − ”が“ ○ ”になれば、その機器が使えるようになります)	16~18 22
ビデオチャンネルの切り換え時に、テレビ画面が一瞬静止画になる	● チューナー(内蔵テレビ)側で本機の受信チャンネルを切り換えると、画面が一瞬静止画になることがあります。	—
チューナー内蔵テレビを使ってBSデジタル番組を録画中、テレビ側で地上波(VHF/UHF)チャンネルに切り換えると、そのあと録画されていなかった	● チューナー内蔵テレビによっては、録画中に地上波(VHF/UHF)チャンネルに切り換えると、本機にBSデジタル番組の信号が入力されなくなる機種があります。 →本機でBSデジタル番組を録画しながら、テレビで別の番組を見たいときは、予約録画の操作をしてください。	40・44

症 状	調べるところ・原因・対策	ページ
リモコン		
本機が操作できない	● ビデオ/テレビ/BS/(CS)が[ビデオ]になっていない。	12
	● 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“ 予約 ”が表示されている) →タイマー 切/入を押し、“ 予約 ”表示を消す。	63
	● 本体とリモコンモードが合っていない。 →リモコンモードを合わせ直す。	84
	● 電池が消耗している。 →新しい電池と交換する。 (リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)	15
	● 本体のSENSOR(リモコン受信部)に向けて操作していない。	15
	● リモコンと本体の間に障害物などがある。	15
テレビが操作できない	● ビデオ/テレビ/BS/(CS)が[テレビ]になっていない。	13
	● メーカー番号が合っていない。 →正しい番号に合わせる。 (メーカーや機種により、操作できないことがあります)	20
BSデジタル/CSデジタルチューナーが操作できない	● ビデオ/テレビ/BS/(CS)が[BS/(CS)]になっていない。	14
	● メーカー番号が合っていない。 →正しい番号に合わせる。 (メーカーや機種により、操作できないことがあります)	21・71

故障かな?の表の処置をしても直らないときは、本体のリセット(システムリセット)を先の細いもので軽く押してみてください。
● それでも直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜**107**)にお問い合わせください。

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
● 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下表のサービス番号を表示します。
● サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

サービス番号	本機の状態	対応のしかた	ページ
U11	ビデオヘッドが汚れている	● ビデオヘッドをクリーニングする。	88
U30	リモコンモードが合っていない	● リモコンモードを合わせる。	84
H□□ F□□	**異常と思われます** (H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)	●「故障かな?」の項目に従って点検してください。 それでもサービス番号が消えないときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。 なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。	90〜95

メッセージ表示一覧

テレビ画面や本体表示窓にメッセージが表示されたときは、下表を参考にしてください。

テレビ画面メッセージ	対応のしかた	ページ
準　備		
接続をご確認ください。	● 正しく接続できていない。 →i.LINKケーブルの接続を確かめる。	16~18
登録の変更ができません。 BS予約が存在します。 BS予約を取り消してから、再度行ってください。	● 現在外部BS機器登録されている機器にBSデジタル番組の予約がある。 このときは、他の機器に外部BS機器登録を変更することはできません。 →外部BS機器にある予約をすべて取り消す。	23
i.LINK入力中のため、設定の変更ができません。 VHF/UHFチャンネルに切り換えて、再度行ってください。	● 本体表示窓に“ d1(例) ”など、変更したい機器のi.LINK機器番号が表示されているときは、変更できません。 → i.LINK を押し、地上波(VHF/UHF)放送を受信している状態にする。	23
再　生		
BSデジタル信号です。 テレビ・チューナーの設定を変えてください。	● 正しく接続していない。BSデジタルチューナーをお使いの方は、本機とテレビを映像・音声コードで接続しても、[自動]モードで録画された番組の再生映像を見ることはできません。 →正しく接続し、テレビの入力をチューナーと接続した入力に切り換える。	16・34
録　画		
D-VHSテープを入れてください。	● D-VHSカセットが入っていない。 →デジタル録画するときは、D-VHSカセットを入れる。	41
録画できません。 BS入力の設定を行ってください。	● BS入力を設定していない。BSデジタル番組を[自動]モード以外([STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]、[標準]、[3倍])で録画するには、BS入力の設定が必要です。 →メニューの[モード設定]→[L3設定]を[BS入力]にする。	26
予約録画		
外部BS機器が登録されていません。	● 外部BS機器が登録されていない。 (i.LINK機器一覧画面にBSマークが表示されていない) このままでは、BSデジタル番組の録画・再生はできません。 →外部BS機器を登録する。	22・23
予約できません。 CH設定をご確認ください。	● 受信チャンネルが正しく設定されていない。 →正しく設定し直す。	27~31
予約できません。 d○ ○○○(機器名) ○○○(機種名)の電源を入れ、接続をご確認ください。	● 予約の登録をしているときにチューナー(内蔵テレビ)の主電源が切れている、または「スタンバイ」になっている。 →必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておく。主電源が切れていたり、「スタンバイ」になっていると、予約の登録はできません。	50・56
予約内容に間違いがあります。 Gコードをご確認ください。	● Gコード予約の際、正しい番号を選んでいない。 →正しく番号を押す。	52
L3設定を確認してください。 または **予約できません。 L3設定をご確認ください。**	● BS入力を設定していない。BSデジタル番組を[自動]モード以外([STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]、[標準]、[3倍]、[標3(標準3倍)])で予約録画するには、BS入力の設定が必要です。 →メニューの[モード設定]→[L3設定]を[BS入力]にする。	26
カセットを確認してください。	● D-VHSカセットが入っていない。 →デジタルで予約録画するときは、D-VHSカセットを入れる。	50~57
L3設定とカセットを確認してください。	● BS入力を設定していない。D-VHSカセットが入っていない。 →メニューの[モード設定]→[L3設定]を[BS入力]にする。 デジタルで予約録画するときは、D-VHSカセットを入れる。	26 50~57

テレビ画面メッセージ	対応のしかた	ページ
予約録画(つづき)		
予約が重複しています。	● 予約一覧画面で重(重複)マークの付いた予約は、正しく実行できません。 →重複している不要な方の予約を取り消す。	62･100
予約がいっぱいです。	● すでに40番組が予約されている。 →不要な予約は取り消す。	62
BS予約を修正することはできません。取り消してから、再度予約してください。	● BSデジタル番組をフリーセット予約したときは修正できません。 →修正するときは、いちど予約を取り消してから再度予約し直す。	62
予約取り消しできませんでした。d○ ○○○(機器名) ○○○(機種名)の電源を入れ、接続をご確認ください。	● BSデジタル番組のフリーセット予約取り消し操作中に、チューナー(内蔵テレビ)の主電源が切れている、または「スタンバイ」になっている。 →必ずチューナー(内蔵テレビ)の電源を入れるか、機能待機状態にしておく。主電源が切れていたり、「スタンバイ」になっていると、予約の取り消しはできません。	—
予約取り消し・修正するときはd○ ○○○(機器名) ○○○(機種名)で、行ってください。	● BSデジタル番組をEPG予約した番組は、本機では取り消し・修正できません。 →取り消すときは、予約した機器側で操作する。また、修正するときは予約した機器側でいちど予約を取り消してから再度予約し直す。	62
他の機器からリンクされています。	● 使いたいi.LINK機器とは別のi.LINK機器からLINC(リンク)されている。 (このままでは、目的の機器は使えません) →LINCしている機器側で、本機とのLINCを切る。	70
テープリフレッシュ		
テープが入っていません。	● カセットを入れる。	36
つめ折れテープが入っています。	● カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている、つまみが“ OFF ”側になっている。 →「つめ」の折れていないカセットを使う、“ ON ”側にスライドさせる。	36

本体表示窓メッセージ	対応のしかた	ページ
コピーガード	● 番組にコピーガードがかかっている。 →このような番組は録画できません。録画中、予約録画実行中に検知すると、数十秒間録画したあと自動的に停止します。	42
FULL	● すでに40番組が予約されている。→不要な予約は取り消す。	62
i.LINKエラー1または i.LINKオフ	● i.LINK機器が正しく接続されていないか、機器の電源が入っていない。 →正しく接続し、電源を入れる。	99
i.LINKエラー2	● i.LINKを使っている機器が多すぎる。(i.LINKのデータ容量オーバー) →使わない機器の電源を切る。 →接続しているi.LINK機器の主電源を切/入してみる。 →本体の リセット (システムリセット)や、接続しているi.LINK機器のリセットボタンを押してみる。	—
i.LINKサーチ	● 接続されている機器の情報を取得中です。 →しばらく待つ。	—
i.LINKシヨウチュウデス	● 接続されている機器側から本機がLINC(リンク)されている。 →本機で他の機器を選びたいときは、接続されている機器側で本機とのLINCを切る。	70
i.LINKナシ	● 選んだ機器が登録されていない。 →もう一度i.LINKケーブルを正しく接続し直す。	16～18

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、この表を参考にしてください。

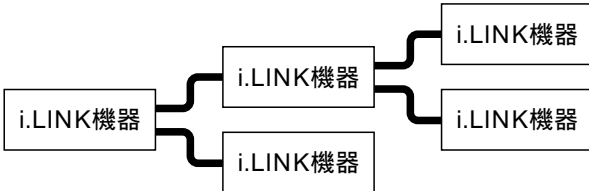
Q	A	ページ
接　続		
モノラルテレビと接続したいが?	● ステレオ←→モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。	104
映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは?	● プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。 (**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声)	ー
本機だけでBSデジタル放送は受信できるか?	● できません。チューナー(内蔵テレビ)との接続が必要です。	16~18
データ転送速度がS200対応の機器でも本機に接続できるか?	● できます。ただし、転送速度は200 Mbpsとなります。	99
再　生		
海外で録画したカセットを再生できるか?	● NTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。	ー
デジタル録画したD-VHSカセットは、他のVHSビデオで見られるか?	● できません。 D-VHSカセットにデジタル録画した番組は、D-VHSビデオでのみ見ることができます。	ー
他のVHSビデオで録画したカセット(レンタルソフトも含む)は見られるか?	● 従来のビデオと同様に見ることができます。	ー
録　画		
BSデジタルのハイビジョン番組をデジタルで長時間録画したい	● 録画モードを[STD]、[LS3]、[LS5]、[LS7]にすると、デジタルで長時間録画できるようになります。 例：DF-300カセットを使用した場合、[STD]で約5時間、[LS3]で約15時間、[LS5]で約25時間、[LS7]で約35時間録画できます。 →BS入力の接続と設定をしてください。	16・18 26・33
音声多重放送を録画中に音声を切り換えて聞くことはできるか?	● 本機のチューナーで録画中、または外部入力(BS入力)を録画中はできます。 →**音声切換**で聞きたい音声を選んでください。	75
VHSカセットにデジタル録画できるか?	● できません。 D-VHSカセットをお使いください。	32
D-VHSカセットにアナログ録画できるか?	● できます。	32
予約録画		
予約録画が始まるまでの間、他のカセットを見ることができるか? 予約録画の待機中に、カセットを入れ替えることができるか?	● 予約録画の待機状態を解除しないとできません。 →**タイマー 切/入**押し、本体表示窓の“ 予約 ”表示を消してから操作してください。	63
チューナー(内蔵テレビ)の電源は入れなくてもいいのか?	● BSデジタル番組の予約操作時と予約録画実行前・実行中は、「入」または「機能待機」状態にしておいてください。	50・56
BSデジタル放送をGコード予約したいが?	● できません。BSデジタル番組にはGコードはありません。 EPG予約またはフリーセット予約をしてください。	51・56
編　集		
デジタルビデオカメラとi.LINK接続してダビングできるか?	● できません。デジタルビデオカメラ(DVフォーマット)と本機はフォーマットが異なるため、再生映像を映すことができません。 アナログ→デジタルまたはアナログ→アナログでダビングしてください。	65・68

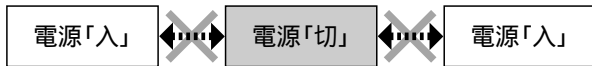
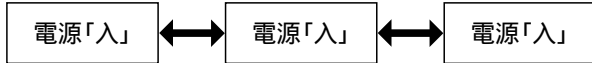
i.LINK接続について

本機は、i.LINK対応機器を15台まで登録できます。
接続した順番にi.LINK機器番号を付けていきますので、登録したい順番に接続してください。
i.LINK機器は、デイジー・チェーン(下図Ⓐ)、またはノード分岐(下図Ⓑ)で接続してください。

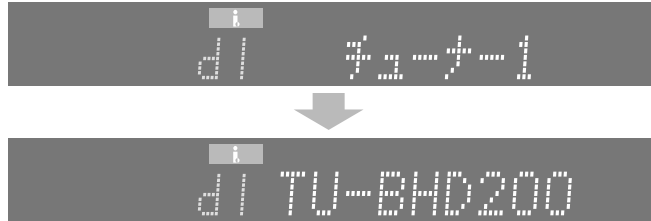
- ループ(下図Ⓒ)にならないようにしてください。

■よい例…デイジーチェーン(図Ⓐ)

■よい例…ノード分岐(図Ⓑ)

■悪い例…ループ(図Ⓒ)

- チューナーなど一部の機器では、電源が切れているとデータを中継しないことがあります。(下図)
  接続する機器の説明書もお読みください。

- 本機後面のi.(TS)(i.LINK入出力)端子の最大データ転送速度は400 Mbpsです。
  ただし、転送速度の異なる機器を接続したときは、転送速度が遅くなることがあります。
- i.LINKケーブル(別売)は、4ピンタイプで、S400対応ものをお使いください。
- DV機器に付属のDVケーブル、当社製DVケーブルVW-CD1、市販のDV用ケーブルは、S100対応のため使えません。
- DV機器は、i.LINK接続してもフォーマットが異なるため、ダビングやデータのやりとりはできません。
- i.LINK機器を使っての録画・予約録画中や再生中に、他の使っていないi.LINK機器の電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差しすると、映像・音声がとぎれることがあります。
  録画・予約録画中や再生中は、使っていない機器でも電源を切ったり、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- チューナー(内蔵テレビ)など、接続したi.LINK機器側から本機の映像をご覧になるときは、本機のオンスクリーン表示は出ません。
- i.LINK機器は、同一機種であっても1台1台に個別のID番号が設定されています。
  たとえばもう1台同じ機種を増設(または交換)を行っても別の機器として追加登録されます。
- **BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)以外にも、CSデジタルチューナーなど、複数のi.LINK機器を接続しているとき**
  CSデジタルチューナーを使ったあとは、必ずCSデジタルチューナー側で本機とのLINC(リンク)を切っておいてください。

i.LINK機器の表示について

i.LINK でi.LINK機器を選ぶと、本体表示窓に以下のような表示が出ます。

例) **d1** ……………………i.LINK機器番号
チューナー1 ………機器名と連番
TU-BHD200 ……機種名
(機器名と連番が表示されたあと、機種名がスクロール表示されます)

■i.LINK機器番号

- 接続した順番に機器番号を付けて登録します。
  最大15台まで登録できます。
- 本体表示窓には、"**d○○**"と表示されます。
  d1〜d15：本機に登録している機器を選んでいます。
  d16：本機に登録していない機器からLINC(リンク)されています。
  d−−：選んでいる機器はありません。
- BS入力(➜**26**)を使って録画すると、本体表示窓はi.LINK機器番号のままですが、実際は外部入力3(L3)(BS入力)端子から映像・音声を入力しています。

■機器名と連番

- 選んでいる機器の種類を表示します。
  D-VHS：D-VHSビデオなど
  チューナー：BSデジタルチューナー、CSデジタルチューナーなど
  テレビ：BSデジタルチューナー内蔵テレビなど
  HDR：当社製ハードディスクビデオレコーダー
  その他：その他の機器(DV機器など)
- 同じ種類の機器との接続が増えていくごとにD-VHS1、D-VHS2…のように連番が変わります。

■機種名

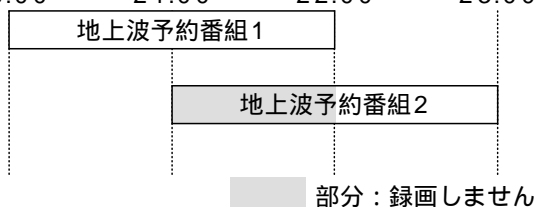
- 選んでいる機器の品番を表示します。
  機器によっては表示されないことがあります。

予約録画の重複について

予約録画の時間帯が重複すると、本機の予約一覧画面に重マークが表示されます。(➜62)
このマークの付いている予約は正しく実行されません。

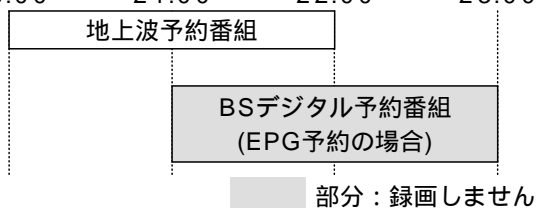
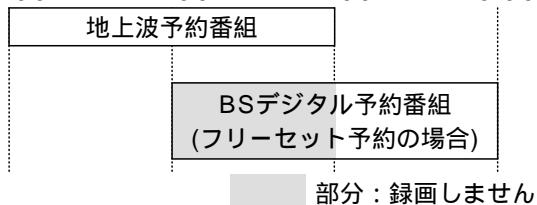
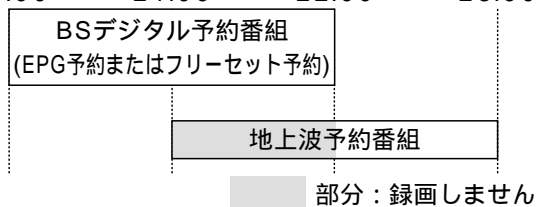
- 地上波(VHF/UHF)番組の予約どうし、BSデジタル番組の予約どうし、それぞれの予約が重複した場合など、条件によって実行のしかたが異なります。

■地上波(VHF/UHF)番組どうしの予約が重なったとき

- 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。

■地上波(VHF/UHF)番組の予約と、BSデジタル番組の予約が重なったとき

- 本機で優先順位を付け、どの予約を優先して実行するかを決めます。優先順位の低い予約は正しく実行されません。優先順位は以下の通りです。

❶ **開始時刻が早い予約**

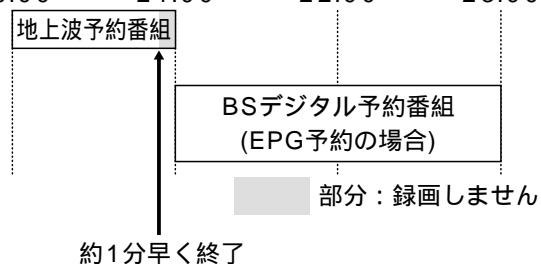
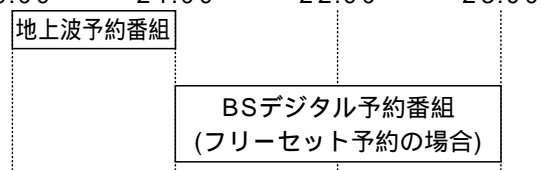
- **地上波(VHF/UHF)番組の方が早い場合**

- **BSデジタル番組の方が早い場合**

❷ **同一開始時刻のとき**

放送種類別の優先順位は以下の通りです。

1. BSデジタル番組など、i.LINK機器の予約
2. 地上波(VHF/UHF)番組の予約
3. CATV番組の予約
4. 外部入力チャンネルからの予約

(同一放送種別のときはチャンネル番号が小さいほうを優先)

■地上波(VHF/UHF)番組の終了時刻と、BSデジタル番組の開始時刻が同じとき

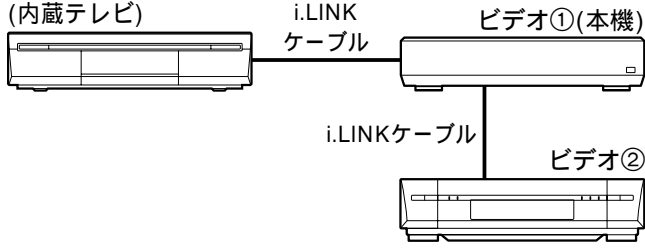
- 地上波(VHF/UHF)番組の直後が、EPG予約したBSデジタル番組の場合は、地上波番組の予約録画を約1分早く終了させます。

- 地上波(VHF/UHF)番組の直後がフリーセット予約したBSデジタル番組の場合は、予約したとおり実行されます。

■BSデジタル番組のEPG予約どうしが重なったとき

- 正しく予約録画を実行できません。
  このときは、
  1. 重複しているEPG予約をチューナー(内蔵テレビ)側ですべて取り消す
  2. BSデジタル番組のフリーセット予約(➜56)を使って、時間が重ならないように予約し直す

  または、
  1. 重複している片方のEPG予約をチューナー(内蔵テレビ)側で取り消す
  2. 取り消した方の予約をBSデジタル番組のフリーセット予約(➜56)を使って、時間が重ならないように予約し直す
     - フリーセット予約が先で、EPG予約が後になるときは、フリーセット予約の方をEPG予約が始まる最低1分前までに終わるように予約してください。

2台のD-VHSビデオを接続したときの予約録画について

BSデジタルチューナー (内蔵テレビ)　i.LINKケーブル　**ビデオ①(本機)**

i.LINKケーブル　**ビデオ②**

1台のチューナー(内蔵テレビ)でビデオ①と②の両方に予約できます。
ただし、重複しないように予約してください。
また、番組の予約終了時刻と別の番組の予約開始時刻が同一のときは、以下のことにお気を付けください。

- **フリーセット予約が先でEPG予約が後になるとき**
  例：番組Aをビデオ①で10時00分～12時00分まで
  フリーセット予約し、
  番組Bをビデオ②で12時00分～13時00分まで
  EPG予約したとき
  →このままでは番組Bは予約録画できません。
  番組Aの予約終了時刻を11時58分か59分に設定してください。(最低1分前までに終わるように設定する)
- **EPG予約が先でフリーセット予約が後になるとき**
  例：番組Aをビデオ①で10時00分～12時00分まで
  EPG予約し、
  番組Bをビデオ②で12時00分～13時00分まで
  フリーセット予約したとき
  →両方とも正常に予約録画できます。
- **フリーセット予約どうしのとき**
  例：番組Aをビデオ①で10時00分～12時00分まで
  フリーセット予約し、
  番組Bをビデオ②で12時00分～13時00分まで
  フリーセット予約したとき
  →両方とも正常に予約録画できます。
- **EPG予約どうしのとき**
  例：番組Aをビデオ①で10時00分～12時00分まで
  EPG予約し、
  番組Bをビデオ②で12時00分～13時00分まで
  EPG予約したとき
  →このままでは番組Bは予約録画できません。
  番組AのEPG予約を取り消し、フリーセット予約で10時00分～11時58分か59分に予約し直してください。(最低1分前までに終わるように設定する)

データ放送の録画について

- 録画される番組によっては、正しくデータが録画・再生できない場合があります。
  - ・放送局から複数チャンネルにわたってデータが送られているとき。(録画時に選んでいたチャンネルのみ録画されますので、再生時は他のチャンネルを見ることができません)
  - ・録画時間が短く、必要なデータすべてが録画されていないとき。
  - ・双方向(放送またはサービス)の中で、ストーリーの選択肢が用意されている番組のとき。(番組欄に 双 マークの付いているもの)
- 録画・再生できたデータでも、データ量が多いときは、表示されるまで時間がかかることがあります。
- 番組によっては、早送り/巻き戻し再生すると映像が出ないことがあります。

BSラジオ放送について

- 著作権保護のため、デジタル録画禁止番組はデジタル録画できません。(このときは、録画中に本体表示窓の“ i ”は点灯しません)
- 番組によっては、早送り/巻き戻し再生すると映像が出ないことがあります。

BSデジタル番組のデジタル高画質(ハイビジョン画質)録画・再生について

	BSデジタルチューナーを使った場合		BSデジタルチューナー内蔵テレビを使った場合	
	録　画	再　生	録　画	再　生
フリー録画番組 (アイコン表示なし)	1125i	1125i	1125i	1125i
1回のみデジタルコピーが可能な番組＊1(デジタル 1COPY ＊2アイコンあり)	1125i	1125i	1125i	1125i
デジタル録画禁止番組 (デジタル × COPY ＊2アイコンあり)	不　可＊3		不　可＊3	

(1125i＝ハイビジョン画質)

＊1 著作権者の要望により、D-VHSビデオ(本機)などのデジタル録画機器で1回だけデジタル録画できますが、録画したものをデジタル再生して、他の録画機器に高画質で録画(コピー)することを禁止している番組のことです。
このような番組は、コピー制限する信号が同時に送られてきます。
＊2 アイコン表示は、当社製BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)の表示例です。
＊3 当社製BSデジタルチューナー(内蔵テレビ)をお使いの場合は、BS入力(➔26)を設定をしているとき、自動的にアナログで録画されます。(EPG予約したときのみ。フリーセット予約したときは録画できません)

- BSデジタルチューナーおよびBSデジタルチューナー内蔵テレビは、ARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は、商品仕様が変更になることがあります。

東芝製BSデジタルハイビジョンチューナー (32/36D2000、50P2000、TT-D2000) をお使いの方

■東芝製チューナー側の設定
- [i.LINK機器の登録]で本機を登録してください。

■EPG予約するために
1. 東芝製チューナー側で[録画機器の設定(または録画用D-VHSの設定)]を行ってください。
2. 東芝製チューナーの番組表から録画予約を行ってください。
   - フリーセット予約(下記)と録画時間帯が重複したり、連続しないように予約してください。

■フリーセット予約するために
1. 東芝製チューナー側の[外部機器からの制御]設定で、[モード2]を選んでください。
2. 本機でフリーセット予約の設定を行ってください。
   - 予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してBSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。予約終了時刻になると、録画を終了します。

■録画したBSデジタル番組を再生するために
- 東芝製チューナー側のi.LINKボタンを押し、本機を選んでください。本機の映像を見ることができるようになります。

東芝製BSデジタルハイビジョンチューナー (28/32/36D2500、42/50P2500) をお使いの方

■東芝製チューナー側の設定
- [i.LINK機器の登録]で本機を登録してください。
- 初期設定状態では[登録モード設定]が自動となっており、この登録は自動的に行われます。
  [登録モード設定]が手動の場合は設定してください。

■EPG予約するために
1. 東芝製チューナー側の[i.LINK機器の登録]で本機を録画機器に設定してください。
2. 東芝製チューナーの番組表から録画予約を行ってください。
   - フリーセット予約(下記)と録画時間帯が重複したり、連続しないように予約してください。

■フリーセット予約するために
1. 東芝製チューナー側の[外部機器からの制御]設定で、[あり]を選んでください。
2. 本機でフリーセット予約の設定を行ってください。
   - 予約開始時刻になると、本機がi.LINKケーブルを通してBSデジタルチャンネルの選局を行い、録画を開始します。予約終了時刻になると、録画を終了します。

■録画したBSデジタル番組を再生するために
- 東芝製チューナー側のi.LINKボタンを押し、本機を選んでください。本機の映像を見ることができるようになります。

■BSデジタル放送

デジタル信号の圧縮技術によって、従来のアナログBS放送よりも多くの情報を送ることができるようになりました。次のような特長があります。

- **降雨対応放送**
  衛星放送は、雨の影響で電波が弱くなったときに、急激に画質が劣化することがあります。
  BSデジタル放送では、最低限必要な情報は、電波が弱くなっても受信できるようなデータを送ることがあります。降雨対応放送が行われているときに電波が弱くなると、引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。
  降雨対応放送に切り換わったときは、約3秒間「降雨対応放送に切り替わりました」とメッセージが表示されます。
  降雨対応放送になると、画質・音質が悪くなる、番組情報などのデータが表示されなくなる、映像が縮小したり静止画になる…などの現象が起こることがあります。

- **サラウンド・ステレオ**
  AAC方式の音声により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組が行われ、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
  ただし、AAC方式の音声に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
  [5.1チャンネル：5チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

- **多チャンネル放送**
  デジタル信号の圧縮技術により、チャンネル数が大幅に増えました。
  BSデジタル放送では、従来のアナログBS放送の1チャンネル分に対し、デジタルハイビジョン放送の場合で2チャンネル分、デジタル標準テレビ放送の場合で6チャンネル分の放送が行えます。
  この他に、ラジオ放送、データ放送もあります。

- **データ放送**
  お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。
  例えば、住んでいる地域の天気予報をいつでも表示させることができます。
  また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。
  この他に、電話回線を利用した視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

- **デジタルハイビジョン**
  従来のハイビジョン放送(BS-9チャンネル)と同等の画質で放送されます。
  走査線数は、地上波(VHF/UHF)放送の525本と比べ、1125本もあります。このため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。
  デジタルハイビジョン放送の画質で映像を楽しむためには、デジタルハイビジョン対応のテレビに接続する必要があります。なお、デジタルハイビジョン放送に対応していないテレビでも、接続されるテレビに応じた画質で映像を楽しむことはできます。
  現行のテレビ放送とほぼ同じ画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

● **マルチビュー放送**
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球中継の場合、主番組は通常の実況、副番組でそれぞれのチームをメインにした実況が行われる予定です。

● **EPG(Electronic Program Guide)：電子番組ガイド**
約8日分の番組情報が送られてきますので、テレビ画面上に番組表として表示させることができます。
番組表から見たい番組を直接選ぶ、好きなジャンルの番組を検索する、番組の詳細情報を表示させる、番組の予約(EPG予約)をする、などの操作ができます。

■D-VHS(データVHS)方式

● 家庭用ビデオの世界標準方式といわれるVHS方式を基盤にした、マルチメディア時代の新しいVHSフォーマットです。
現行のVHS方式の機能に加え、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録する方式を採用しています。

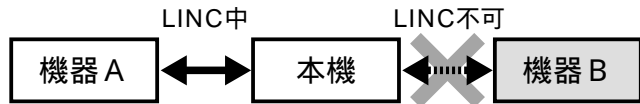
■ D-VHS MTP NTSC マーク

● D-VHS方式は「MPEG2 Transport Packet」規格で、VHS方式は「NTSC」規格という意味です。

■i.LINK

● デジタル映像やデジタル音声などのデータを複数のi.LINK機器間で双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルインターフェースIEEE1394*の呼称です。
● 現在、100 Mbps、200 Mbps、400 Mbpsの転送速度があります。
転送速度はi(i.LINK)端子の周辺に“S100”、“S200”、“S400”というような表示があります。
本機は最大400 Mbpsの転送が可能なため、“S400”と表示されています。
● 直接接続した機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。
ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。
＊ IEEE1394は、米国電気電子技術者協会(IEEE)が提唱している高速インターフェースの規格です。

■LINCする

● Logical Interface Connectionの略です。
● i.LINK対応機器の中には、デジタル映像やデジタル音声などのデータをやりとりしたり、他機器をコントロールする際に、i.LINKケーブルで接続された機器の中から「相手機器を1台選ぶ」という操作が必要な機器があります。
●「LINCする」とは、「相手機器を1台選ぶ」ということを意味し、その相手機器とだけデータのやりとりができるようになります。
● 下図の例は、機器Aが本機をLINCしています。
このときは本機と機器BはLINCすることができません。

■MPEG

● Moving Picture Experts Group(カラー動画像蓄積用符号化方式の標準化をすすめている組織)の略です。
● 動画映像と音声のデジタル圧縮方式の代表的なものです。従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術で、むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しないことを前提に、動きの予測をしながら圧縮していきます。
● MPEG1、MPEG2などの標準規格があります。
● 本機のデジタル録画は、MPEG2に対応しています。

■MPEG2-TS(Transport Stream)フォーマット

● MPEG2システムに規定される、主に放送などの伝送に使われるフォーマットのことをいいます。

■エンコードする

● 地上波(VHF/UHF)などのアナログ信号をデジタル信号に変換することをいいます。

■デコードする

● デジタル信号をアナログ信号に戻すことをいいます。

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。

- ＊印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番、メーカー希望小売価格は、2002年1月現在のものです。また、消費税や工事代などは含まれておりません。

品　名	品　番	メーカー希望小売価格	特記事項
＊ビデオヘッドクリーナー	VFK0923FM	3,000円	乾式、使用回数180回
	VFK0923FS	1,800円	乾式、使用回数30回
カセットアダプター	VW-TCA7	3,000円	
i.LINKケーブル(IEEE1394) (4ピン⟷4ピン)	RP-CDE4G15	3,500円	1.5 m
	RP-CDE4G30	5,000円	3.0 m
D端子ケーブル	RP-CVDG15	3,500円	1.5 m
	RP-CVDG30	5,000円	3.0 m
映像・音声コード (ステレオ⟷ステレオ)	RP-CVP3G05	1,150円	0.5 m
	RP-CVP3G10	1,300円	1.0 m
	RP-CVP3G15	1,400円	1.5 m
	RP-CVP3G20	1,500円	2.0 m
	RP-CVP3G30	1,700円	3.0 m
映像・音声コード (ステレオ⟷モノラル)	RP-CVP2G10	1,200円	1.0 m
	RP-CVP2G20	1,400円	2.0 m
	RP-CVP2G30	1,600円	3.0 m
S映像コード	RP-CVS0G10	900円	1.0 m
	RP-CVS0G20	1,200円	2.0 m
	RP-CVS0G30	1,300円	3.0 m
音声コード (ステレオ⟷ステレオ)	RP-CAP3G05	550円	0.5 m
	RP-CAP3G10	600円	1.0 m
	RP-CAP3G15	650円	1.5 m
	RP-CAP3G20	750円	2.0 m
	RP-CAP3G30	900円	3.0 m
＊75Ω同軸ケーブル	VUA7051	400円	1.4 m
＊V・U分波器	VUA7052F	800円	
＊V・U混合器	VUA7053	600円	
＊75Ωアンテナプラグ	VSQ1035	300円	VHF/UHF入力端子専用
＊アンテナプラグ	VUA7050	300円	

電　源	AC 100 V ± 10 %, 50/60 Hz ± 0.5 %
消費電力	動作時：36 W 待機時：10 W
録画方式	D-VHS方式(MTP)、VHS方式(NTSC準拠)
テープ速度	標準： 33.35 mm/秒 3倍： 11.12 mm/秒 H S：33.35 mm/秒 STD：16.67 mm/秒 LS3： 5.56 mm/秒 LS5： 3.33 mm/秒 LS7： 2.38 mm/秒
使用テープ	D-VHS、S-VHS、VHS規格テープ
録画時間	D-VHS： 最長56時間 (LS7モード、DF-480使用の場合) HS：2時間30分、STD：5時間、LS3：15時間、LS5：25時間、LS7：35時間 (DF-300使用の場合) S-VHS、VHS：最長9時間 (3倍モード、ST-180使用の場合) 標準：2時間、3倍：6時間 (ST-120使用の場合)
早送り・巻き戻し時間	約1分 (T-120使用の場合)
映像方式	
● テレビジョン方式	NTSC方式　525本、60フィールド
● 入力	ライン(ピンジャック)　1 Vp-p、75 Ω S映像端子　Y：1 Vp-p、75 Ω、Cバースト：0.286 Vp-p、75 Ω
● 出力	ライン(ピンジャック)　1 Vp-p、75 Ω S映像端子　Y：1 Vp-p、75 Ω、Cバースト：0.286 Vp-p、75 Ω D1出力端子　Y：1 Vp-p、75 Ω、C_B/C_R：0.7 Vp-p、75 Ω
● アンテナ受信入力	VHF：　1〜 12チャンネル、75 Ω UHF：　13〜 62チャンネル、75 Ω CATV：C13〜C63チャンネル、75 Ω
音声方式	
● 入力	ライン(ピンジャック)　309 mV、入力インピーダンス47 kΩ
● 出力	ライン(ピンジャック)　309 mV、D-VHS：FS　2 V(+6 dBV) 出力インピーダンス1 kΩ (負荷インピーダンス10 kΩ)
● トラック数	3トラック (ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック)
i.LINK入出力	IEEE1394　4pinタイプ、S400対応、MPEG2-TS信号
ノーマルワウフラッター	標準：0.18 %以下 3倍：0.35 %以下
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ：90 dB以上 ワウフラッター：　0.005 % 周波数特性：　20 Hz〜20 kHz(−5〜+3dB)
許容温度	5 ℃〜40 ℃(動作時)
許容湿度	35 %〜80 %(動作時)
時計部	クォーツ制御、24時間デジタル表示
外形寸法	約幅430×高さ103.5×奥行349 mm
本体質量	約6.0 kg

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
「故障かな?」(➜90〜95)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜95)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、D-VHSビデオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談
ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-365 (パナは 365日)
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

索引

Panasonic D-VHSビデオカセットレコーダー NV-DHE20 取扱説明書

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This Video Cassette Recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のD-VHSビデオカセットレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	NV-DHE20
販売店名	☎(　　)　　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　　－	

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT9406
F1201Yt1012 (2000 Ⓑ)